

# 令和6年度介護のしごとと魅力発信等事業 情報発信事業（介護職発信事業） 事業報告書

2025年4月30日

一般社団法人 FACE to FUKUSHI

# **1. 介護のしごとと魅力発信等事業 （情報発信事業（介護職発信事業））の概要**

# 介護のしごと魅力発信等事業

## 事業の背景

- 介護業界では、人材の確保が喫緊の課題となっている。
- 介護人材の確保にあたっては、人材の裾野拡大を進めて多様な人材の参入促進を図ることが必要である。
- 平成30年度以降、介護の仕事のイメージや社会的評価の向上、理解の促進を図るため、介護の仕事の魅力発信に関する取組を実施してきた。

## 事業の目的

- 最前線である現場の視点から、より具体的な魅力を発信するため、従来の取り組みに加え、介護職など自らが主体となり、自らの声で介護の仕事の魅力・やりがい・誇りを発信するコンテンツの企画・制作等を行う事業を拡充し、発信力のある事業者と連携して広く発信することで、事業効果の最大化を図る。

## 各事業の位置づけ



# 情報発信事業（介護職発信事業）の基本的な考え方

## 若者とともに、若者の共感をデザインする

「あるべき論」や「常識」を押しつけるのではなく、若者が「自分ごと」だと感じやすい社会・地域・人生などのテーマを切り口にしながら、まずは福祉に対する関心を喚起し、さらには現場や当事者のリアルを追求して介護の魅力を深めていく。

私たちはそんなアプローチで「介護の魅力発信」を行うことによって、若者が共感するコミュニケーションをデザインしていくことで、福祉・介護分野で学びたい・働きたいという若者を増やしていきます。

# 事業対象者の設定

- これからの福祉・介護を担う若者にターゲットを絞り、魅力発信を行っていく。
- 特に、福祉・介護に潜在的関心はあるが、そこから一步踏み出せていない若者に対してアプローチする。

## 事業対象者像

### ターゲット①



福祉・介護に  
少し関心がある若者

- 介護福祉士および社会福祉士養成校には在籍していない
- 福祉・介護分野に少し関心があり、就職の選択肢に入りたいと考えている
- 周りに福祉・介護分野に関心のある人がいないため、情報が入ってこないため関心を高める行動はできていない
- 就職活動が本格化する前の学生をメインターゲットとする

### ターゲット②



「社会課題」や  
「社会貢献」などに関心  
がある若者

- 介護福祉士および社会福祉士養成校には在籍していない
- 社会課題や社会貢献には関心があり、社会課題を解決する仕事に就きたいと考えている
- 社会課題や社会貢献と福祉・介護が結びついていない
- 就職活動が本格化する前の学生をメインターゲットとする

# 情報発信事業（介護職発信事業）のコンセプト

学生が若手介護職を取材し、福祉をひらいていく

## OPEN FUKUSHI !

若者のことを一番わかっているのは若者自身です。今までの魅力発信は、魅力を伝えたい若者と、魅力を発信する事業者・介護職で分かれて実施することがほとんどでした。今回のプロジェクトでは、魅力発信の受け手である若者を魅力発信の担い手として巻き込みながら実施をしていきます。

若者の目線を大切にしながら、若者自身が発信し、多くの若者に波及していくプロジェクトにします。

### 事業コンセプト

#### 学生による若者目線での媒体作成

介護職への取材をするのは、学生自身です。学生視点で福祉・介護の魅力を発信する媒体を作成することで、より学生に魅力が伝わりやすい内容になります。



#### 潜在的関心層を発信側に巻き込む

魅力発信の受け手となる「潜在的関心層」を発信者として本プロジェクトに巻き込んでいきます。彼ら彼女らが発信することで、その周りにいる「潜在的関心層」への波及を期待できます。



#### 若者の福祉人材確保に取り組む

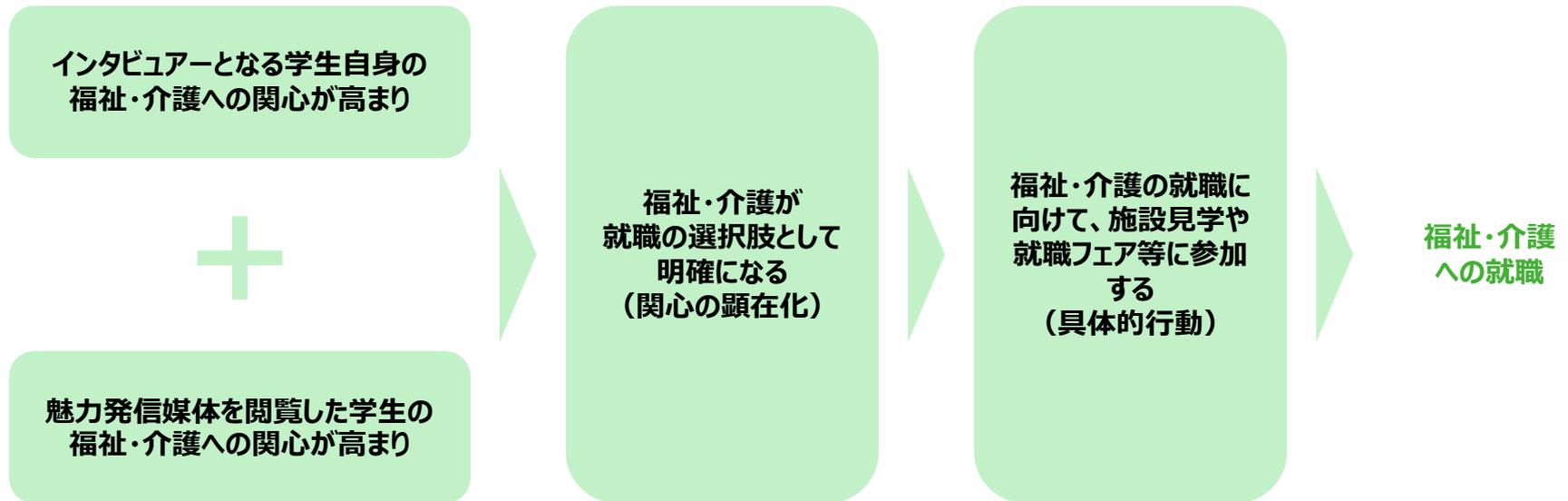
##### FACE to FUKUSHI

当法人は、福祉・介護の人材確保を専門に取り組む稀有な団体です。魅力的な実践・採用に熱心な福祉法人と全国のネットワークを有するとともに、学生を就職イベント等へ誘導することで、事業成果を増大させます。

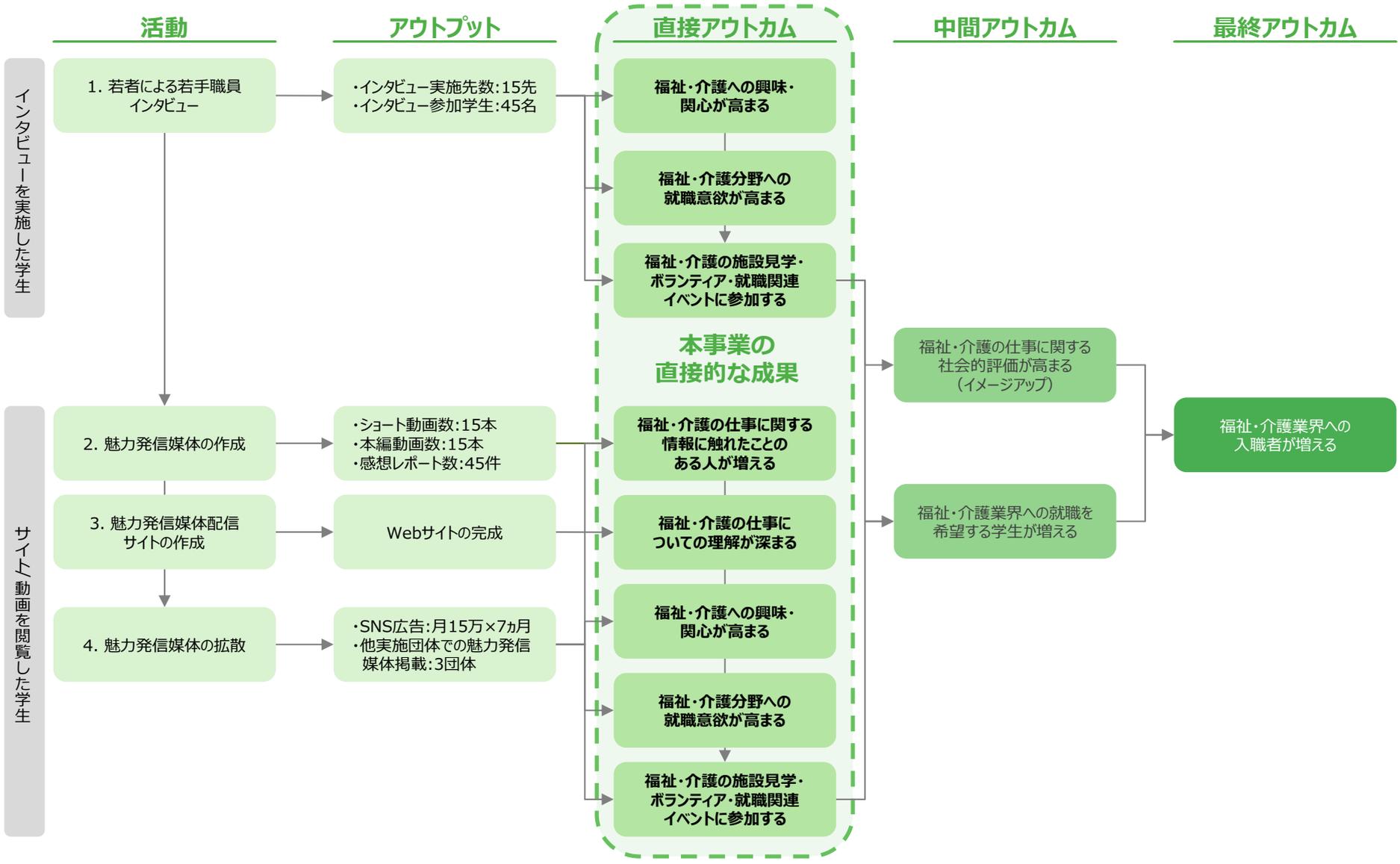


# 情報発信事業（介護職発信事業）のゴール

福祉・介護の潜在的関心層学生へアプローチをすることで、  
福祉・介護への関心が高まり（顕在化）、  
福祉・介護を就職の選択肢に入れるとともに、  
具体的行動を取ることを本事業のゴールにする



# 本事業の全体像と成果目標



# 本事業の全体像と成果目標\_KPI指標と測定方法

活動	アウトプット	ターゲット	アウトカム	KPI指標	目標	データ収集法		
1. 若者による 若手介護職インタビュー	・インタビュー実施先数：15先 (対面3先、オンライン12先を予定) ・インタビュー参加学生数：45名	インタビューとなる学生 (福祉・介護分野 に少し関心がある大学生・ 短大生・専門学校生)	インタビューとなる学生の福祉・介護 への興味・関心が高まる	1 インタビュー実施後の福祉・介護 への興味・関心がインタ ビュー実施前と比較して高まっ たかどうか	80%以上 (※実施後の評価が実 施前の評価より高まった割合) ※実施前の回答が4・5かつ実施後 の回答が4・5の場合も含む	インタビュー実施後 アンケート		
			インタビューとなる学生の福祉・介護 分野への就職意欲が高まる	2 インタビュー実施後の福祉・介護 分野への就職意欲がイン タビュー実施前と比較して高まっ たかどうか	80%以上 (※1と同様の定義)			
			インタビューとなる学生が福祉・介護 の施設見学・ボランティア・就職関連イ ベントに参加する	3 施設見学・ボランティア・就職 イベント参加移行率	50%以上		施設見学・ボランティア・ 就職イベント参加 申し込みフォーム	
2. 魅力発信媒体の作成	・ショート動画作成数：15本 ・本編動画作成数：15本 ・感想レポートテキスト作成数：45件	福祉・介護分野に少し 関心がある大学生・短 大生・専門学校生	福祉・介護の仕事に関する情報に触れ たことのある人が増える	4 ショート動画再生回数	5,000回	動画再生回数の集計		
3. 魅力発信媒体 配信サイトの作成	WEBサイトの完成	「社会課題」や「社会 貢献」などに関心があ る大学生・短大生・専 門学校生					5 本編動画再生回数	2,000回
							6 PV数	
				7 本編動画を閲覧した学生の福祉・介護 の仕事についての理解が深まる	80%以上 (3段階評価2以上の割合)		サイト/動画視聴後 アンケート	
4. 魅力発信媒体の拡散	・SNS広告：月15万消化×7ヵ月 ・他実施団体での魅力発信媒体掲載3団体	「社会課題」や「社会 貢献」などに関心があ る大学生・短大生・専 門学校生		8 本編動画を閲覧した学生の福祉・介護 への興味・関心が高まる	70%以上 (※1と同様の定義)		LINEで公式アカウント 登録者の集計	
				9 福祉・介護関連情報収集用 LINEアカウントの登録者数	150人以上			
				10 本編動画を閲覧した学生の福祉・介護 分野への就職意欲が高まる	50%以上 (※1と同様の定義)		サイト/動画視聴後 アンケート	
				11 本編動画を閲覧した学生が福祉・介護 の施設見学・ボランティア・就職関連 イベントに参加する	20%以上		施設見学・ボランティア・ 就職イベント参加 申し込みフォーム	
福祉・介護の仕事に関する社会的評 価が高まる (イメージアップ)	12 8と同様							
	13 10と同様							
	14 11と同様							

# 実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 若者による若手介護職インタビュー				インタビュー/取材先の募集と決定	取材実施			取材実施		インタビュー/取材先の募集と決定	取材実施	
2. 魅力発信媒体の作成				動画/テキスト作成								
3. 魅力発信媒体配信サイトの作成				企画案作成	改修		公開	修正案作成	再改修	公開		
4. 魅力発信媒体の拡散									LINE公式アカウントの運用	他事業実施団体での拡散	SNS広告	
企画委員会等				企画委員会			企画委員会					企画委員会

# 運営体制

- 福祉学部以外の学生を巻き込むために、「ボランティア」「社会企業」「NPO」などをキーワードに、企画委員を選定。

## 事務局

### プロジェクト責任者

岩本 恭典

一般社団法人FACE to FUKUSHI 理事



### プロジェクトスタッフ 1

池谷 徹

一般社団法人FACE to FUKUSHI 理事



### プロジェクトスタッフ 2

近重 有貴

一般社団法人FACE to FUKUSHI 事務局長



### プロジェクトスタッフ 3

上杉 きよみ

一般社団法人FACE to FUKUSHI 事務局



### 運営協力（業務委託）

uniple株式会社

野中 翔太・和田 光



## 企画委員

沢渡 一登

公益財団法人日本財団ボランティアセンター  
常務理事



高桑 勝

全国社会福祉法人経営青年会  
副会長



松本 学

NPO法人ブレインヒューマニティ  
理事長



河合 将生

大阪大谷大学/近畿大学/立命館大学  
「ボランティア論」担当非常勤講師



坂野 充

NPO法人JAE  
共同代表





## 2. 活動内容および成果詳細

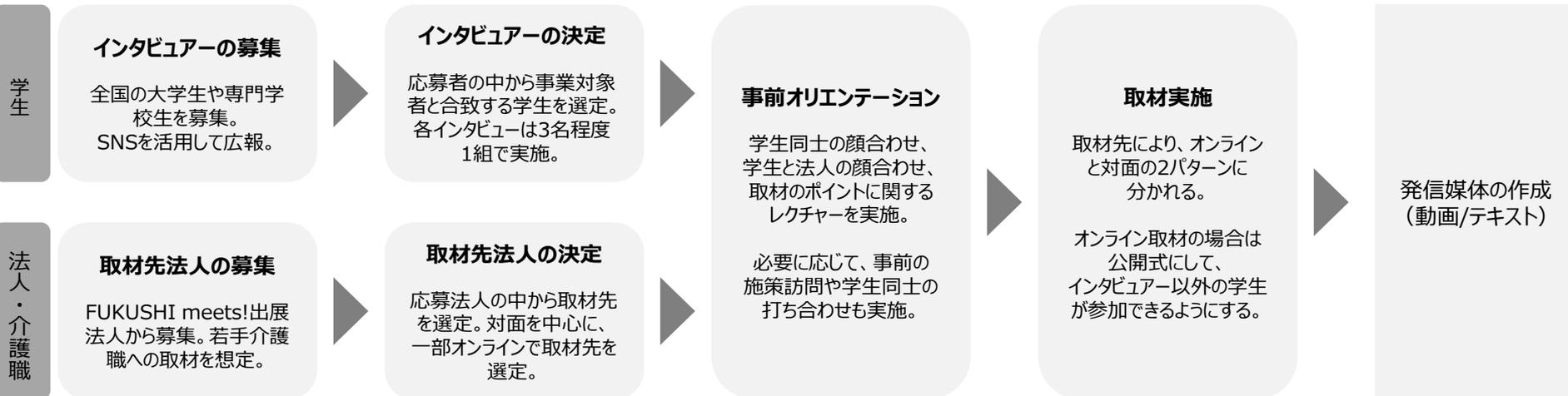
# 活動内容 | ①若者による若手介護職インタビュー

## ポイント

- 福祉や介護に潜在的に関心を持つ大学生や専門学校生等がインタビュアーとなり、若手介護職にインタビューを実施
- インタビューは、オンラインと対面の2パターンでの実施
- インタビュアーには取材謝礼を設定し、有償ボランティアとして取材してもらうことで、潜在的関心層へ訴求

- 実施時期 | 2024年8～9月、2025年2～3月の学生の長期休暇中を中心に、1年で15ヶ所への取材を実施
- 参加者（インタビュアー） | 大学生や専門学校生、高校生等48名
- 参加者広報 | Instagramでの発信やSNS広告を活用して参加者を募集
- 取材対象 | FUKUSHI meets!出展法人（過去を含む/全国約500法人）の案内から募集。応募内容をもとに、選考を行い15法人を選定

## 活動の流れ



# 活動内容 | ①若者による若手介護職インタビュー

## インタビューのテーマ（動画のテーマ）

- インタビューのテーマは潜在的関心層の関心を高めるために「楽しさ」「やりがい」などをポジティブに発信する内容とした
- ネガティブ情報やネガティブワードを使うことで、潜在的関心層に対して、逆にネガティブイメージのレッテルを貼り付けてしまうため細心の注意を払った
- テーマは、取材法人応募時に法人・介護職から要望をもらうとともに、事務局とも議論の上、決定した

### 対面型インタビュー

- 福祉施設に実際に学生が訪問して取材を実施
- ショート動画と本編動画を作成
- 撮影や動画編集はプロのクリエイターが実施
- ショート動画は、一部、学生自身で作成



### オンライン型インタビュー

- 学生がオンライン上で施設や介護職へのインタビューを実施
- インタビューは公開型で実施し、インタビュアー以外の学生も閲覧可能とした
- インタビューした様子を録画し、動画発信媒体として編集



# 活動内容 | ②魅力発信媒体の作成

## ポイント

- インタビューした様子を撮影し動画を作成するとともに、取材した学生の感想レポートをテキストで作成
- 動画は、各取材に対しSNS広告用のショート動画（30秒程度）と、本編動画（5-10分程度）の2種類を作成
- レポートは、顔写真と所属も掲載することで、信頼性の担保と福祉学部以外の学生への訴求力を強化

### 1. 動画作成

- 各取材に対し、SNS広告用ショート動画とWebサイト用の本編動画を作成
- 本編動画は内容がしっかりと伝わり、かつ、閲覧しやすいように5-10分程度とした



SNS広告用  
ショート動画



Webサイト/YouTube用  
本編動画

### 2. テキスト作成

- 取材を行ったインタビュー어가感想レポートを作成
- 顔写真と所属を掲載することで信頼性の担保と福祉学部以外の学生への訴求力を高めた
- レポートをInstagram上で公開し、SNSでの拡散も実施

私は幼少期、保育園の隣にあるデイサービスで高齢者の方と職員の方と交流させていただいたことがあり、その経験もあって、小学生の頃からずっと「人の役に立つ仕事」をしたいと考えていました。

これまで私は、人助け＝福祉、福祉＝高齢者施設、といった印象があり、今回応募した時も、高齢者の介護福祉施設に訪問すると思っていました。しかし、私が訪れた場所は障がい福祉施設さんでした。

おそらく、前までの私のように「福祉といえば高齢者の介護をする！」という印象がある方もいると思います。OPEN FUKUSHIでは福祉専攻でない学生目線のインタビューだからこそ、高齢者や、障がい者への支援についても知ることが出来るかと思えます！



高校生  
いわかわさん

『老人ホームで働く』と聞くと、重労働・1人でたくさんの利用者さんを介護しなくてはならない・負担が大きい仕事といったイメージがありました。しかし実際に訪問させていただくと、そのイメージが大きく変化しました。施設の中はシェアハウスのようなユニット型の少人数グループで分けられており、介護士さんの一人一人の負担がだいぶ軽減されているのを感じました。例えば、入浴やベッドへの移動の際は、なんと移乗用のリフトを活用して負担を軽減したり、「眠りスキャン」というICTツールでデータを管理して業務を効率化するなど、マンパワーだけではなく時代の進歩に対応した働き方が取り入れられていることが印象的でした。福祉に少しでも興味のある方は、ぜひインタビュー動画を見てほしいです！



産業経済学部経営学科2年  
うちかわさん

テキスト

# 活動内容 | ③魅力発信媒体配信サイトの作成

## ポイント

- 作成した魅力発信媒体をまとめて配信するWebサイトを作成
- 令和3年度介護のしごと魅力発信等事業で作成した動画アーカイブサイト「OPEN FUKUSHI」をリニューアル
- 潜在的関心層学生による介護職取材プロジェクトのコンテンツを充実

### 配信サイトの作成

- 「OPEN FUKUSHI」サイトをリニューアルし、作成した魅力発信媒体をメインコンテンツにするサイトへ改修
- 介護職取材プロジェクト（介護のしごと魅力発信等事業で実施）を拡充し、メインコンテンツとする



「OPEN FUKUSHI」Webサイト



介護取材プロジェクト コンテンツ

# 活動内容 | ④ 魅力発信媒体の拡散

## ポイント

- 全国へ向けた情報発信事業、Webを活用した広報事業実施団体とも連携して拡散
- 魅力発信媒体やWebサイト自体もSNS広告を活用して拡散
- 魅力発信媒体を閲覧して終わりではなく、現場見学や福祉就職フェア等へ誘導し、関心や就職意欲を醸成

### Webサイトや魅力発信動画等



情報拡散

### 1. 他実施団体との連携



### 2. SNS広告の活用



誘導

### 3. 福祉就活のイベント等へ誘導

下記はイベント例



福祉就活YouTubeチャンネル「フクカツ!!」



全国最大規模の福祉就職フェア「FUKUSHI meets!」

# 事業成果 | ①若者による若手介護職インタビュー

アウトプット

アウトカム

- ・ インタビュアーについては、説明会への参加、本申し込みのフローで募集を行った。
- ・ 実際の取材参加人数は48名であり、目標である45名を上回る学生が取材に参加した。

## 【評価基準】

- ◎：達成率150%以上
- ：達成率100%以上
- △：達成率80%以上
- ×：達成率80%未満

項目	説明会申込人数	説明会参加人数	本申し込み人数	取材参加人数
第1期 (2024年夏)	94名	57名	48名	33名
第2期 (2025年春)	57名	27名	17名	15名
合計	151名	84名	65名	<b>48名</b>
目標	—	—	—	<b>45名</b>
評価	—	—	—	○

- 若手介護職インタビューに参加した学生の参加理由の一部を抜粋。

福祉にぼんやりと興味がありつつも、新聞やニュースなどで目にする情報だけだと自分の考えを深めるにはどこか物足りなく、一度自分の目で現場を見てみたいという気持ちがありました。福祉と関係があるとは思われないような専攻なのでなかなかその機会を掴むのは難しいと思っていましたが、このボランティアの対象が自分とピッタリだと思い申し込みました。ただの見学ではなくインタビューという関わり方も嬉しいと思いました。

武蔵野美術大学造形学部  
基礎デザイン学科1年



大学でどの学部に進もうか、と考えている際に「福祉」の道が一つの選択肢として自分の中で上がりました。ですが、実際にどのような仕事に繋がっていくのかというものが想像しにくいと感じ、自分の目で見て知りたいたいと思い申し込みました。私のような学生に福祉の魅力を届けたいです！

昌平高等学校2年



高校で災害について学んだ際に、災害福祉についても学ぶ機会があり、そこで興味を持って福祉の実際の現場を見てみたいと思ったから。

東京経済大学  
コミュニケーション学部  
国際コミュニケーション学科 2年



私は、福祉や社会起業に興味を持っていて、将来はそれらの道へ進みたいと考えてる。しかし、大学の学部も福祉の専門ではないため、なかなか福祉にふれる機会を得ることができない。そんな中で、本プログラムでは福祉を専門としない学生を対象としてボランティアをしながら福祉のことが学べるという点で興味をもち、志望した。 **たくさんの人へ福祉の魅力を私なりの見解から発信したい。**そして、福祉業界が少しでも明るくなるように貢献したい。

関西大学社会学部  
社会学科社会学専攻1年



# 事業成果 | ①若者による若手介護職インタビュー

アウトプット

アウトカム

- ・ 関西圏、関東圏の法人のほか、岡山、福岡の法人にもインタビューにご協力いただいた。
- ・ インタビュー対象法人数は16法人であり、目標である15法人を上回る法人に対してインタビューを実施することができた。

【評価基準】

◎：達成率150%以上

○：達成率100%以上

△：達成率80%以上

×：達成率80%未満

項目	関西圏	関東圏	その他	法人数
第1期 (2024年夏)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療法人社団創生会</li> <li>・ 社会福祉法人希望の家</li> <li>・ 社会福祉法人堺暁福祉会</li> <li>・ 社会福祉法人みねやま福祉会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 株式会社でいぐにてい</li> <li>・ 社会福祉法人まりも会</li> <li>・ 社会福祉法人若竹大寿会</li> <li>・ 社会福祉法人フレスコ会</li> <li>・ 社会福祉法人新生寿会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉法人新生寿会 (岡山)</li> <li>・ NPO法人さわやか大善寺 (福岡/オンライン)</li> </ul>	11法人
第2期 (2025年春)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉法人福知山学園</li> <li>・ 社会福祉法人みなと寮</li> <li>・ 社会福祉法人自立支援協会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 株式会社ケアメイト</li> <li>・ 社会福祉法人奉優会</li> </ul>	—	5法人
合計	—	—	—	16法人
目標	—	—	—	15法人
評価	—	—	—	○

# 事業成果 | ①若者による若手介護職インタビュー アウトカムに対する達成率

アウトプット

アウトカム

- ・ インタビューを実施した学生のすべてが、福祉・介護への興味・関心が高まったと回答している。
- ・ 一方で、福祉・介護分野への就職意欲が高まったと回答した学生は72.2%に留まっている。

## 【評価基準】

- ◎：達成率150%以上
- ：達成率100%以上
- △：達成率80%以上
- ×：達成率80%未満

アウトカム	目標	測定結果	達成率	評価
①:インタビューとなる学生の福祉・介護への興味・関心が高まる	80%以上	100% (n=36)	125.0%	○
②:インタビューとなる学生の福祉・介護分野への就職意欲が高まる	80%以上	72.2% (n=36)	90.3%	△
③:インタビューとなる学生が福祉・介護の施設見学・ボランティア・就職関連イベントに参加する	50%以上	8.3%※ (n=36)	16.6%	×

※インタビュー参加者36名のうち3名が当法人が運営しているFUKUSHI meets!のボランティアに参加

# 事業成果 | ①若者による若手介護職インタビュー 効果検証\_インタビュー実施後アンケート設問

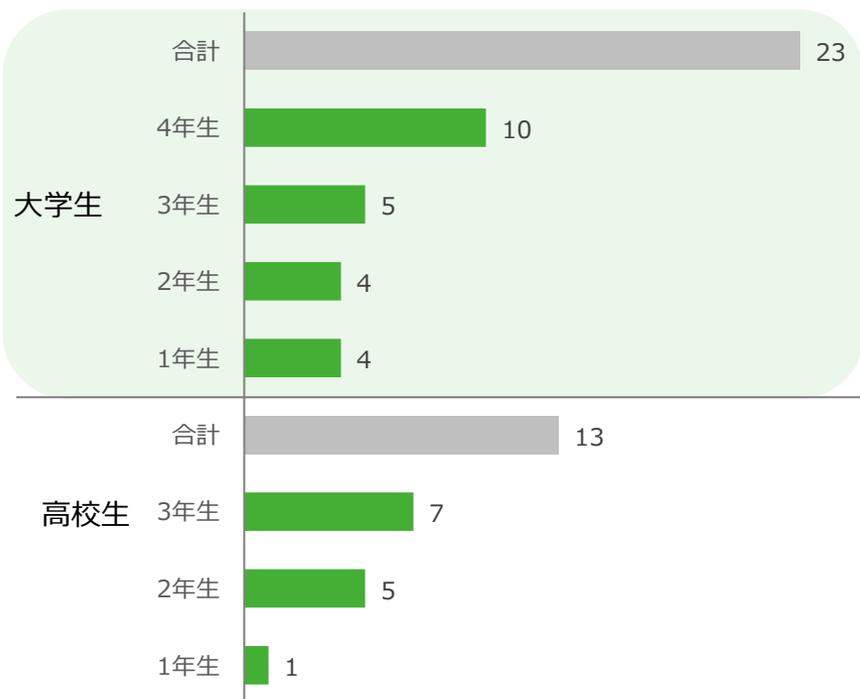
- ・ インタビュアーを対象にインタビュー実施後の福祉・介護に対する意識の変化を調査するためにGoogleフォームを用いたWEBアンケートを実施。

設問	選択肢
学校名	記述式
学年	記述式
学部・学科	記述式
氏名	記述式
今回のインタビューに関する満足度を教えてください。	5:非常に満足 4:やや満足 3:普通 2:やや不満 1:不満
インタビュー実施前の福祉・介護に対するイメージを教えてください。	記述式
インタビュー実施後の福祉・介護に対するイメージを教えてください。	記述式
インタビュー実施前後で福祉・介護に対するイメージが変化した場合、インタビュー内のどのようなキーワードや体験、場面がイメージの変化に影響しましたか。	記述式
インタビュー実施前の福祉・介護に対する関心度合いについて最も当てはまるものを選択してください。	5:非常に興味がある 4:やや興味がある 3:どちらともいえない 2:あまり興味がない 1:興味がない
インタビュー実施後の福祉・介護に対する関心度合いについて最も当てはまるものを選択してください。	同上
インタビュー実施前の福祉・介護分野への就職意欲について最も当てはまるものを選択してください。	5:福祉・介護分野へぜひとも就職したい 4:福祉・介護分野への就職を前向きに検討している 3:福祉・介護分野への就職も少し検討している 2:福祉・介護分野への就職は考えていない 1:未定
インタビュー実施後の福祉・介護分野への就職意欲について最も当てはまるものを選択してください。	同上
福祉・介護に関するイベントのうち、参加してみたいイベントを選択してください。(複数回答可)	1:福祉・介護事業所の施設見学 2:福祉・介護事業所のボランティア 3:福祉・介護関連の就職イベント 4:福祉・介護関連のセミナー・講演会 5:その他
本企画に対する要望や改善事項等がございましたら記載してください。	記述式
その他ご意見や感想等がございましたら記載してください。	記述式

# 事業成果 | ①若者による若手介護職インタビュー 効果検証\_アンケート回答結果（回答者属性）

- ・ インタビュアーとして、大学生23名、高校生13名がインタビューに参加した。
- ・ 大学生のうち、社会学部の学生が8名と最も多いが、その他学部の学生の参加も見られた。

学年別のアンケート回答状況（n=36）



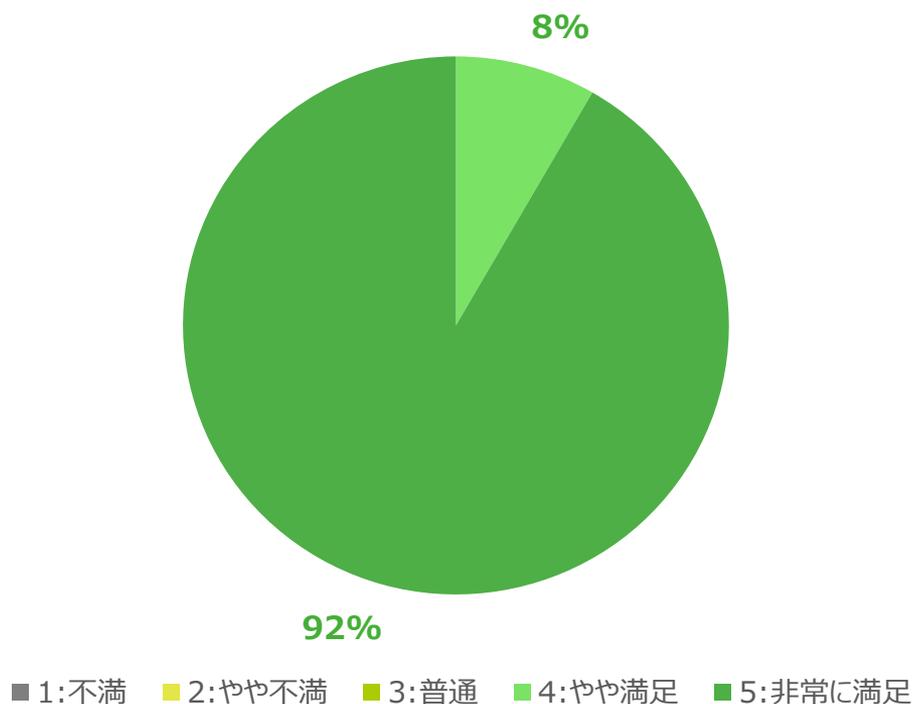
学部別のアンケート回答状況（n=23）

社会学部	8
言語文化学部	2
文学部	2
コミュニケーション学部	1
デザイン学部	1
リベラルアーツ学群	1
教養学部	1
経営学部	1
現代教養学部	1
人文学部	1
造形学部	1
地域科学部	1
文芸学部	1
理工学部	1

## 事業成果 | ①若者による若手介護職インタビュー 効果検証\_アンケート回答結果 (満足度)

- 参加した学生すべてが本企画に満足していると回答している。

企画に対する満足度 (n=36)



# 事業成果 | ①若者による若手介護職インタビュー

## 効果検証\_アンケート回答結果（福祉・介護に対するイメージの変化）

- インタビューを通じて、福祉・介護に対する当事者意識、介護の仕事内容、労働環境等についてのイメージにプラスの影響が見られた。

※一部抜粋。原文ママ

### インタビュー実施前後の福祉・介護に対するイメージ

### イメージ変化に寄与したキーワード等

実施前

自分とは縁遠いもの。家族も健康体であるし、町中でも福祉や介護と関わる機会がほとんどない。

実施後

アンテナを張って目を向ければ、すぐそこにあるものだとわかった。家族も私自身も将来関わってきそうだし、探したら福祉系のイベントは私が住む地域でも行っているようだった。

違う系統の学校から新卒で福祉業界に就職した

実施前

仕事が大変そう。決まった仕事が多そう。利用者の方一人一人に合わせるが大変で、経験を積むのに時間がかかる。

実施後

思ったより、自分で考えながら仕事ができる。意見交換が活発で明るい職場が多い。一人一人の職員さんが情熱ややりがいを持って働いておられる。

1人の利用者さんの目標について複数人の方で話し合っている場面を見学した時

実施前

長時間労働、重労働のイメージが強く、大変そうだと思っていました。

実施後

業務の効率化や研修制度の充実を図っている施設もあり、働きやすい仕事というイメージになりました。

ICT化、研修制度

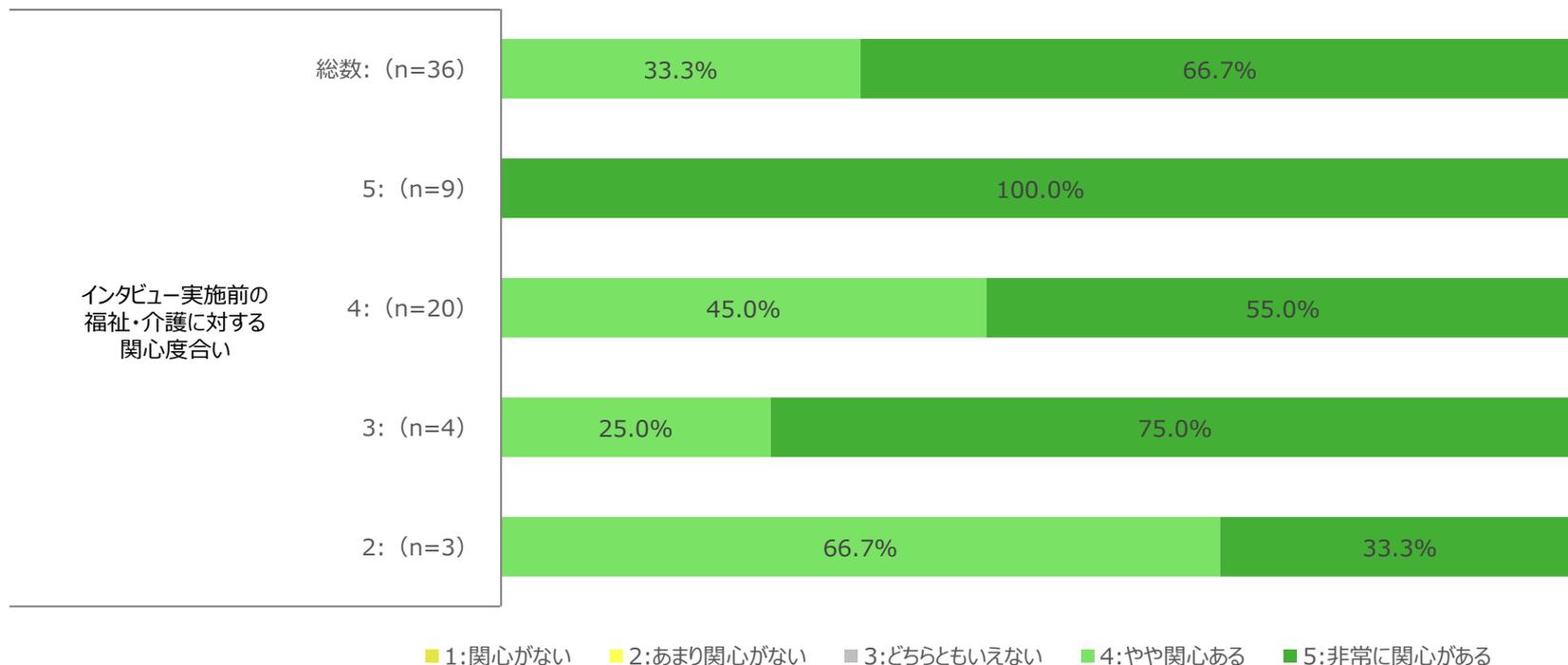
# 事業成果 | ①若者による若手介護職インタビュー 効果検証\_アンケート回答結果 (関心度合いの変化)

アウトプット

アウトカム

- インタビューを実施したすべての学生の福祉・介護への関心が高まっている。
- 特にインタビュー実施前に「どちらともいえない」と回答していた学生の75.0%がインタビュー実施後に「非常に興味がある」と回答している。

インタビュー実施後の福祉・介護に対する関心度合い (n=36)



※関心が高まった

閲覧前の関心度合い1-2 : 閲覧後に「3 : どちらともいえない」「4 : やや関心がある」「5 : 非常に興味がある」と回答

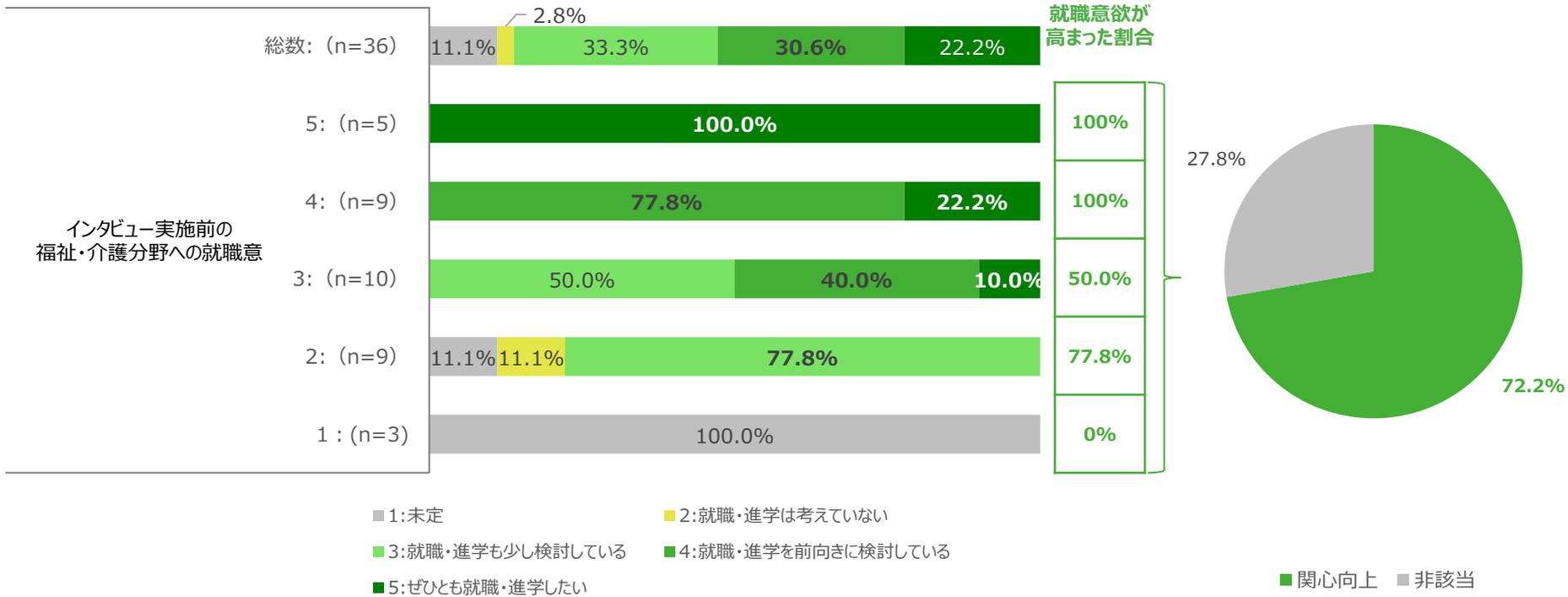
閲覧前の関心度合い3-4 : 閲覧後に「4 : やや関心がある」「5 : 非常に興味がある」と回答

閲覧前の関心度合い5 : 閲覧後に「5 : 非常に興味がある」と回答

# 事業成果 | ①若者による若手介護職インタビュー 効果検証\_アンケート回答結果 (就職意欲の変化)

- ・ インタビューを実施した学生の72.2%の福祉・介護分野への就職意欲が高まっている。
- ・ 特にインタビュー実施前に「就職・進学も少し検討している」と回答した学生のうち、50.0%が「就職・進学を前向きに検討している」「ぜひとも就職・進学したい」と回答している。

インタビュー実施後の福祉・介護分野への就職意欲 (n=36)



※就職・進学意欲が高まった

閲覧前の就職・進学意欲1-2 : 閲覧後に「3 : 就職・進学も少し検討している」「4 : 就職・進学を前向きに検討している」「5 : ぜひとも就職・進学したい」と回答

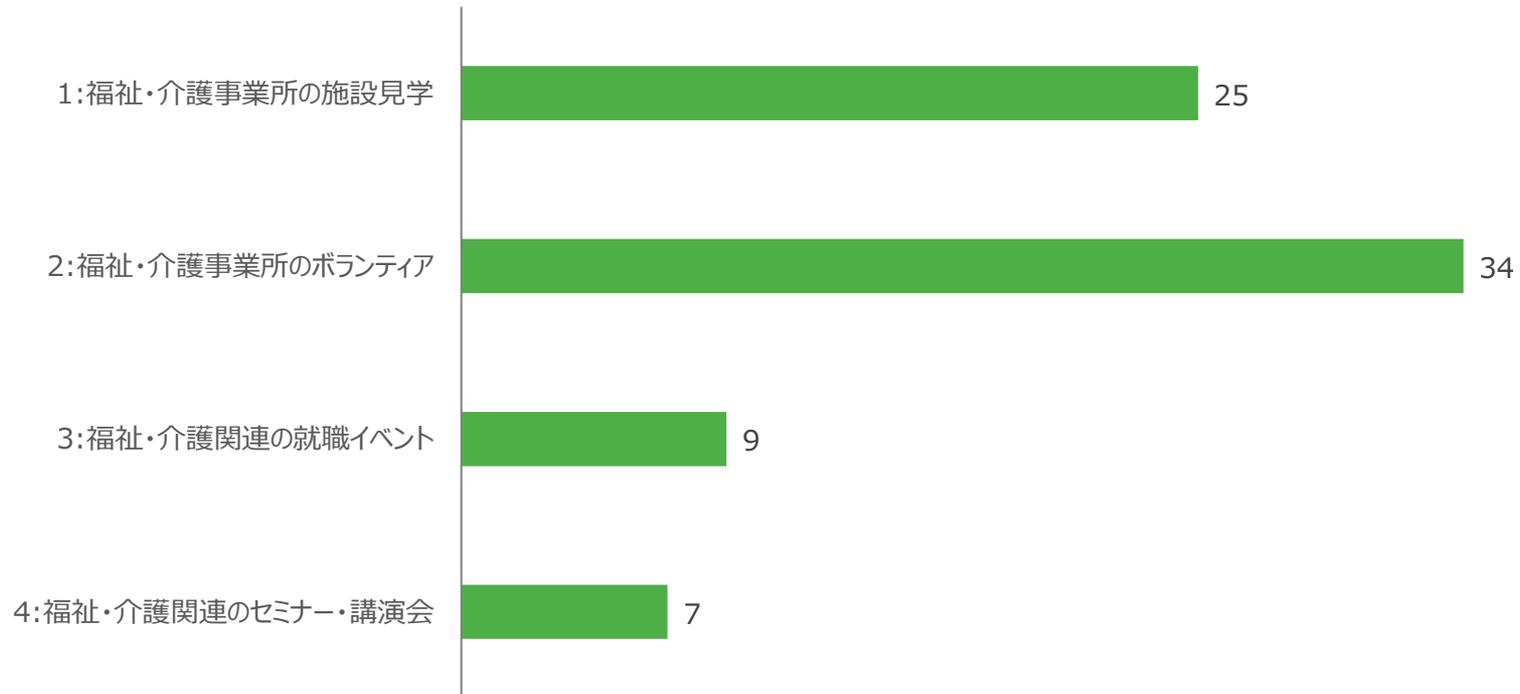
閲覧前の就職・進学意欲3-4 : 閲覧後に「4 : 就職・進学を前向きに検討している」「5 : ぜひとも就職・進学したい」と回答

閲覧前の就職・進学意欲5 : 閲覧後に「5 : ぜひとも就職・進学したい」と回答

# 事業成果 | ①若者による若手介護職インタビュー 効果検証\_アンケート回答結果 (参加を希望するイベント)

- 参加を希望する福祉・介護関連イベントについては、「福祉・介護事業所のボランティア」が最も多く、次いで「福祉・介護事業所の施設見学」が多い。
- 「福祉・介護関連の就職イベント」への参加については9人と、参加者の半数以下の回答となった。

参加を希望する福祉・介護関連イベント (n=36) ※複数回答



## 事業成果 | ②魅力発信媒体の作成

アウトプット

アウトカム

- 本編動画作成数19本、ショート動画作成数15本と動画作成数については目標を達成した一方、学生感想レポート作成数は38件と、目標に満たなかった。

### 【評価基準】

◎：達成率150%以上

○：達成率100%以上

△：達成率80%以上

×：達成率80%未満

項目	本編動画作成数	ショート動画作成数	学生感想レポート作成数
結果	19本	15本 (うち学生作成4本)	38件
目標	15本	15本	45件
評価	○	○	△

タイトル	動画出演者
介護の働き方ってどんな感じ？	株式会社でいぐにてい 倉田 歩 さん
福祉の道に進んだきっかけとは？	社会福祉法人希望の家 友野 瞳 さん
福祉×○○の面白い取り組みとは？	社会福祉法人まりも会 笈川 信子 さん
他業界からの転職者に聞いてみた！ 介護の仕事を選んだ理由	医療法人社団創生会 アネシス西宮 管理者 今本 龍 さん アネシスもとやま 管理者 木村 光一 さん
福祉業界のICTと若者に 期待されていることは？	社会福祉法人若竹大寿会 山口 美智子 さん 吉田 隆治 さん
現役の先輩に聞いてみた！ 介護現場の働き方ってどんな感じ？	社会福祉法人フレスコ会 安西 紘平 さん 島田 瑞希 さん
柔道整復師が介護業界で活躍？ 福祉の道に進んだきっかけと、 今感じていること	特定非営利活動法人さわやか大善寺 横尾 美奈 さん
社会福祉法人のビジネスマインドと 就労支援	社会福祉法人福知山学園 道下 康志 さん 飯田 修さん
実際にどんな働き方をしてるの？ プライベートとのバランスも聞いてみた	社会福祉法人新生寿会 鳴海 千杜世 さん
就活の時ってどうしてた？ 不安だったことと今の気持ち	社会福祉法人新生寿会 荒川 希望 さん

タイトル	動画出演者
福祉×ICTってどういうこと？ ICT活用による実際の介護現場の変化	社会福祉法人堺暁福祉会 石田 奈瑠美 さん 上原 雪奈 さん
福祉制度の昔と今って？？ 福祉サービスの制度と変化してきている 私たちの社会	社会福祉法人自立支援協会 広瀬 公彦 さん
入職2年目の先輩に聞いてみた！ 入社時に不安だったことや、 今感じている仕事のやりがい	社会福祉法人奉優会 篠原 日奈子 さん
世の中の変化にどう対応してる？！ 持続的なサービス提供のための 介護事業経営と取り組みについて	株式会社ケアメイト 板井 佑介 さん 篠原 利仁 さん 田中 莉奈 さん
地域で暮らせるようになるための 支援って？ 救護施設の仕事内容とやりがいについて	社会福祉法人みなと寮 中谷 厚 さん 武山 敏生 さん
介護の仕事は経済を支えている？ 利用者家族の生活や経済も支えている 大事なしごと	社会福祉法人新生寿会きのご荘 原田 まゆみ さん 山岡 和輝 さん
福祉の仕事って？どんな人が向いていそう？	社会福祉法人みねやま福祉会 西田 夏音 さん 清水 真美 さん
「ごちゃまぜの福祉」と これからの福祉の可能性	社会福祉法人みねやま福祉会 西田 夏音 さん 清水 真美 さん
福祉学部じゃないけど関心を持った キッカケと変化	社会福祉法人みねやま福祉会 西田 夏音 さん 清水 真美 さん



2024.12.20

福祉×〇〇の面白い取り組みとは？ - 箕川さん 社会福祉法人まりも会 -

#施設入所支援 #コミュニティキャスト #地域活動 #関東



2024.12.20

福祉の道に進んだきっかけとは？ - 友野さん 社会福祉法人希望の家 -

#施設入所支援 #学芸員 #新卒 #就職活動 #関西



2024.11.11

介護の働き方ってどんな感じ？ - 倉田さん 株式会社でいぐにてい -

#訪問介護 #理学療法士 #新卒 #関東



2025.03.14

柔道整復師が介護業界で活躍？福祉の道に進んだきっかけと、今感じていること - NPO法人さわやか大善寺 -

#柔道整復師 #機能訓練指導員 #他業界からの転職 #デイサービス #九州



2025.03.14

現役の先輩に聞いてみた！介護現場の働き方ってどんな感じ？ - 社会福祉法人フレスコ会 -

#働き方 #夜勤 #休日の使い方 #特別養護老人ホーム #関東



2025.01.24

福祉業界のICTと若者に期待されていることは？ - 山口さん・吉田さん 社会福祉法人若竹大寿会 -

#関東 #ICT #特別養護老人ホーム



2024.12.20

他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由 - 今本さん/木村さん 医療法人社団創生会 -

#グループホーム #スポーツトレーナー #栄養士 #キャリア



2025.03.31

福祉×ICTってどういうこと？ICT活用による実際の介護現場の変化 - 社会福祉法人堺暁福祉会 石田さん 上原さん -



2025.03.31

就活の時ってどうしてた？不安だったことと今の気持ち - 社会福祉法人新生寿会 荒川さん -



2025.03.31

実際にどんな働き方をしてるの？プライベートとのバランスも聞いてみた - 社会福祉法人新生寿会 鳴海さん -



2025.03.31

社会福祉法人のビジネスマインドと就労支援 - 社会福祉法人福知山学園 道下さん 飯田さん -



2025.03.31

地域で暮らせるようになるための支援って？ 介護施設の仕事内容とやりがいについて - 社会福祉法人みなと寮 武山さん 中谷さん -



2025.03.31

世の中の変化にどう対応してる？！ 持続的なサービス提供のための介護事業経営と取組みについて - 株式会社ケアメイト 板井さん 篠原さん 田中さん -



2025.03.31

入職2年目の先輩に聞いてみた！ 入職時に不安だったことや、今感じている仕事のやりがい - 社会福祉法人奉優会 篠原さん -



2025.03.31

福祉制度の昔と今って？？ 福祉サービスの制度と変化してきている私たちの社会 - 社会福祉法人自立支援協会 広瀬さん -



2025.03.31

福祉学部じゃないけど関心を持ったキッカケと変化- 社会福祉法人みねやま福祉会 西田さん 清水さん -



2025.03.31

「ごちゃまぜの福祉」とこれからの福祉の可能性 - 社会福祉法人みねやま福祉会 西田さん 清水さん -



2025.03.31

福祉の仕事って？どんな人が向いていそう？- 社会福祉法人みねやま福祉会 西田さん 清水さん -



2025.03.31

介護の仕事は経済を支えている？利用者家族の生活や経済も支えている大事なしごと - 社会福祉法人新生寿会きのこ荘 原田さん 山岡さん

## ショート動画



福祉×ビジネスマインドと就労支援？

「ごちゃまぜの福祉」とこれからの福祉の可能性

福祉や介護の可能性！？福祉×〇〇の面白い取り組み紹介と、今後への展望

就活の時ってどうしてた？不安だったことと今の気持ち

- 施設訪問やインタビューを通して気づいたことや感じたことを一人でも多くの人に発信できるように、SNS等で活用できるショート動画を作成。

## 参加学生感想レポート (抜粋)

- 取材に参加した学生ごとに感想レポートを作成し、Instagramに掲載。
- 掲載したレポートは学生にもシェアしてもらう。



福祉を専門に学ぶ学部にも属することもなく、福祉のリアルを体感することのなかった私は、メディア等で報道される"福祉現場の悲痛な叫び"、"高齢化社会の福祉の実態は"といった内容の記事から、福祉は大変で、従事されている方々のやりがいにも頼った形でなんとか成り立っている仕事だと思っていました。しかし、いざインタビューにおいて施設の担当者の方々とお話してみると、皆さん目を輝かせてお仕事について教えてくださるのです。福祉の仕事は案外楽しく、それは他の仕事と変わらないのかもしれない。そう気づかされました。



中央大学 国際情報学部国際情報学科 1年  
おかむらさん

## 福祉は様々な形で 世の中に溢れている！



私は幼少期、保育園の隣にあるデイサービスで高齢者の方と職員の方と交流させていただいたことがあり、その経験もあって、小学生の頃からずっと「人の役に立つ仕事」をしたいと考えていました。

これまで私は、人助け=福祉、福祉=高齢者施設、といった印象があり、今回応募した時も、高齢者の介護福祉施設に訪問すると思っていました。しかし、私が訪れた場所は障がい福祉施設さんでした。

おそらく、前までの私のように「福祉といえば高齢者の介護をする！」という印象がある方もいると思います。OPEN FUKUSHIでは福祉専攻でない学生目線でのインタビューだからこそ、高齢者や、障がい者への支援についても知ることが出来るかと思います！



高校生  
いわかわさん

## 福祉への思い込みを変えたい



介護の現場に行ったこともなく、福祉に直接的に関わったことのない私は、高齢者施設とは病院のような場所で、そこで働く職員さんも大変な日々を送っているのだと思っていました。しかし訪問インタビューを通して、高齢者施設には普段の生活に近いあたたかな空間があり、職員さんも不安を解消しあいながら、楽しくやりがいをもって働いていると知ることができました。

今みんながもっている福祉への偏見や思い込みを、動画を通じて変えていきたいなと思います。このプロジェクトに参加して、福祉の実態に触れることができて本当によかったです！



高校生  
すこうさん

## 福祉への先入観が覆された！



『老人ホームで働く』と聞くと、重労働・1人でたくさんの利用者さんを介護しなくてはならない・負担が大きい仕事といったイメージがありました。しかし実際に訪問させていただくと、そのイメージが大きく変化しました。施設の中はシェアハウスのようなユニット型の少人数グループで分けられており、介護士さんの一人一人の負担がだいぶ軽減されているのと感じました。例えば、入浴やベッドへの移動の際は、なんと移乗用のリフトを活用して負担を軽減したり、「眠りスキャン」というICTツールでデータを管理して業務を効率化するなど、マンパワーだけではなく時代の進歩に対応した働き方が取り入れられていることが印象的でした。福祉に少しでも興味のある方は、ぜひインタビュー動画を見てほしいです！



産業経済学部経営学科2年  
うちかわさん

## 福祉は未来の自分ごと



来月から社会人になります。進むのは福祉とは異なる業界ですが、働きながら福祉と関わり続けている先輩の姿に背中を押され、今回ボランティアに参加しました。

実際に現場に足を運び、福祉は“誰かのため”だけでなく、“自分のこれからの生活”ともつながっていると実感しました。老後に希望を持って生きるためにも、今の自分にできることを探していきたいです。



立教大学現代心理学部心理学科4年  
まつやさん

福祉の世界に  
思いきって踏み込んでみた



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

私は「福祉」という「人に密着できる仕事」に興味を抱きつつも、実際の仕事風景が実感できず、1歩踏み出せずにいる学生でした。そんな私が自立支援協会さんにお邪魔して、福祉の仕事の多様さを知りました。なぜ福祉の道を選んだのか、ご利用者様に寄り添うにあたり心掛けていることはなんなのか、沢山のお話を伺う中で福祉の仕事は様々な関わり方があるからこそ、自分らしさを活かしながら働いていける仕事なのだと思います！福祉という仕事の中身を知ることで、福祉の意外な1面や自分の得意を活かせる点にきっと気づけると思っています！あなたも1歩踏み出してみてはいかがですか？



近畿大学文芸学部文学科4年  
きむらさん

地域とのつながり



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

福祉は意外と身近にあり、関わりやすいと感じました。品川にあるケアメイトさんは経営者の方や、働いている方が、地域社会を大切にされていて、多世代交流が盛んです！施設は中を外からよく見えるように一部広くガラス張りになっていて、地域の人に身近に感じてもらえるような工夫がされていました。利用者さんと保育事業の園児達との距離が近いのも魅力的でした。室内には駄菓子屋スペースもあり地域の子供達が放課後にお菓子を買いに来ていました。また、福祉系職は「コミュニケーション能力必須！」で、難しいイメージがありましたが、働いている方のお話を聞き、「どれだけ相手の事を想像出来るか」が福祉や人と関わる上で大切だという事を学びました！



高校生  
はやまさん

「現場」を知ることの大切さを実感



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

今回私が訪れたのは、特別養護老人ホームきのこ荘という施設です。自然豊かな山あいなたたずみ、認知症の高齢者や介護が必要になった方を受け入れています。今回は、施設長と生活相談員として働く職員さんに、普段の業務のことからグループホームやユニット型のケアの制度化に関わった経験についてまで、いろんなお話を聞くことができました。特に印象に残っているのは、職員さんが生き生きと働いていることが伝わってきたことです。介護の現場はしんどくて、仕事が長続きしない職員さんが多いというイメージを持っていた私はとても驚きました。それと同時に、介護職の人材不足が叫ばれている今、私のような偏見を持っている求職者に対して、現場の実態を正確に伝える必要があると感じました。今回の訪問インタビューを通して、介護や福祉に限らず、社会をよりよいものにしていくためには、課題を抱える現場についての理解が必要だということを実感しました。今回学んだ「現場の大切さ」を、今後の私のキャリアの中で活かしていきたいです！



岡山大学法学部法学科4年  
ふくまさん

漠然とした将来を掲げた僕が  
福祉訪問に?!



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

こんにちは!!いきなりなんですけど、みなさんは介護の仕事ってどんなイメージがありますか？きつい、大変、綺麗なイメージがないそんなイメージがあると思います!でも自分が今回訪問した福祉施設で、福祉のイメージがガラリとかわりました!施設の人達みなさんがすごいやりがいを感じて介護の仕事をやっててすごく見てて気持ちよかったです!マイナスなイメージからガラリと変わり良いイメージと変わりました!ありがとう!まりも会さん!



関東学院大学理工学部4年  
こいずみさん

今まで知らなかった！  
福祉・介護の世界



扉をひらく

今回の経験を通して介護職に対する印象が大きく変わりました。職員の方は和気あいあいとした雰囲気であつホームな印象で、利用者の方も楽しそうで「孫とおばあちゃん」のような距離感でした。これから大学に進学して就職という人生の分岐点に立っている高校3年生のタイミングで実際に施設に行つて職員の方に話を聞いたことで将来の選択肢を広げることが出来ました。大学では別の分野を専攻予定ですが、将来間接的にでも福祉に関われたらいいなと思いました。また、将来の職業としての観点以外でも、自分の家族が入居することになった時にどんな場所がいいのか考えるきっかけにもなりました。



高校生  
せきねさん

なんとなくモヤモヤして、  
福祉の現場を見たくなくなった



扉をひらく

メディアで耳にする福祉へのネガティブな言葉に違和感を覚えつつ、現場を見たことなどない私は、なんとなくモヤモヤした気持ちだけを抱えていました。“なんとなく”が、インタビューに参加した動機です。印象的だったのは、本気で施設のことを考える施設長さんの姿です。関わる人への細やかな配慮と、社会と施設を俯瞰する経営者の姿勢、その両方を持つ方でした。実際に訪問すると、人の表情や場所の空気が記憶に残ります。これこそ、世間のイメージに振り回されたときに思い出すべきものではないでしょうか。直接話を聞く理由なんて、“なんとなく”でも充分だと思います。



武蔵野美術大学造形学部1年  
もりやまさん

福祉や介護の定義を再考してみた！



扉をひらく

「福祉ってToじゃなくてWithだ！」私が行って感じたことです。福祉や介護は「してあげる」イメージがありませんか？勿論、おむつを替えたり、食事を手伝ったりすることはあります。改めて調べてみると介護という字はどちらも「助ける」という意味があるみたいなんです。助けるとは足りないところを補い合うということ。ちょっと医療や看護とも違う性格なのではないかな？と感じました。是非皆さんにもそれが伝わると良いなと思っています。とはいえ施設によっても、雰囲気や役割が全然違うんです！お家みたいにこじんまりしていたり、最新技術がふんだんに使われていたり…？是非OPEN FUKUSHIサイトで色々な施設を、そこから見えてくる思いを覗いてみて下さいね♪私も気になるー！！



聖心女子大学現代教養学部哲学科3年  
やまぐちさん

介護する側・される側  
境界線なく幸せな空間に



扉をひらく

施設訪問をさせていただいて印象的だったのは、利用者さんとスタッフさんがまるで家族のように和やかな雰囲気の中で過ごしていたことです。伺った施設には認知症のある利用者さんもいらっしゃったのですが、さまざまな工夫のおかげで、穏やかな雰囲気の中で過ごせるのだということも知りました。福祉業界は人手不足と言われていて切羽詰まったように思われるかもしれませんが、工夫次第でそれも乗り越えられる可能性もあることに希望を感じています！



東京外国語大学言語化学部4年  
すずきさん

「夜勤」があるからこそ  
「働きやすさ」とは



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

「私はもう5連勤なんて考えられない！」入職2年目の職員さんのこの言葉が印象に残っています。インタビュー前、私は、介護職に対して激務のイメージを持っていました。「夜勤や残業で拘束時間が長そう」といった思い込みからです。しかし現場の本音を伺い、介護職の「働きやすさ」に気付かされました。ロング夜勤でがっかり稼ぐ人、ショート夜勤で生活リズムを優先する人など、その人に合った働き方ができる職場があることを知りました。また、子育てを優先するために日勤のみで働く人もおり、柔軟な働き方ができるところも魅力の一つです。



桜美林大学リハビリアート学部4年  
うちさん

介護×ICT!  
～介護施設のICT化とは?～



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

今回訪問させて頂いた特別養護老人ホーム遊づるさんは、ICTの導入を積極的にされていました。私は今まで介護職は体力的に大変な職業だと思っていたのですが、今回の訪問を通してそのイメージが大きく変わりました。特に介護ロボットの導入が進んでおり、職員さんは利用者さんを抱えることがないとおっしゃっていたことが印象に残っています。介護ロボットを導入した初期は、利用者さんや職員さんからの抵抗もあったようですが、最近では介護器具を用いた方が安心するという声があると聞き、お互いにとって良い取り入れ方をされているのだと感じましたので、動画でぜひ見てみてください！



関西学院大学文学部2年  
おおむかいさん

福祉について何も知らない社会学部の学生が  
新たな発見を探して、開いた福祉の扉



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

私が見学させて頂いた福祉施設は、日本初・民間の認知症専門病院を設立したきのこグループさんです。特に印象的だったのは、職員が利用者さんと穏やかにコミュニケーションを取る姿です。一緒にご飯を作ったり、映画を見たりとてもアットホームな雰囲気でした。内観は季節によって折り紙が壁に貼られていて可愛く、ここに帰りたくなるお家でした。また、職員の中には、働くママさんが多く時短勤務や自由に休暇を取ることができライフワークバランスが保てる環境があるのはとても魅力に感じました。



武蔵大学社会学部3年  
やまおかさん

この世の誰もが自分らしく生きるために



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

私は今回のインタビューを通して、「福祉」と言うのはただ単に生計をたてている職業以上のものがあると強く感じました。人間は生まれてから死ぬまで必ずどこかで人の手を借りなければならないですね。「福祉」は、その“助ける部分”が多い人への支援なのではないかと思います。なので、根底には人と人との繋がりが大きくあります。ひとりひとり違うその背景に目を向けながら、どんな人でも「自分らしく生きる」ために手助けする。これはものすごく大きなやりに繋がると思っています。



関西大学社会学部1年生  
むらかみさん

あなたの福祉観を揺るがすかもしれない  
福祉のリアル!



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

「福祉の仕事をしていると、利用者さんを支えるだけでなく、自分も利用者さんに支えられていると感じる」職員さんのお話を聞いて一番印象に残っている言葉です。福祉の仕事は、みなさんがイメージするようなつらいこともあります。しかしそれ以上に、人と関わるからこそ得られるやりがいを感じられる仕事です。そんな福祉のリアルを知ると、今まで当たり前だと思っていたことが揺らぐかもしれません。福祉職に対してすでに何らかのイメージを持っている人も、まだ想像がつかないという人も、職員さんのお話から新たな気づきを得て、自分の将来の可能性を広げてみませんか?



関西大学社会学部4年  
なかばやしさん

未来はあなたの手に!  
ICTで変わる介護の現場



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

施設見学を通して施設内でのICT導入がどれほど業務の効率化や質の向上に貢献しているかを体感しました。現場では、スタッフがインカムでスムーズに連絡を取り合い、必要な情報をすぐに共有できる環境が整っていました。さらに、各利用者さんの情報が簡単に把握でき、利用者さんの安全を見守る仕組みも導入されていました。これからの福祉の現場では、ICTの活用で利用者さんの生活やスタッフの働き方の質を向上させ、介護の未来を築いていくことが求められます。介護職の業務は幅広いですが、効率化できる部分は沢山あります。生活の場としてのエンターテインメント要素も取り入れながら、ICTの力でこれからの介護をより良いものにできると感じました!



同志社大学社会学部教育文化学科4年  
きたぐちさん

舞台技術者の道から  
介護福祉士の道へ進む



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

自宅のようなデイサービス「よあけデイサービス」を運営しているNPO法人さわやか大善寺。高齢者向けのデイサービスだ。インタビューをした職員さんは柔道整復師として働いていた接骨院から介護施設に転職したそう。なぜ介護施設で働こうと思ったのか?資格が施設で活かせる場面はどこか?あれこれお話が聞きました!私自身、舞台技術の仕事に就きたいと考えているが福祉や介護とは関係のない職種からでも福祉業界を目指したいと思えるインタビューになった。人・街のために動きます!!



高校生  
とみたさん

なんでわざわざ福祉を…?



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

福祉を専門に学ぶ学部にも属することもなく、福祉のリアルを体感することのなかった私は、メディア等で報道される「福祉現場の悲痛な叫び」、 「高齢化社会の福祉の実態は」といった内容の記事から、福祉は大変で、従事されている方々のやりがいに頼った形でなんとか成り立っている仕事だと思っていました。しかし、いざインタビューにおいて施設の担当者の方々とお話してみると、皆さん目を輝かせてお仕事について教えてくださいます。福祉の仕事は案外楽しく、それは他の仕事と変わらないのかもしれない。そう気づかされました。



中央大学 国際情報学部国際情報学科 1年  
おかむらさん

# 事業成果 | ②魅力発信媒体の作成 参加学生感想レポート

アウトプット

アウトカム

あなたがイメージするよりも  
福祉の世界は奥深い！



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

実際に福祉施設を訪れて人のために働くことの大切さを学びました。大変なことはあっても、「福祉が好き」「そこにいる人が好き」という強い思いが、「誰かのために」に繋がっていくことを実感しました。訪問する前に抱いていた福祉に対するイメージは変わり、福祉施設にはみんなが笑顔で生活できる、思いやりに溢れた空間があります。私が訪れた施設では職員同士の連携や配置の工夫により対人のコミュニケーションの温かみを大切にしており、知れば知るほどまだまだ福祉の魅力が広がっていることを痛感した経験でした。



東京経済大学コミュニケーション学部2年  
みうらさん

ICT技術と介護施設の結び付き



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

私は若竹大寿会さんにお邪魔させていただきました。正直、訪れる前の介護のしごとには、とても大変そうなイメージがありました。ですが、実際訪れ、職員の方のお話を聞き、施設内の案内をしてもらうと自分の中の介護の印象がガラッと変化しました。若竹大寿会さんはICT技術を介護に取り入れ、毎日の介護記録やナースコールなどを独自のシステムで管理し、活用していました。また、利用者さんはもちろん、職員さんのことも考えていて、働きやすい環境づくりにも力を入れていた事が印象的でした。沢山のお話を聞き、大変な現場ではありませんがどの方もとても楽しそうにお仕事をしていて私もこの現場ならストレスなく利用者さんと接することが出来るのではないかなと思いました。今回のプロジェクトに参加出来てとても良い経験になりました！



高校生  
ながさわさん

こんなに介護現場は素敵なのに  
画面越しでしか伝えられないのが悔しい!!



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

私は福祉学科に所属していますが、多文化共生に関する分野を専攻しており国内の福祉に目を向けられていませんでした。日本の福祉施設への勝手なイメージがあったからです。しかし、実際に自分の目で見ることで大きく印象を変えることができました。職員さんと一緒にネイルをしておしゃれをしたり、自分で作った編み物を嬉しそうに見せてくれたり、歌を口ずさんでいたり、一人一人がのびのびして本当に暖かい雰囲気でした。職員さんに関しては、一人ではケアしきれないところは仲間ヘルプを求めている職員さん同士が信頼関係を築けているからこそ、利用者さんも安心して過ごしているんだろうなと感じました！



明治学院大学社会学部3年  
いなばさん

ちょっとの興味から  
福祉の仕事のをぞいてみた



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

両親の影響で医療・介護関係の仕事にずっと興味はあったけど、知らない事がいっぱいでした。高校三年生に向けての進路を考える中で、福祉の仕事のもっと詳しい事を知ってみたいと思いインタビューに参加しました！大変なことばかりな仕事なのかなって思っていたけど、仕事のやりがいについてのお話を聞いて福祉の仕事に対するイメージが変わって、わくわくしました！知らなかった福祉の魅力を知ることができて、楽しいインタビューでした！ぜひ見てみてください！！



高校生  
さかたさん

「福祉」ってなに？  
私の考える福祉とは...



OPEN FUKUSHI  
扉をひらく

「福祉とは何ですか？」もしあなたがそう聞かれたらどう答えますか。私は「身近にあるもの」と答えます。今回、福祉についてインタビューをさせていただいたことで、「私には関係ない」「難しそう」といったイメージが大きく変わりました。私が訪問した施設では利用者の方、働いている方、さらにその施設の周りに住んでいる方も過ごしやすい工夫が多くありました。福祉は施設の中だけにあるものではないのです。意外と福祉はあなたの近くにあるのかもしれない、あなたなりの「福祉」の捉え方を見つけてみてください！少しでも福祉に興味を持たれた方は、まずは私たちが福祉施設に向かいに行ったインタビュー動画をチェックしてみてください！



高校生  
まさいさん

福祉の道も選択肢に?!  
福祉のイメージを払拭!



OPEN FUKUSHI  
扉をひらく

私は福祉に興味のある大学生です！でも福祉の仕事って大変そう、やりがいはあるのかな？と半信半疑でした！実際に高齢者施設に見学に行くので、まず施設がまるでマンションかと思うくらい綺麗でした！  
次に介護施設で働く人にインタビューをしました！利用者の方に長生きして欲しくて懸命に働きやりがいを感じている人もいれば、利用者の方への接し方を考えたり、人生の歩み方を利用者の方へ教えてもらったりすることで、自己成長に繋げている人もいて、様々な仕事の関わり方があることを知りました！  
福祉の仕事のイメージが良い印象へと変わりました！  
福祉の道も選択肢に入れてみると良い未来が待っているかも♪



岐阜大学地域科学部 3年  
いわせさん

職員さんの満足が  
利用者さんの満足に繋がる施設



OPEN FUKUSHI  
扉をひらく

今回のわかたけ南さんへの訪問で印象的だったこと  
1つ目は業務のDX化が進んでいることです  
例えば、今まで手書きだった介護記録を電子化したことで、入力にかかる時間が短縮され、残業を減らすことができたそうです！  
2つ目は充実した研修制度があることです  
入社したての頃は実際の業務には従事せず、仕事の基礎を学んだり、職員さん同士のチームワークを育んだりするための研修のみを行う期間があるそうです！  
「利用者の方の幸せのためには、職員さんの働きやすさが大切だ」という考え方が素敵だと思いました！



東京外国語大学言語文化学部 3年  
Wさん

介護の印象が変わった!



OPEN FUKUSHI  
扉をひらく

今まで福祉・介護業界は少し時代が遅れていると思っていましたが、実際に行ってみたら若竹大寿会さんはICTが導入されていて最先端でした！スマホで介護記録が入力できたり色々驚かされる事だらけです！他の施設ではロボットの導入があるそうです！ちなみに写真は綺麗なスタッフの休憩場でマッサージチェアもありました！詳しい事は動画に☺



高校生  
うかいさん

## 福祉って凄い



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

母が福祉の仕事をしており、福祉をもっと知りた  
いと思い本プロジェクトに参加しました！初めての福  
祉施設の見学は本当に驚きの連続でした。行く前の  
イメージでは「施設は一面の白い壁で重々しい雰囲気  
なのかも」と思いきや、利用者さんの描かれた絵  
が沢山飾ってある明るい雰囲気だったり、施設長は  
少々強面なのにめちゃくちゃ優しくて  
粋な方だったり…。1番印象に残っ  
ているのは、職員さんが仰って  
いた、「無い未来は作ればいい」  
という言葉です。座右の銘にな  
りました。



高校生  
ふじいさん

## デザインの視点から 福祉の現場を訪問



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

施設を訪問する前は「一人で生活するのが難しい方ばかり  
で、職員の方々がそのお世話をする」というイメージを持っ  
ていました。しかし、私が訪問した施設では、利用者と職  
員と一緒に家事を行い、利用者が自宅に戻ったときにスム  
ーズに生活できるような手助けをしていました。  
また、介護は大変だというイメージが強かったのですが、  
ちょうど夏祭りが開催されており、施設全体に和気あいあ  
いとした雰囲気が広がっていました。また、  
異なる学年や学部の方々が一緒に訪問  
に参加し、多様な視点で福祉につ  
いて学ぶことができました。私自身は  
デザインを学んでいる立場として、  
施設内の様々な工夫に注目し、多くの  
学びを得ることができました。



静岡文化芸術大学デザイン学部2年  
のむらさん

## 福祉系学部じゃないけど 福祉業界を目指したい



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

森林を抜けた先に現れたのは、社会福祉法人希望の家。今  
回私がお伺いしたのは、自然豊かな場所に立地している身  
体障がい者の方向けの介護施設です。インタビューを受け  
ていただいたのは、大学時代に芸術を専攻していたという  
若手職員さんで、就活を始めた頃はメーカーへの就職  
を考えていたそうです。そんな中、どうして介護施設への  
就職を希望したのか？大学時代の学びは現在の仕事にど  
のように活かしているのか？あれこれとお話を  
伺ってきました。福祉系学部の学生じゃ  
なくても福祉系の仕事を目指して  
いいんだ！と背中を押してもらえ  
るようなインタビューになりました。  
社会のために、人のために、私も何か  
やってみたいぞ！



関西大学社会学部4年  
はらださん

## 福祉とは無縁の自分が 福祉に興味を持ったわけ



扉をひらく  
OPEN FUKUSHI

私は高校時代から自分本位な性格で、厳格な規則に  
沿って動くことが苦手でした。そんなとき、偶然福  
祉学部在籍しており福祉の仕事に出会いました。  
福祉の仕事に必須の業務はあるものの、職員さんによ  
って利用者さんとの関わりは多種多様でした。また、  
関わる利用者さんから感謝されることも多く、  
仕事が終わったあと良い気持ちになれる仕事だと感  
じました。インタビューで訪れた施  
設での利用者さんとの関わりを知  
り、もっと利用者さんと関わっ  
てみたいと感じる施設でした。  
福祉はたくさんの人の仕事の選択  
肢です！！



関西大学社会学部4年  
こむろさん

# 事業成果 | ②魅力発信媒体の作成 参加学生感想レポート

アウトプット

アウトカム

なんとなくモヤモヤして、  
福祉の現場を見たくなった



メディアで耳にする福祉へのネガティブな言葉に違和感を覚えつつ、現場を見たことなどない私は、なんとなくモヤモヤした気持ちだけを抱えていました。"なんとなく"が、インタビューに参加した動機です。

印象的だったのは、本気で施設のことを考える施設長さんの姿です。関わる人への細やかな配慮と、社会と施設を俯瞰する経営者の姿勢、その両方を持つ方でした。実際に訪問すると、人の表情や場所の空気が記憶に残ります。これこそ、世間のイメージに振り回されたときに思い出すべきものではないでしょうか。直接話を聞く理由なんて、"なんとなく"でも充分だと思っています。



武蔵野美術大学造形学部1年  
もりやまさん

意外と福祉は身近かも？  
まずは施設の中やインタビュー記事を見てみよう！



普段は大学で心理学を専攻していて、授業の中で福祉分野について学ぶ機会がありましたが、デイケアセンターや小規模多機能型居宅介護施設へ見学に行くのは初めてでした。想像以上に綺麗な施設で、メダカを飼っていたり、法人の中で部活動があったりと楽しそうでした。働く人たちの中には、前職はスポーツトレーナー、管理栄養士の資格を持っているなど、そこから介護のしごこに繋がるんだ！と驚きました。見学を通して、もっと知りたいという興味が湧き、次の行動に繋がります。なかなかない貴重な機会だったので、ぜひチェックしてみてください！



京都先端科学大学人文学部4年  
かわばやしさん

福祉の道  
他学部から福祉の仕事に就ける!?



今回、私が訪問させていただいた、社会福祉法人・希望の家さんでは、最新の技術を取り入れたアットホームな施設でした。自然豊かで、空気も美味しい、とても素敵な施設です。利用者さんと職員さんとの距離が近く魅力的でした！また、タイトルにもある通り、私たちは芸術専攻であった、友野さんにインタビューさせていただきました。なぜ、芸術専攻から介護のお仕事に就こうと思ったのか、その職について良かった点など様々なことを教えていただきました！全く別の学部や学科で学んだことも介護のしごこに生かす事が出来ることを知りました！



高校生  
にしかわさん

# 事業成果 | ③魅力発信媒体配信サイトの作成

アウトプット

アウトカム

- 動画アーカイブサイト「OPEN FUKUSHI」をリニューアルし、介護職インタビュー動画をメインコンテンツとしている。
- サイト内で公式LINEや就職イベント関連サイト、ダイレクトリクルーティングサイト等にアクセスできるようにしている。



タグ選択で動画を検索することが可能



LINEで情報をGET!

関連ページ（就職イベント、リクルーティングサイト等）へアクセス可能

OPEN FUKUSHIを通じて少しでもフクシが気になった方は、まずはOPEN FUKUSHIの公式LINEにご登録ください！もう少し福祉を知ることのできるコンテンツやセミナー・ボランティア・イベントの情報を配信します！お問い合わせもLINEからお願いします。



項目	SNS広告	他実施団体での魅力発信媒体掲載
実績	延べ100万（約2ヵ月）	4団体
目標	15万×7ヵ月	3団体
評価	×	○

※団体内訳）  
 楽天株式会社：知る。わかる。介護のしごと  
 マガジンハウス：マガジンハウス配布冊子  
 PwCコンサルティング：  
 ↳なるほどカイゴNo.8（2025年1月発行）  
 ↳なるほどカイゴNo.6（2024年11月22日発行）  
 朝日新聞社：これからのKAIGO

### 【評価基準】

- ◎：達成率150%以上
- ：達成率100%以上
- △：達成率80%以上
- ×

### 他実施団体での掲載



# 事業成果 | ④魅力発信媒体の拡散 アウトカムに対する達成率

アウトプット

アウトカム

- 動画再生数やLINEアカウント登録者数の目標達成率は100%を超えている。一方で、動画視聴前より福祉・介護分野への就職意欲が高まったと回答した学生は41.3%に留まっている。
- ①-1、①-2の実績が目標を大幅に上回る結果となったのは、他採択事業者との連携による拡散効果が大きいと考えられる。

### 【評価基準】

- ◎：達成率150%以上
- ：達成率100%以上
- △：達成率80%以上
- ×：達成率80%未満

アウトカム	目標	測定結果	達成率	評価
①-1:ショート動画再生回数	5,000回	78,018回 (2025.03.31時点)	1560.4%	◎
①-2:本編動画再生回数	2,000回	149,688回 (2025.03.31時点)	7484.4%	◎
②:本編動画視聴後に福祉・介護の仕事への理解が深まったかどうか。	80%以上	99.5% (n=208)	124.4%	○
③-1:動画視聴後の福祉・介護への興味・関心が動画視聴前と比較して高まったかどうか	70%以上	89.9% (n=208)	128.4%	○
③-2:福祉・介護関連情報収集用LINEアカウントの登録者数	150人以上	337人	224.7%	◎
④:動画視聴後の福祉・介護分野への就職意欲が動画視聴前と比較して高まったかどうか	50%以上	41.3% (n=208)	82.6%	△
⑤-1:施設見学・ボランティア・就職イベント参加移行率	20%以上	0% (n=208)	0%	×
⑤-2:福祉・介護事業所への取材ボランティアの参加意向	50%以上	78.0% (n=207)	156.0%	◎

# 事業成果 | ④魅力発信媒体の拡散 効果検証\_サイト/動画視聴後アンケート概要

- サイト/動画閲覧者を対象にサイト/動画閲覧後の福祉・介護に対する意識の変化を調査するためにWebアンケートを実施。
- アンケート調査には「Questant」を使用。
- モニターの募集にあたっては、activo（アクティボ※）を使用。
- モニターの属性には、社会問題や社会貢献活動に関心が高いといった特徴・バイアスがあることに留意が必要。

※activo（アクティボ）とは、国内最大級のNPO・社会的企業のボランティア・職員/バイトの募集サイト

## 「OPEN FUKUSHI」サイト/動画視聴に関するアンケート

OPEN FUKUSHIのWebサイトおよび掲載動画に関するアンケートです。

### 【対象者】

- 社会福祉士や精神保健福祉士、介護福祉士など福祉・介護の専門資格を取得する学科やコースに在籍していない大学生（短期大学含む）・専門学校生・高校生の方
- OPEN FUKUSHIサイト内の動画を1つ以上、最後まで閲覧した方

### 【留意点】

- 入力いただいた情報は「令和6年度介護のしごと魅力発信等事業 介護職発信事業」の報告書にて公表いたします。ただし、個人情報や個人が特定される情報を公表することはありません。
- ご回答は、お一人につき、1回のみ有効です。複数回の回答が認められた場合には、すべての回答を無効といたします。
- ご回答内容と特典の有無/金額は関係ございませんので、動画を視聴した率直なご感想をご回答ください。
- 回答内容に不正が認められた場合には、回答を無効にするとともに、法的措置を取る場合がございます。

※本アンケートは「令和6年度介護のしごと魅力発信等事業 介護職発信事業」の一環として実施しています。

上記の【対象者】【留意点】をご確認いただき、対象者であること、および留意点に同意いただける場合は、回答をお願いいたします。

※本アンケートの特典配布に関しては自己財源にて実施しています

# 事業成果 | ④魅力発信媒体の拡散

## 効果検証\_サイト/動画視聴後アンケート設問①

設問	選択肢
あなたについて教えてください。お名前 メールアドレス	記述式
属性について教えてください。	1.大学生 2.短期大学生 3.専門学校生 4.高校生 その他
学校名を教えてください。	記述式
学部・学科・専攻を教えてください。	記述式
学年を教えてください。	1年生 2年生 3年生 4年生 その他
興味・関心がある社会課題について教えてください。	次頁参照
サイトおよび動画に関する満足度を教えてください。	5:非常に満足 4:やや満足 3:普通 2:やや不満 1:不満
サイトや動画に対するご要望や改善事項等がございましたら記載してください。ご意見・ご要望	記述式
特に印象に残った動画のタイトルを教えてください。	記述式
サイトおよび動画閲覧前の福祉・介護に対するイメージを教えてください。	記述式
サイトおよび動画閲覧後の福祉・介護に対するイメージを教えてください。	記述式
サイトおよび動画閲覧前後で福祉・介護に対するイメージが変化した場合、サイトおよび動画内のどのようなキーワードや体験、場面がイメージの変化に影響しましたか。	記述式
サイトおよび動画閲覧前の福祉・介護に対する関心度合いについて最も当てはまるものを選択してください。	5:非常に関心がある 4:やや関心がある 3:どちらともいえない 2:あまり関心がない 1:関心がない
サイトおよび動画閲覧後の福祉・介護に対する関心度合いについて最も当てはまるものを選択してください。	同上
サイトおよび動画閲覧後の福祉・介護の仕事に対する理解度合いについて、最も当てはまるものを選択してください。	3:非常に理解が深まった 2:やや理解が深まった 1:理解度に変化はなかった
サイトおよび動画閲覧前の福祉・介護分野への就職・進学意欲について最も当てはまるものを選択してください。	5:福祉・介護分野へぜひとも就職したい 4:福祉・介護分野への就職を前向きに検討している 3:福祉・介護分野への就職も少し検討している 2:福祉・介護分野への就職は考えていない 1:未定
サイトおよび動画閲覧後の福祉・介護分野への就職・進学意欲について最も当てはまるものを選択してください。	同上
サイトおよび動画を視聴してみて、動画内の学生のような福祉・介護事業所への取材ボランティアに参加してみたいと思いましたが？	とても参加してみたいと思う 少し参加してみたいと思う どちらともいえない あまり参加してみたいと思わない 参加してみたいと思わない
福祉・介護に関するイベントのうち、参加してみたいイベントを選択してください。（複数回答可）	1:福祉・介護事業所の施設見学 2:福祉・介護事業所のボランティア 3:福祉・介護関連の就職イベント 4:福祉・介護関連のセミナー・講演会 5:その他
その他ご意見や感想等がございましたら記載してください。	記述式

# 事業成果 | ④ 魅力発信媒体の拡散

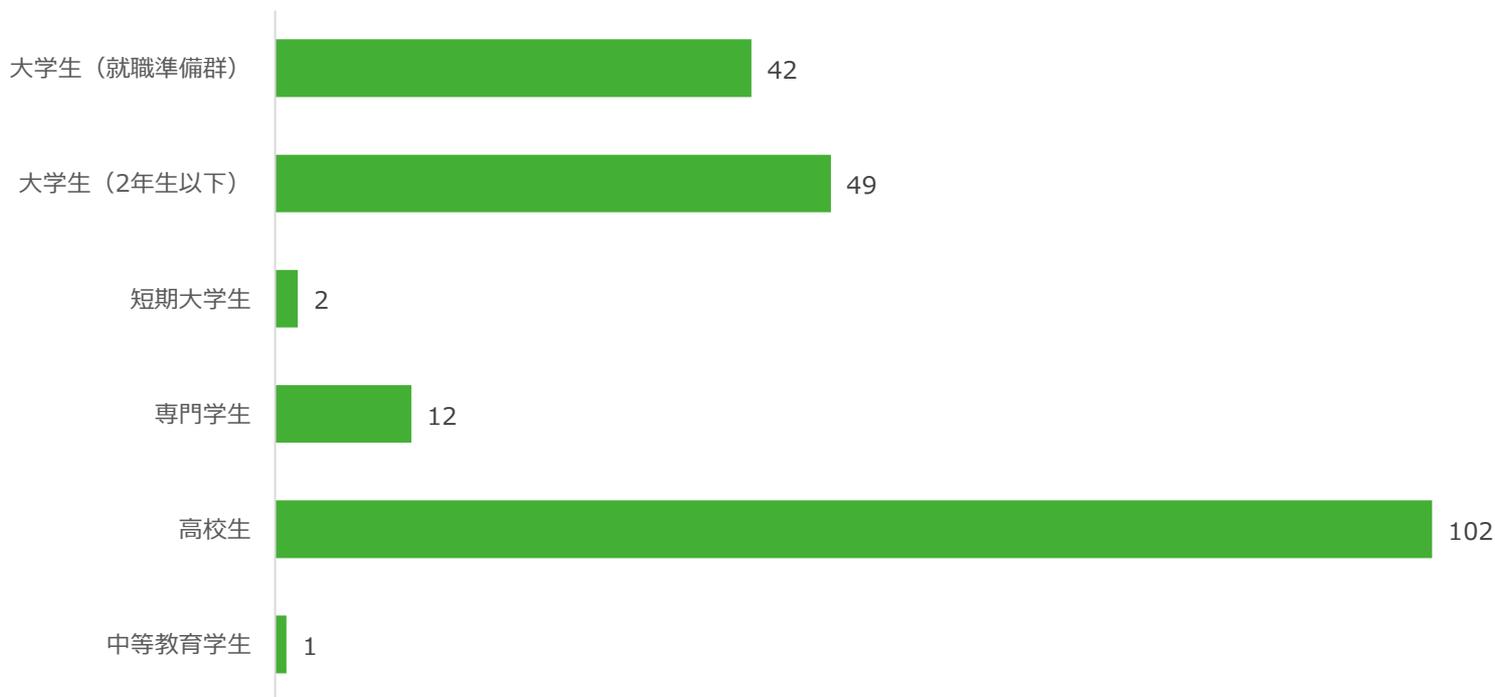
## 効果検証\_サイト/動画視聴後アンケート設問②

設問	選択肢	
<p>興味・関心がある社会課題について教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1: 国際政治・民主化運動</li> <li>2: 貧困・食糧危機</li> <li>3: 伝染病・感染症対策</li> <li>4: 医療崩壊・医師不足</li> <li>5: 憲法改正</li> <li>6: 安全保障</li> <li>7: 治安維持・テロ対策</li> <li>8: 世界平和・国際紛争解決</li> <li>9: 格差社会</li> <li>10: 高齢化社会・介護問題</li> <li>11: 少子化・働く女性支援</li> <li>12: 地域振興・地元の活性化</li> <li>13: 地球温暖化・脱炭素社会</li> <li>14: 原発問題</li> <li>15: 景気動向・国際市場動向</li> <li>16: 非正規社員・労働問題</li> <li>17: LGBTQ+</li> <li>18: フェイクニュース・デマ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>19: いじめ・教育問題</li> <li>20: 外国人労働・移民問題</li> <li>21: 年金問題</li> <li>22: あおり運転・高齢ドライバー</li> <li>23: ジェンダー平等・社会的性差</li> <li>24: 選択的夫婦別姓</li> <li>25: 同性婚・パートナーシップ制度</li> <li>26: 自然保護・生態系保護</li> <li>27: デジタル化・DX</li> <li>28: SNS被害</li> <li>29: 食品ロス・フードロス</li> <li>30: 動物愛護・ペット殺処分</li> <li>31: インフレ・物価上昇</li> <li>32: 政治不信</li> <li>33: 宗教に関する問題（政治との関係・高額献金・宗教二世）</li> <li>34: 上記のようなことにまったく興味がない</li> <li>その他</li> </ul>

## 事業成果 | ④魅力発信媒体の拡散 効果検証\_アンケート回答結果（回答者属性①）

- アンケートの回答総数は208人。
- 高校生102人が最も多く、次いで大学生（2年生以下）49人、大学生（就職準備群）42人の順に回答が多かった。

属性別のアンケート回答状況（n=208）



※大学生（就職準備群）：大学3年生以上

# 事業成果 | ④魅力発信媒体の拡散 効果検証\_アンケート回答結果（回答者属性②）

学部別のアンケート回答状況（n=91）

教育学部	8
農学部	6
経済学部	5
文学部	5
法学部	4
外国語学部	3
人文学部	3
医学部	2
看護学部	2
国際教養学部	2
商学部	2
心理学部	2
人間科学部	2
生活環境学部	2
総合政策学部	2
理工学部	2
アジア太平洋学部	1
コミュニティ人間科学部	1
メディア情報学部	1
医薬保健学域	1
医療保健学部	1
学校教育学部	1
環境情報学部	1
共同獣医学部	1
教養学部	1
経営学部	1
芸術学部	1
現代教養学部	1

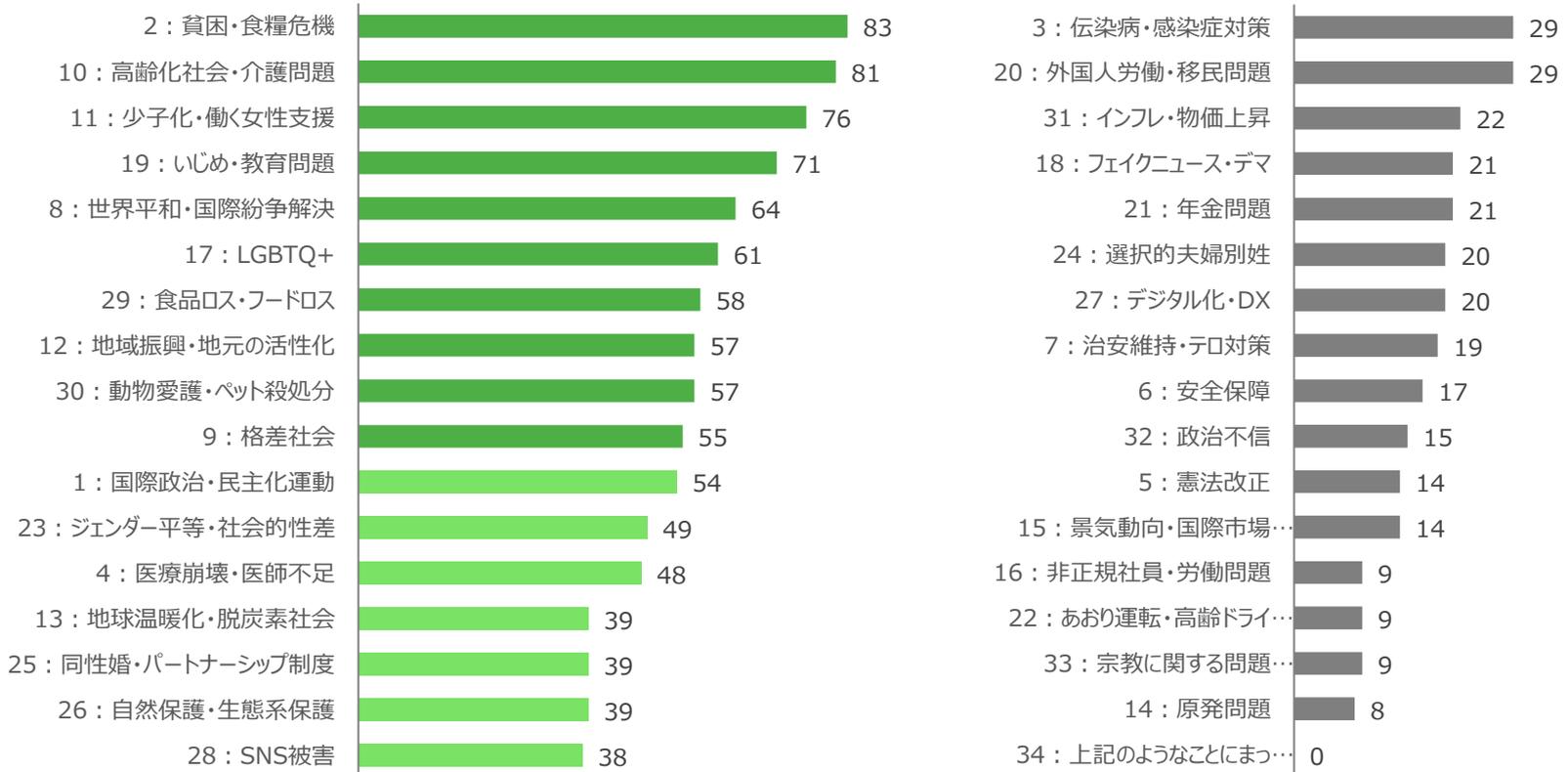
現代心理学部	1
言語コミュニケーション学部	1
工学部	1
国際コミュニケーション学部	1
国際英語学部	1
国際関係学部	1
国際情報学部	1
国際文化交流学部	1
社会学部	1
社会福祉学部	1
獣医学群	1
情報マネジメント学部	1
人間・環境学研究科	1
人間文化学部	1
人文社会科学部	1
政策科学部	1
創造理工学部	1
総合科学部	1
地域デザイン科学部	1
比較文化学部	1
飛行機操縦科	1
文化構想学部	1
文教育学部	1
保健科学部	1
保健学部	1
法文学部	1
薬学部	1

# 事業成果 | ④魅力発信媒体の拡散

## 効果検証\_アンケート回答結果 (回答者属性③)

- 「2:貧困・食糧危機」「10:高齢化社会・介護問題」「11:少子化・働く女性支援」「19:いじめ・教育問題」「8:世界平和・国際紛争解決」が上位を占めている。
- 社会課題に興味・関心がない学生はおらず、回答者全員が何かしらの社会課題に興味・関心を示していた。

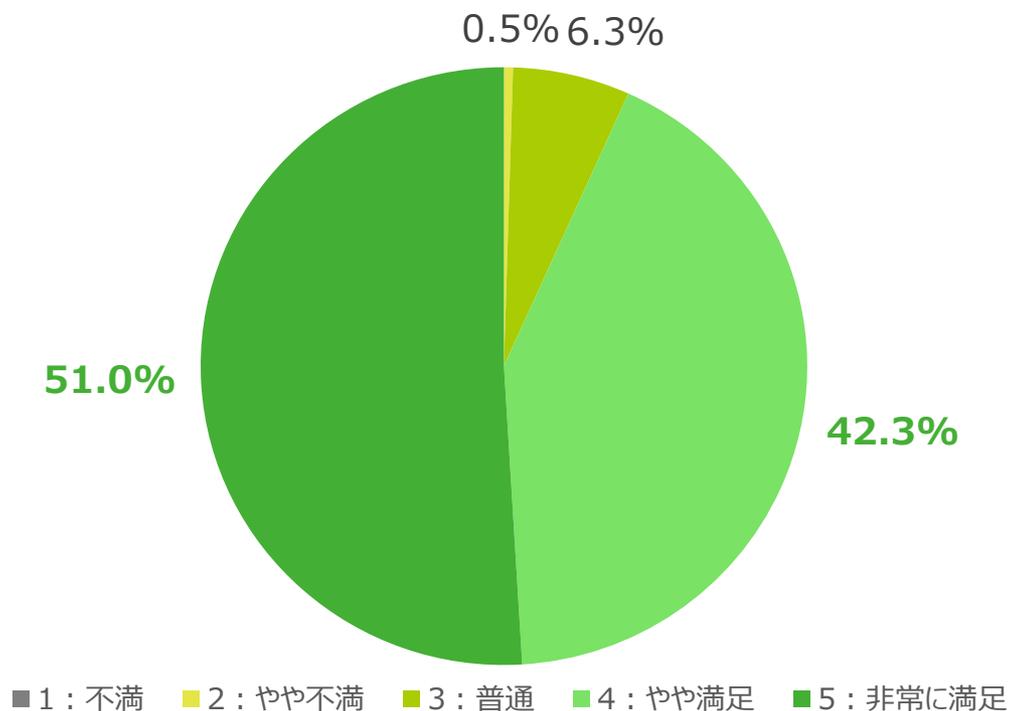
興味・関心がある社会課題別のアンケート回答状況 (n=208) ※複数回答



## 事業成果 | ④魅力発信媒体の拡散 効果検証\_アンケート回答結果（満足度）

- サイト/動画を視聴した学生のうち93.3%がサイト/動画コンテンツに満足していると回答している。

サイトおよび動画に関する満足度（n=208）



## 事業成果 | ④魅力発信媒体の拡散

### 効果検証\_アンケート回答結果（特に印象に残った動画のタイトル）

- 回答数上位5つの動画のみで回答の80%以上を占めており、学生の興味・関心領域が近い傾向にあると考えられる。
- 回答傾向より、ICT等の先駆的な取り組み、福祉 + αの取り組み、福祉・介護を志す動機や実際の働き方等に関連するテーマが潜在的関心層の興味をひきやすいテーマであると考えられる。

特に印象に残った動画のタイトル（n=182）



※有効回答のみ集計

## 事業成果 | ④魅力発信媒体の拡散

### 効果検証\_アンケート回答結果（福祉・介護に対するイメージの変化）

- 動画視聴を通じて、福祉・介護に対するやりがい、キャリア、仕事内容、労働環境等についてのイメージにプラスの影響が見られた。

※一部抜粋。原文ママ

#### インタビュー実施前後の福祉・介護に対するイメージ

#### イメージ変化に寄与したキーワード等

実施前

食事や入浴、トイレなど日常生活において困難と感じることをサポートする仕事というイメージを持っていた。

実施後

身体的なケアだけでなく、**心のケアも大事**であるということ。また、ケアを必要としている方だけでなく、その家族からも感謝される、大変だけどその分**やりがいのある仕事**というイメージへと変化した。

その方の世界を想像してめげずに  
関わりを続けることが大切

実施前

身体介助や生活介助が中心で、アクティビティ等も施設の中で多くは完結するものだと思っていた。

実施後

施設中でのつながりにとどまらず、**地域社会とのつながりを利用者の視点に立って大切にしている、素敵**だと思った。また、コミュニティキャストという職種を初めて聞き、**キャリアの幅が広い**と感じた。

地域の人とのつながり、  
コミュニティキャスト

実施前

介護職は体力も精神も削られる大変な仕事というイメージです。働く人も少なく、介護がしたいという人になるよりも、お金を稼ぐために仕事をする人が多いイメージでした。

実施後

介護職は素晴らしく、**自身の成長が感じられる**もの。最新の技術を用いたり介護を多角的な視点で良くしようとしてる人がいる**将来性のある仕事**だと思った。

ステップアップさせてくれる仕事

## 事業成果 | ④魅力発信媒体の拡散

# 効果検証\_アンケート回答結果（福祉・介護に対するイメージの変化）

※一部抜粋。原文ママ

### インタビュー実施前後の福祉・介護に対するイメージ

実施前

福祉や介護に携わっている人は、元からその業界に興味があり、学校などで専攻してきた人達が多いイメージでした。

実施後

介護・福祉だけでなく、様々な業界からたまたま福祉に携わることがあり、それがきっかけで介護職などに就く方がいるということを知り、様々な方面から、介護や福祉業界が支えられているイメージになった。

実施前

従業員減少問題によって、1人の労働や、ストレスが増加していると考えていました。

実施後

ICTを使うことによって、部屋に行かなくてもお客様を確認できたら、記録を取れたりと、とても業務の効率化に特化していると思いました。そのストレス軽減により、従業員とお客さんの距離が近くなったりとメリットが多く、福祉業界も労働環境が良くなっているんだと感じました。

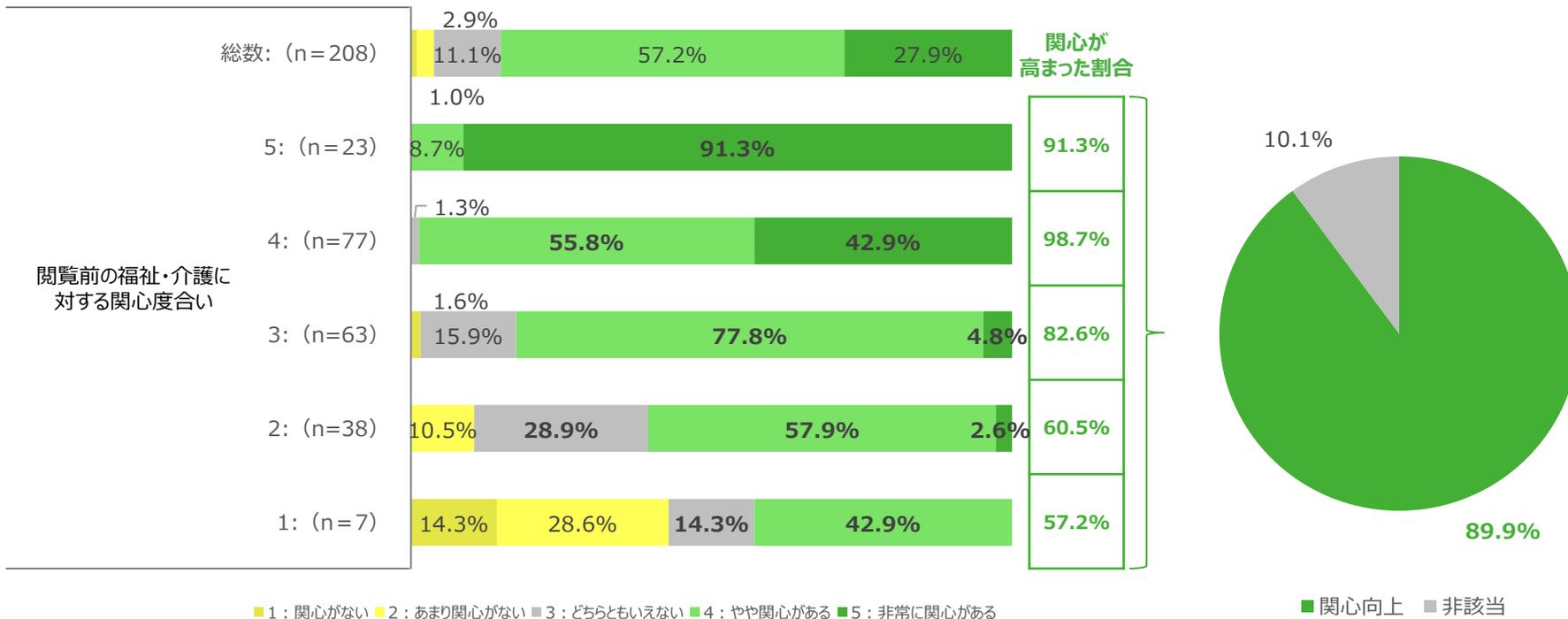
### イメージ変化に寄与したキーワード等

働いていたところが福祉施設なようなもので、それがきっかけで介護などを学び、資格をとったという場面

ICTを使った見守りカメラ、写真を撮ることでご家族に喜んでもらう

- サイト/動画閲覧後の学生の89.9%が、福祉・介護分野への興味関心が高まっている。
- 特に「あまり関心がない」と回答していた学生の60.5%が「やや関心がある」以上に関心度合いが変化したことが確認できる。

サイト/動画閲覧後の福祉・介護に対する関心度合い (n=208)



※関心が高まった

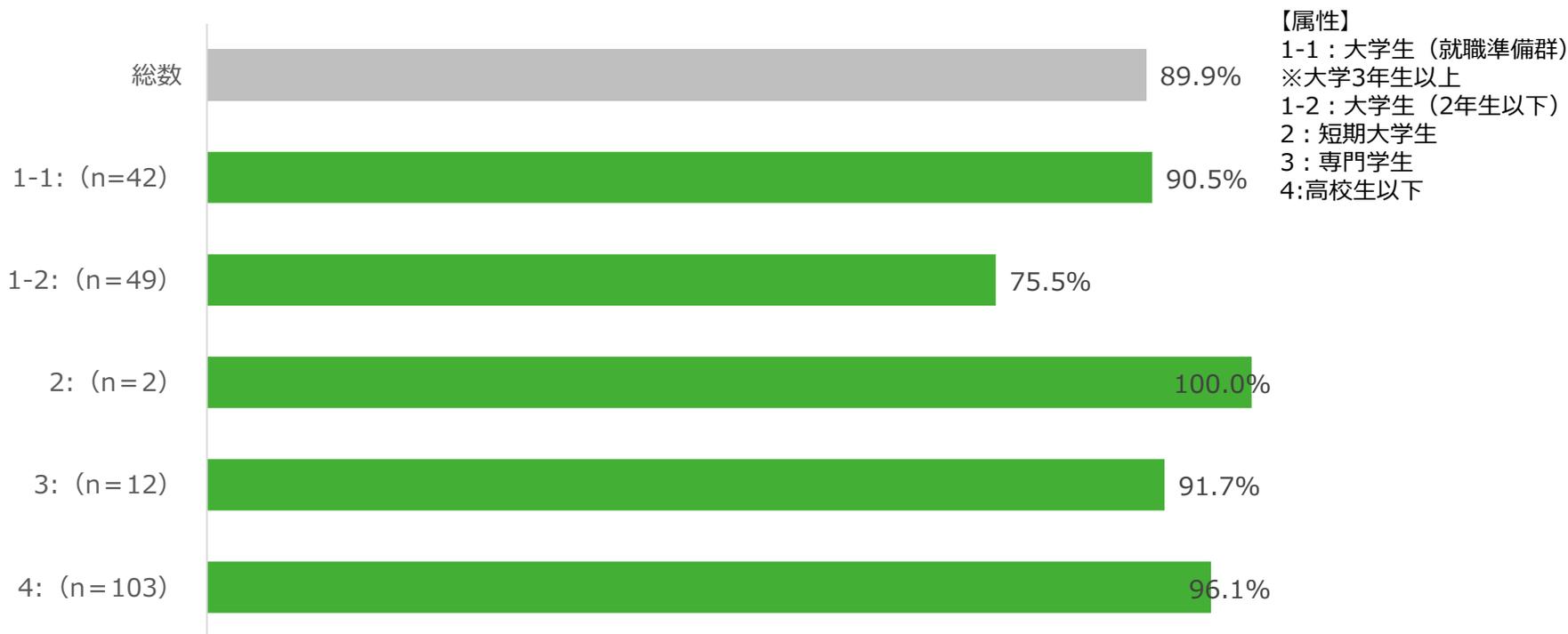
閲覧前の関心度合い1-2 : 閲覧後に「3 : どちらともいえない」「4 : やや関心がある」「5 : 非常に関心がある」と回答

閲覧前の関心度合い3-4 : 閲覧後に「4 : やや関心がある」「5 : 非常に関心がある」と回答

閲覧前の関心度合い5 : 閲覧後に「5 : 非常に関心がある」と回答

- メインターゲットである大学生のうち、就職準備群90.5%の関心が高まっている一方で、2年生以下については75.5%に留まっている。
- 短期大学生や高校生以下については、学生の95%以上の関心が高まっている。

福祉・介護に対する関心が高まった割合\_学年別 (n=208)



※関心が高まった

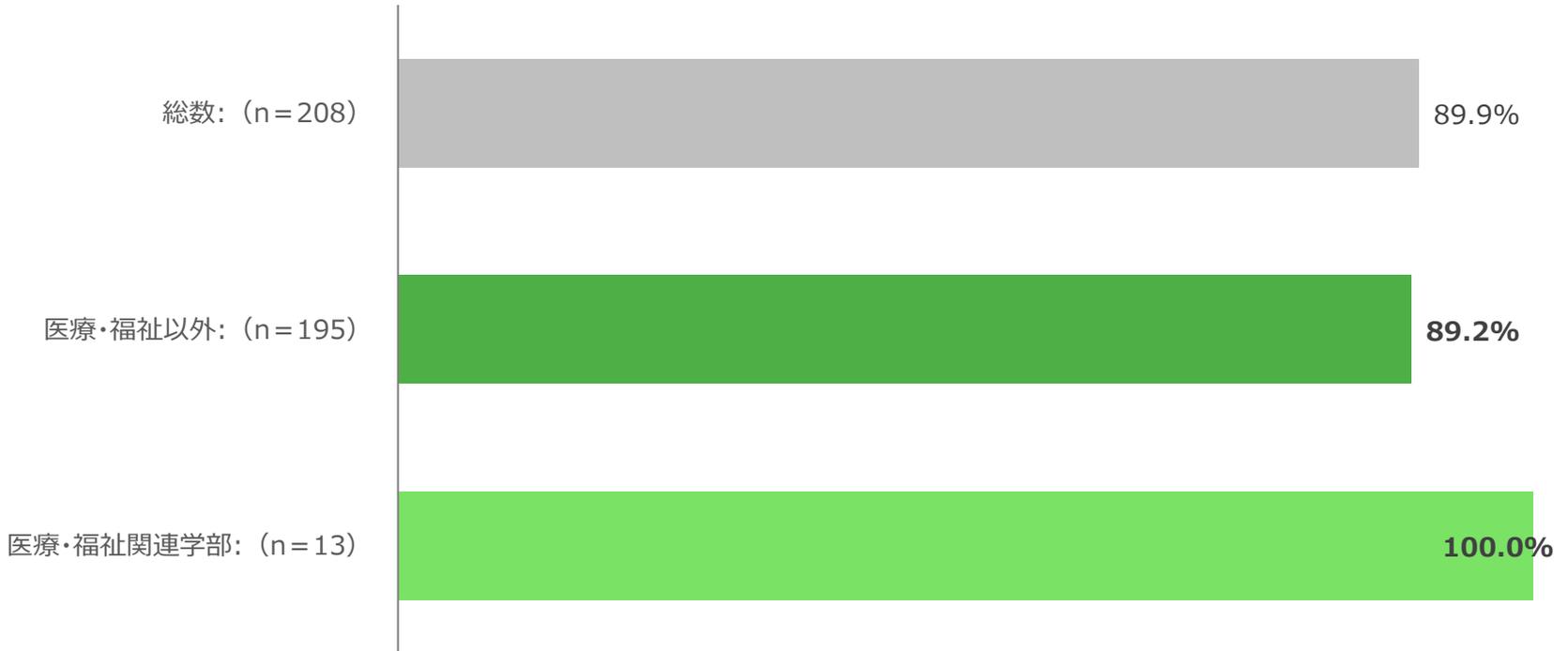
閲覧前の関心度合い1-2 : 閲覧後に「3 : どちらともえない」「4 : やや関心がある」「5 : 非常に関心がある」と回答

閲覧前の関心度合い3-4 : 閲覧後に「4 : やや関心がある」「5 : 非常に関心がある」と回答

閲覧前の関心度合い5 : 閲覧後に「5 : 非常に関心がある」と回答

- サイト/動画を視聴した医療・福祉関連学部の子生すべての関心が高まっている。
- 医療・福祉以外の学部の子生についても89.2%の子生の関心が高まっている。

福祉・介護に対する関心が高まった割合\_学部別 (n=208)



※関心が高まった

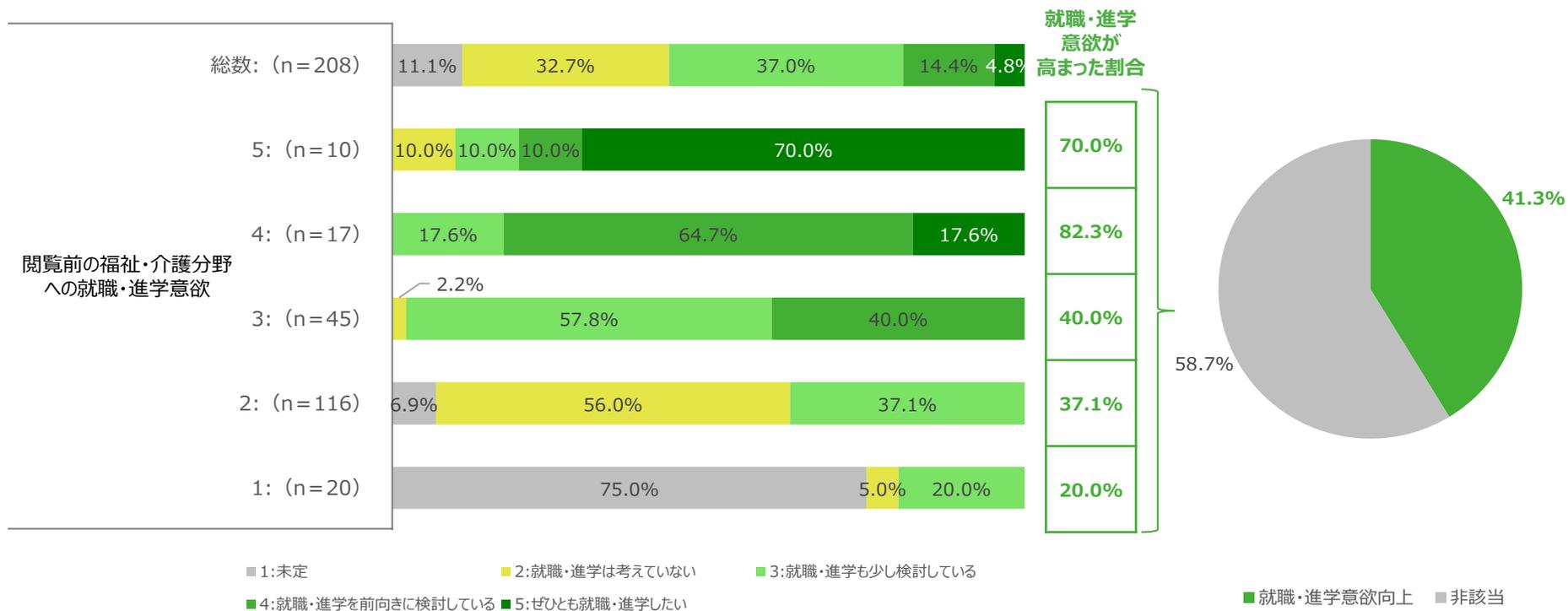
閲覧前の関心度合い1-2 : 閲覧後に「3 : どちらともえない」「4 : やや関心がある」「5 : 非常に関心がある」と回答

閲覧前の関心度合い3-4 : 閲覧後に「4 : やや関心がある」「5 : 非常に関心がある」と回答

閲覧前の関心度合い5 : 閲覧後に「5 : 非常に関心がある」と回答

- ・ サイト/動画閲覧後の学生の41.3%が、福祉・介護分野への就職・進学意欲が高まっている。

サイト/動画閲覧後の福祉・介護分野への就職・進学意欲 (n=208)



※就職・進学意欲が高まった

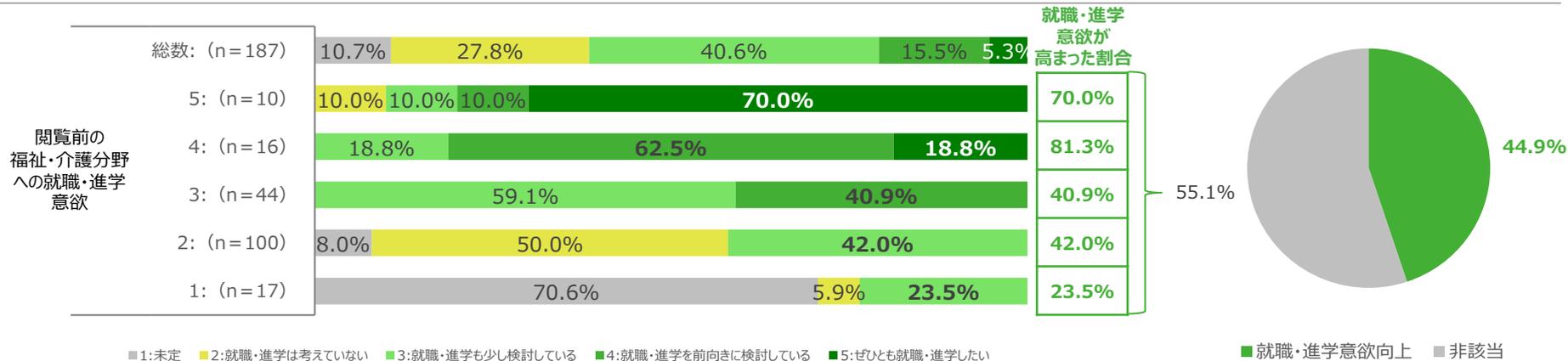
観覧前の就職・進学意欲1-2 : 観覧後に「3 : 就職・進学も少し検討している」「4 : 就職・進学を前向きに検討している」「5 : ぜひとも就職・進学したい」と回答

観覧前の就職・進学意欲3-4 : 観覧後に「4 : 就職・進学を前向きに検討している」「5 : ぜひとも就職・進学したい」と回答

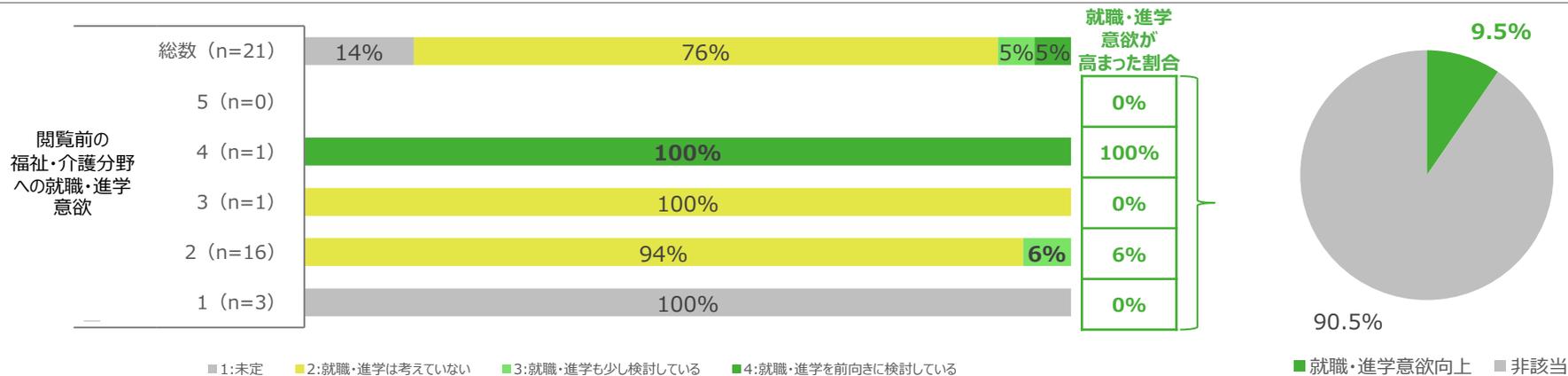
観覧前の就職・進学意欲5 : 観覧後に「5 : ぜひとも就職・進学したい」と回答

- サイト/動画閲覧後に福祉・介護分野に対する関心が高まっている学生のうち、44.9%の学生が福祉・介護分野への就職意欲が高まっている。一方で、サイト/動画閲覧後に福祉・介護分野への関心が高まらなかった学生のうち、福祉・介護分野への就職意欲が高まっている学生は9.5%に留まる。

サイト/動画閲覧後の福祉・介護分野への就職・進学意欲\_興味・関心向上層 (n=187)



サイト/動画閲覧後の福祉・介護分野への就職・進学意欲\_興味・関心未向上層 (n=21)



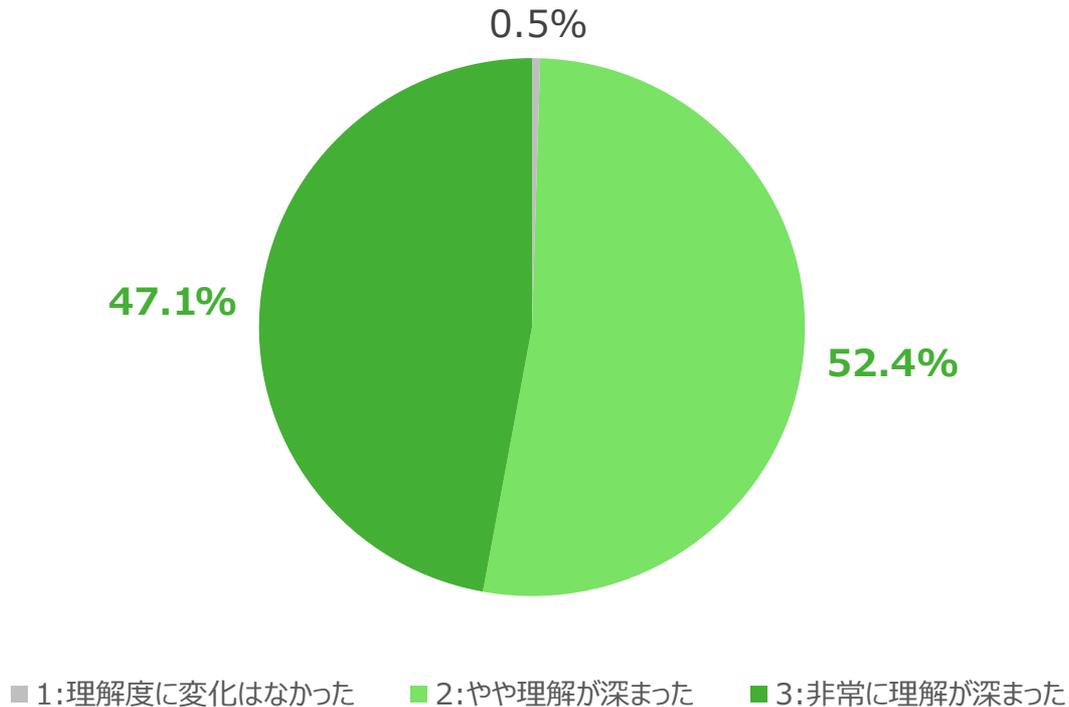
# 事業成果 | ④魅力発信媒体の拡散 効果検証\_アンケート回答結果（仕事に対する理解度）

アウトプット

アウトカム

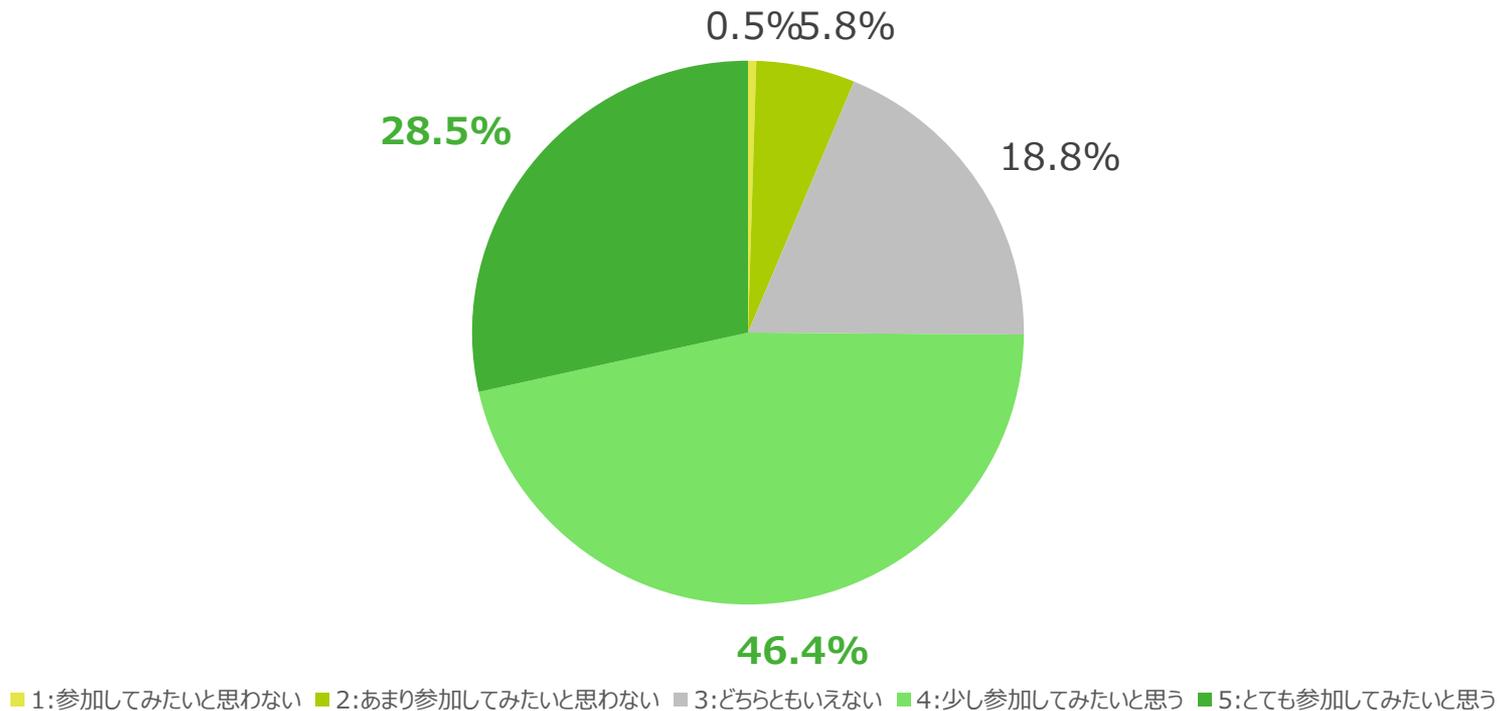
- サイト/動画視聴後に、福祉・介護の仕事に対する理解度が「非常に深まった」「やや深まった」と99.5%の学生が回答している。

福祉・介護の仕事に対する理解度（n=208）



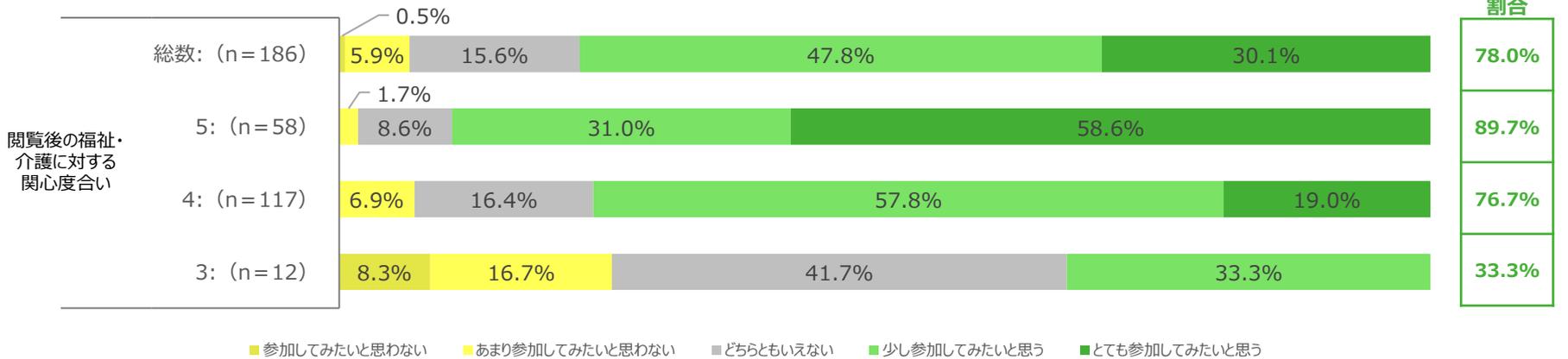
- サイト/動画を視聴した学生の74.9%が福祉・介護事業所への取材ボランティアへの参加を希望していた。

福祉・介護事業所への取材ボランティアへの参加希望（n=207）

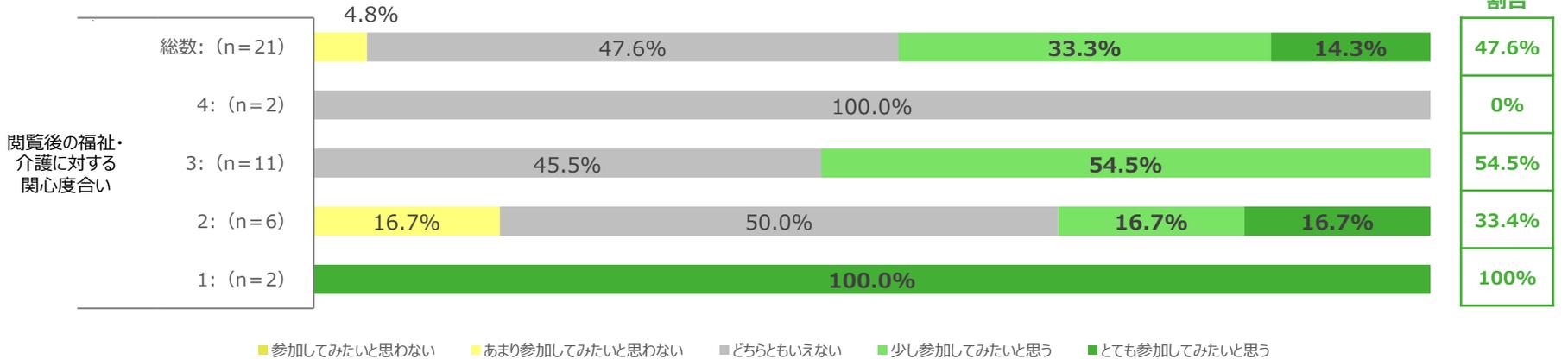


- ・ サイト/動画視聴後に福祉・介護に対する関心が高まった学生のうち、78.0%の学生が福祉・介護事業所への取材ボランティア参加に意欲的だと回答している。

福祉・介護事業所への取材ボランティアへの参加希望\_興味・関心向上層 (n=186)



福祉・介護事業所への取材ボランティアへの参加希望\_興味・関心未向上層 (n=21)

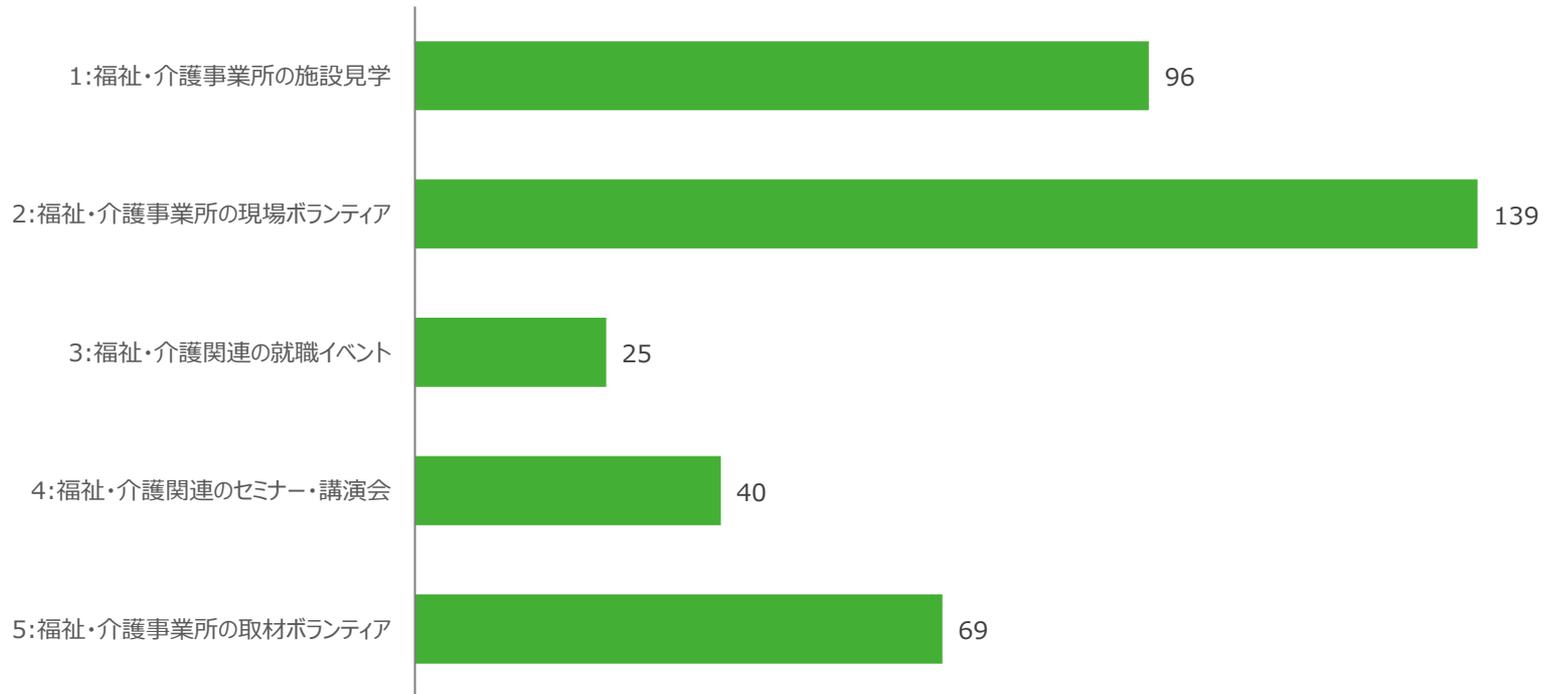


## 事業成果 | ④魅力発信媒体の拡散

### 効果検証\_アンケート回答結果（参加を希望するイベント）

- 参加を希望する福祉・介護関連イベントについては、「福祉・介護事業所のボランティア」が最も多く、次いで「福祉・介護事業所の施設見学」、「福祉・介護事業所の取材ボランティア」の順に多い。
- 「福祉・介護関連の就職イベント」への参加については25人と、参加者の半数以下の回答となった。

参加を希望する福祉・介護関連イベント（n=208）※複数回答



# 事業成果 | 効果検証\_企画委員向けアンケート

氏名 沢渡 一登 氏

所属 公益財団法人日本財団ボランティアセンター 常務理事



1. 学生による若手介護職への取材事業について、取り組み内容や参加者数についてお感じになられたことを教えてください。

感覚としては分かっていたが、福祉について興味関心があり、何かしらアクションを起こしたいと考えている学生が一定数いることが数字でも明らかになったと感じている。

2. 動画の題材となるテーマ選定や動画の内容についてお感じになられたことを教えてください。

うまく編集されており、飽きずに見ることのできる工夫がされている。

3. 本事業で作成した動画の閲覧数についてお感じになられたことを教えてください。

目標を超える再生数があったのは事務局の努力の賜物かと思いますが、視聴後の福祉・介護分野への就職意欲が目標を下回ってしまったことが残念に感じました。

4. 取材した学生の変化やアンケートでのコメントについてお感じになられたことを教えてください。

インタビューを通じて、福祉の魅力や福祉のリアルを知ることが出来たのではないかと感じました。

5. 本事業で作成した動画を閲覧した学生の変化についてお感じになられたことを教えてください。

福祉とボランティアは親和性が高いので、インタビューの次のステップとして、福祉でのボランティア活動を用意できると効果的だと感じました。

6. その他、本事業の成果としてお感じになられたことを教えてください。

この事業を通じて、異業種の方の意見をお聞きすることができたとともに、改めて福祉の魅力を若者に伝えていくことの重要性を感じました。この機会をきっかけに、福祉に関連するボランティアの事業も企画してみたいと思います。引き続き、よろしくお願いします。

# 事業成果 | 効果検証\_企画委員向けアンケート

氏名 高桑 勝 氏



所属 全国社会福祉法人経営青年会 副会長

1. 学生による若手介護職への取材事業について、取り組み内容や参加者数についてお感じになられたことを教えてください。

取組内容については、学生が感じて、それを伝えることはおもしろいと思いました。参加者数は少し少なく感じましたが、こちら側も頑張らないといけなかったと感じました。

2. 動画の題材となるテーマ選定や動画の内容についてお感じになられたことを教えてください。

インタビューの受け答えや、内容等も含め事業者側の事前調査はあっても良かったのではと思いました。介護の縛りがあったので難しい部分はあったと思いますが。

3. 本事業で作成した動画の閲覧数についてお感じになられたことを教えてください。

学生が実際に福祉にふれ、それを学生の皆さんが動画として社会に伝えていたために、短期間でも非常に多く再生回数が上がったのではないかと感じました。

4. 取材した学生の変化やアンケートでのコメントについてお感じになられたことを教えてください。

施設を見学、職員にインタビューする事で実際に肌で感じた言葉が伝わり、福祉にネガティブなイメージを持っている学生が仕事にまでつながっていく事は素晴らしいと感じました。

5. 本事業で作成した動画を閲覧した学生の変化についてお感じになられたことを教えてください。

施設へのインタビューや体験等も含め受け入れている法人はたくさんあると思いますので、これをきっかけに介護へのハードルの高さやネガティブなイメージがいい方向に変わっていければと感じました。

6. その他、本事業の成果としてお感じになられたことを教えてください。

イメージを変えていく事は継続も必要ですし、いろんなアプローチが必要だと思いました。今回委員として参加させてもらえて、非常に勉強になりました。福祉以外のメンバーの意見は必要だと、より感じました。ありがとうございました。

# 事業成果 | 効果検証\_企画委員向けアンケート

氏名 松本 学 氏

所属 NPO法人ブレンヒューマニティ 理事長



1. 学生による若手介護職への取材事業について、取り組み内容や参加者数についてお感じになられたことを教えてください。

説明会からの参加人数までの割合はもう少し高くてもいいのではないかと思いますので、つなぎの部分については、更なる工夫があればいいと思う。一方で説明会申込者数については十分な成果があるのではないかと考えられる。

2. 動画の題材となるテーマ選定や動画の内容についてお感じになられたことを教えてください。

実際に様子が感じられ非常に楽しそうな印象を受けた。視点を切り替えて何パターンかの動画を作ってみても面白いと思う

3. 本事業で作成した動画の閲覧数についてお感じになられたことを教えてください。

動画の閲覧数については、目標に対して非常に高く、当該分野における関心度の高さを感じた。また、ボランティアの参加意向も高く有用な活動になったと考えられる。

4. 取材した学生の変化やアンケートでのコメントについてお感じになられたことを教えてください。

現場の活動を身をもって体験することは非常に重要であると感じています。また、就職につながなくても就職先の選択肢の1つになることは、今後の可能性を広げる活動になると考えているため、有用な変化であったと感じています。

5. 本事業で作成した動画を閲覧した学生の変化についてお感じになられたことを教えてください。

同世代が現場に行き、福祉を伝えているという点において、共感が高くなっていると感じる。また、介護等の重要性も十分に伝わっていることから、動画の目的が十分に達成されていると思う

6. その他、本事業の成果としてお感じになられたことを教えてください。

学生が発信をおこない、学生に伝えていくというコンセプトは非常に共感できた。会議でも話題に上がったが、今後当該事業がどのように継続し、進化していくかという点においては非常に重要な取り組みであるため、継続を期待したい。

# 事業成果 | 効果検証\_企画委員向けアンケート

氏名 河合 将生 氏

所属 大阪大谷大学/近畿大学/立命館大学「ボランティア論」担当非常勤講師



1. 学生による若手介護職への取材事業について、取り組み内容や参加者数についてお感じになられたことを教えてください。

・取材インタビューに目標を超える参加人数となったこと、また取材実施に至らなかったが55名が本申し込みに至った点も評価すべき点と思われる。本申し込みから取材実施に至らなかった理由は今後に向けた深掘りポイントとも思われる。  
・説明会申し込み人数と参加人数も多く申し込みと参加があったが、本申し込みには至らなかった人も一定数あり、この理由を把握することでも、何が学生の関心や一歩を踏み出す後押しになるかを把握する上で重要であり、そのためにこのプロセスの各段階の人数が把握できたことも一つの成果と思われる。

2. 動画の題材となるテーマ選定や動画の内容についてお感じになられたことを教えてください。

動画の案内文に「ネット検索や本で調べても出てこないようなこともたくさん質問してきたので、気になるテーマを選んで視聴してみてください」とあるように、テーマの切り口が関心と呼ぶものになっていると感じました。内容もそれぞれとても良かったです。また、SNSで発信・活用しやすいようなショート動画があるのも学生にとってシェアしやすかったり、閲覧しやすい工夫だと感じました。

3. 本事業で作成した動画の閲覧数についてお感じになられたことを教えてください。

動画の再生回数・閲覧数の多さはもとより、仕事の理解、興味関心、取材ボランティアへの参加意向が目標を上回る結果となり、本事業の意義や成果を示すものと思われる。一方、福祉・介護分野への就職意欲は目標を下回る結果となっているが、就職意欲は「魅力が高まること」だけでなく、本事業で直接アプローチした要素以外の「他の仕事との相対的な比較要素」などが影響を与えていると思われる。そのため、本事業として射程とした範囲や就職意欲を高めるための学生の学びや関心を高め、就職意欲の入口（可能性の一つとなる）のところまではアプローチできたと考えて良いのではないかとと思われる。

4. 取材した学生の変化やアンケートでのコメントについてお感じになられたことを教えてください。

介護職インタビューの参加理由や参加後のコメント、魅力発信媒体作成の参加レポートから、実際に参加することで、働いている人と仕事、現場に直接触れることができ、メディアで報じられる内容からイメージしていた福祉・介護分野の仕事の「思い込み」から脱し、実際の現場と人からイメージを形作り、就職先として考えたり、次に向けた一歩をどう踏み出していいかの後押しになったと感じました。

## 事業成果 | 効果検証\_企画委員向けアンケート (続き)

氏名 河合 将生 氏

所属 大阪大谷大学/近畿大学/立命館大学「ボランティア論」担当非常勤講師



5. 本事業で作成した動画を閲覧した学生の変化についてお感じになられたことを教えてください。

アンケートモニターの感想から、「このような機会がなければ」「ありがたい」「驚き」「自分の強みを活かせる」「福祉系学部に限らず、幅広く誰でも進んで良い」「イメージが変わった」「いいお仕事」というコメントや言葉が挙げられており、動画閲覧の機会が閲覧した学生にとって「気づき」「変化のきっかけ」や「転換点」になっていると感じました。

6. その他、本事業の成果としてお感じになられたことを教えてください。

上記の各項目で挙げたように、学生が普段の生活の中ではメディア等での情報をはじめ、限られた情報源や機会で作られる福祉・介護分野の仕事のイメージの「思い込み」がまだまだ大きく、本事業の取り組み自体が意義があるものだと思います。普段の生活の中では、接点が限られるため、「介護職インタビュー」や「アンケートモニター」といった直接、仕事に関わる人と出会い・話を聞き、事業所を訪問する機会をつくることや、作成した動画を閲覧する機会をつくることの効果を実感しました。また、インタビューをレポートとしてまとめたり、動画にまとめたり、感想をまとめる作業も、学生にとって自分自身の変化や気づきを「腑に落としていく機会」になっていると思います。さらに媒体にまとめることで、いろんな形で利活用できるものとなったことも大きな成果物だと思います。  
貴重な機会に参加する機会をいただき、ありがとうございました。

# 事業成果 | 効果検証\_企画委員向けアンケート

氏名 坂野 充 氏



所属 NPO法人JAE 共同代表

1. 学生による若手介護職への取材事業について、取り組み内容や参加者数についてお感じになられたことを教えてください。

実際に現場を見ることで、それまで想像できていなかったことができるようになったり、なんとなくマイナスなイメージが払拭されるととても良い機会だと思う。参加者数についても、学生の関心の高さがあると思う。

2. 動画の題材となるテーマ選定や動画の内容についてお感じになられたことを教えてください。

自分が見ても、現場のイメージが湧くととても良いものになっていると思う。また答える方の選択や、どういう経緯で仕事を選んだのかも、大変学生にとって参考になる内容だと思う。

3. 本事業で作成した動画の閲覧数についてお感じになられたことを教えてください。

多い少ないという自分自身の判断基準が正確ではないと思うが、とても多くの方の目に触れていると感じる。良いものがあっても知られていなければ意味がないので、成果があると言えるのだと思う。

4. 取材した学生の変化やアンケートでのコメントについてお感じになられたことを教えてください。

動画でも一定伝わる部分はあると思うが、実際に訪問した職場の雰囲気（特にポジティブな面）がより伝わっているのは良いと感じた。良い職場環境であれば、魅力が伝わる機会だと思う。

5. 本事業で作成した動画を閲覧した学生の変化についてお感じになられたことを教えてください。

「興味関心が高まった」は全員が回答しており、ねらいを達成できた良い動画になっていると感じた。自分自身も普段介護の現場に触れているわけではないので、興味深く見ることができた。

6. その他、本事業の成果としてお感じになられたことを教えてください。

実証実験的な要素があると思うが、学生にとってとても効果的なコンテンツができており、とても意義がある取り組みだと感じる。また、アンケートも含めて学生の声を多く拾っておられるので、その点も今後どのようにこの事業を展開するか検討する際に価値のあるものだと思う。



## 3. 全体総括

# 事業全体の総括

- ・ 介護・福祉に対する潜在的関心層に対して、魅力発信の受け手である学生を魅力発信の担い手として巻き込むことで、従来の介護のイメージにとらわれない多様な切り口から介護・福祉の魅力を発信することができた。また、SNSや他事業者との連携を通じて、魅力発信媒体を広範囲に普及させることができた。
- ・ インタビューの実施やサイト/動画視聴等を通じて、介護・福祉に対する潜在的関心層の興味・関心、就職意欲を刺激できた一方で、次の接点には十分につながっておらず、具体的なアクションにいかにつなげていくかが今後の課題となる。

## ①魅力発信の受け手である学生を魅力発信の担い手とすることで、若年層から共感を得やすいコンテンツを作成できた

- ・ 魅力発信の受け手である学生を魅力発信の担い手として巻き込むことで、従来の介護のイメージにとらわれない多様な切り口から介護・福祉の魅力を発信するコンテンツを作成することができた。
- ・ また、アンケート集計結果より、介護・福祉学部以外の社会課題に関心がある学生（介護・福祉に対する潜在的関心層）の興味をひきやすいテーマについて傾向を得ることができた。

## ②介護・福祉学部以外の社会課題に関心がある学生に対して、魅力発信媒体を通じて介護・福祉の魅力を届けられた

- ・ 魅力発信媒体の提供を通じて、本事業のターゲットである介護・福祉学部以外の社会課題に関心がある学生（介護・福祉に対する潜在的関心層）にアプローチすることができ、介護・福祉に対する興味・関心、就職意欲を刺激することができた。
- ・ また、SNS発信や他事業者との連携を通じて、魅力発信媒体を広範囲に普及させることができた。

## ③興味・関心、就職意欲を喚起した学生に対して、次の接点をいかにして提供していくかが課題となる

- ・ 本事業を通じて、興味・関心、就職意欲を刺激できた一方で、福祉・介護に関する施設見学やボランティア、就職イベント等の参加には十分につなげられていない。
- ・ 福祉・介護に興味・関心、就職意欲が高まった学生に対し、タイムリーに次の接点を提供していくことが今後の課題となる。

別紙（資料集）若者による若手介護職インタビュー 実施後アンケート回答結果（自由回答のみ）

No	インタビュー実施前の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	インタビュー実施後の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	インタビュー実施前後で福祉・介護に対するイメージが変化した場合、インタビュー内のどのようなキーワードや体験、場面がイメージの変化に影響しましたか。	その他ご意見やご感想等がございましたら記載してください。
1	仕事量とお給料が割に合わず、大変なイメージ	職員さんたちがとても楽しそうにお仕事をしていて、プラスのイメージに変化した	職員ファースト	
2	体力的に大変な職業	職員さんがみなさん楽しそうで、福祉に対するマイナスなイメージが変わりました	介護ロボット、やりがい	
3	暗い、画一的なケアをしている、やりがいを感じていないく覇気のない職員が多いのでは	とにかく明るくて暖かい雰囲気！職員さんも大変とは言いつつやりがいを感じているからこそその明るい表情何だろうと思った。	利用者さん個人個人がやりたいことを自由にやっていてそれを温かい目で見守る職員さんの表情。利用者さんが嬉しそうに職員さんに話しかけている。	
4	家族ですら（愛だけじゃ解決できない）できないことを委託しているというイメージだったので、他人の職員さんは思い入れもなくもっとしんどそう	実際は、そんなことなくみなさんがいろいろな利用者さんに対して思いやりをもち、同時にやりがいをも見出せるような環境だった	地域の人を巻き込む	
5	重労働が多く、ワークライフバランスが取れない、夜勤が多そう。	アットホームな雰囲気働くママさんも多くワークライフバランスが自由に取れる現場だと感じた。	自由な働き方	中々福祉施設へ見学することはないので、すぐく貴重な経験ができました。この経験を活かしてもっと若い世代に福祉を広めていきたいです。
6	少し時代が遅れている。ブラック	最先端。スタッフ同士仲が良い。	介護記録のスマホ入力	
7	・人手不足でしんどい ・薄給 ・いろんな人と関わることができる ・やりがいがある	・いろんな人が働いている ・意外と休みがある。働きやすそう ・他学部での学びも活かせる	・ハイテク機器の使用 ・芸術系学部出身の若手職員さんに話を聞いたこと	福祉業界に関心がある自分にとって、とても意義のある機会になりました。ありがとうございました。
8	人手不足なイメージでした。	コミュニケーション能力がとても必要だと思いました。利用者の方との距離が近くて楽しそうでした。	利用者の方とのレクリエーションなど豊富だった点。	とても貴重な体験ができて本当に楽しかったです。
9	やりがいがあるって面白そうなお仕事ではあるが、体力勝負で心休まらない時間の多い仕事	やりがいがあるって面白そうという印象は変わらないが、実際にお話を伺って夜勤や未経験からの入職も大丈夫かも…！と思えました。	「平日週5日働く以外が働き方じゃない！」	
10	重度障害のある利用者さんがいるといったことで、非常に緊張していました。	利用者さんのお宅を訪問してみると、お話を盛り上がったりして、重度障害という文字だけってみるべきではないなと感じました。	世界いち気持ちいい介護	ありがとうございました！！
11	大変そう、きつそう	やりがいもあり、自己成長に繋がる場所	自己成長につながる、余生を支える	
12	やりがいのある仕事	同上	変化なし	
13	力仕事	テクノロジーの使用にやって、力仕事ではない仕事が多かった！	ICTの活用	
14	介護は利用者さんの身の回りの世話をつきっきりでして大変そう。	利用者さんも家事を手伝ったりする、様々なイベントもあり良い雰囲気がある。	利用者さんに感謝をされることが多く、自分も人に感謝ができる人間になれた。	
15	他人事、遠いもの	もっと社会に取り入れるべきもの、答えのないもの	地域とのつながり、施設の工夫（リフトなど）	非常に興味深く、かつ良い出会いのある機会でした。ありがとうございました。
16	長時間労働、重労働のイメージが強く、大変そうだと思っていました。	業務の効率化や研修制度の充実を図っている施設もあり、働きやすい仕事というイメージになりました。	ICT化、研修制度	
17	大変そう、使いやすくシンプルな雰囲気の施設	和気あいあいとしている。装飾品があり、綺麗な施設。	地域のイベント（認知症サポーター）	今回は素敵な機会をありがとうございました！
18	福祉、介護のイメージはきつい大変というイメージでした。	きつい、大変っていうイメージでしたが、インタビュー後は楽しそう、やってみたいという気持ちになった。	コミュニティキャスト	
19	常に緊迫していてピリついているイメージ	想像以上に和気あいあいとしていてアットホームなイメージ	家庭と仕事の両立	
20	介護士さんが一方的に介護するイメージでした。	介護士さんと利用者さんが一緒に作り上げていることを知れました。	自身が訪問させていただいた際に、利用者さんが笑顔で生活していて、とても充実していることです。	実際に足を運ぶことができたことが、とても良い経験になりました！
21	冷たいイメージ、ギスギスしているイメージ	思いやりに溢れていて、人とのコミュニケーションをすごく大切にしている。	AIやICTは使わずに人の手で、スタッフ同士が協力しながら働いている。	
22	人手不足、心身的にキツイ、大変なお仕事 エッセンスな仕事で、とても素晴らしい本質を持つ仕事	実施前のイメージが無くなったわけではないが、訪問で見聞きした具体的なイメージが加わった。ひとくちに福祉といえど施設によって毛色は全く違い、それぞれ価値を上げていく工夫をしているのだと知れた。	福祉らしくないことをしたい、他の施設との差別化をしたい	
23	自分とは縁遠いもの。家族も健康体であるし、町中でも福祉や介護と関わる機会がほとんどない。	アンテナを張って目を向ければ、すぐそこにあるものだとわかった。家族も私自身も将来関わってきそうだし、探したら福祉系のイベントは私が住む地域でも行っているようだった。	違う系統の学校から新卒で福祉業界に就職した	
24	遠い存在で、福祉に触れ合う機会がなかった。	身近なところに配慮があって、福祉はなくてはならないものと思った。	福祉は人の介護などをするイメージだったが、福祉らしくないことも取り組んでいること。	
25	辛く、しんどそう	人情に溢れたとても素敵な制度なんだと思えた	働いている方々	とても貴重な機会をありがとうございました！
26	業務内容的に身体的・精神的な負担が大きい仕事なのになぜ続けられるのだろうと思っていた。	実際に職員さんとお話できたことで、介護職ならではのやりがいをたくさん聞いて、魅力的なお仕事だと思うようになった。	利用者さんの「当たり前」を優先する、仕事をしていて一番つらいことは、多くの時間を一緒に過ごした人（利用者さん）が亡くなってしまふ経験を何度もしないといけないこと	とても貴重な経験をすることができました。これからもよろしくお願いたします。
27	仕事が大変そう。 決まった仕事が多そう。 利用者の方一人一人に合わせるが大変で、経験を積むのに時間がかかる。	思ったより、自分で考えながら仕事ができる。意見交換が活発で明るい職場が多い。 一人一人の職員さんが情熱ややりがいを持って働いておられる。	1人の利用者さんの目標について複数人の方で話し合っている場面を見学した時。	
28	肉体労働、低賃金	施設によっては福利厚生がしっかりしている、ロボット活用など技術の発展を取り入れている	事務職よりは給与が高い	
29	病院のような施設で生活している。職員の方の仕事も大変そう。	普段の生活と変わらないあたたかな空間が介護施設にある	普段の生活に近く、時代にあわせて	
30	身体的にも精神的にも負担が大きい職業	職員が働きやすい環境を目指すために様々な取り組みがなされている	プリセプター制度	

別紙（資料集）若者による若手介護職インタビュー 実施後アンケート回答結果（自由回答のみ）

No	インタビュー実施前の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	インタビュー実施後の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	インタビュー実施前後で福祉・介護に対するイメージが変化した場合、インタビュー内のどのようなキーワードや体験、場面がイメージの変化に影響しましたか。	その他ご意見や感想等がございましたら記載してください。
31	少し堅苦しくて介護は仕事にコミュニケーション能力が必須なイメージです。	施設の雰囲気が凄く馴染みやすくて福祉が身近に感じられました。また、お話を聞いてみてコミュニケーション能力というよりは相手の事をどれだけ想像出来るかが大事だと気が付きました。	地域連携型の施設で多世代交流があったということが大きいです。	
32	人手不足や給料が低いなど働いている側への不利益が多い	もちろん上にあげたような問題は顕在しているが、働いている人からそのようなネガティブすぎる言葉ばかりは出てこず、むしろ利用者さんの成長を喜びながらいる人が多かったためびっくりした	地域共生、利用者さんができることから始める	楽しかったです！！
33	大変だけどやりがいのある仕事	利用者さんや職員さんなど関わる人すべてが幸せになる福祉を作ることがとても難しい	医療のように一時的な支援ではなく、暮らしを支えていく仕事	現場の方に話を聞きに行ける機会があまりなかったので、とても貴重な機会となりました。事前に設定した質問だけでなく、学生が考えた質問も聞かせてもらえたのでとても理解が深まりました。ありがとうございました。
34	福祉施設といえば利用者の自由が制限されるイメージや、従業員の方も大変そうなイメージがありました。	凄くアットホームな空間で一人ひとりの意見を大切にされていて、介護は凄く魅力的なお仕事だなと感じました。	利用者さんの笑顔を見た時です。	
35	きつくて人が足りない	様々な能力が求められる仕事。 よりよくするため考えていくことがたくさんある。	介護は究極の対人サービス 足元を忘れない 社会全体のバイを増やす	
36	もっと緊張感があって、大変な事ばかりなイメージ	利用者さんも職員の方も分け隔てなく助け合っていくイメージ	重度の障害者が一人の独立した人間として尊重される社会を目指している	今回参加して、福祉施設を実際に見学しインタビューをすることで得た福祉についての学びの他に、インタビュー等の場面での自分の得意不得意も知ることが出来て、とても有意義でした。

別紙（資料集）魅力発信媒体の拡散 サイト/動画視聴後アンケート回答結果（自由回答のみ）

No	特に印象に残った動画のタイトルを教えてください。	上記の動画で、印象に残ったポイントを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧後の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前後で福祉・介護に対するイメージが変化した場合、サイトおよび動画内のどのようなキーワードや体験、場面がイメージの変化に影響しましたか。 (例) 地域をつくる、共に生活するなど	その他ご意見やご感想等がございましたら記載してください。ご意見・ご要望
1	芸術系の学部から介護の道へ		障害を持った方のお世話をする	共に生きていく	共にせいかつする	
2	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由-今本さん・木村さん		大変そうな仕事という漠然としたイメージがあった。高齢者の方のお世話をするお仕事。	お世話をするだけでなく、それ以外にもやる事がたくさんあるということはあまり考えたので、新たな発見だった。転職でやられている方も多いのが意外だった。また、介護職をやる人が福祉学部以外で入った人も多いのも驚きだ。	実際に働かされている人のお話を聞き、介護≠高齢者の方の身の回りのお世話であり、介護=人と深く関わるという話から、イメージが変わった	
3	介護の働き方ってどんな感じ？		身体を思うように動かせない方が多い、利用者の方それぞれの考え方が異なるため、様々なことに気を配りながら、慎重に行わなければならない大変なイメージ	大変なこともちろんあるが、利用者の方と関係をもつ中で得られる気づきが多いため、人の援助を行うにおいて学べる機会が多いイメージ	お客様の立場を想像する、自分を認識してもらい、粘り強く関係を続けていく	介護のお仕事に対し大きくイメージに変化がありました。以前と違い、良いイメージをもつことが出来たのでとても意味のある体験をさせていただけたと思います。
4	福祉×〇〇の面白い取り組みとは？- 笈川さん 社会福祉法人 まりも会 -		大変そうというイメージ。	職場の環境も暖かく、レクリエーションなどもあって楽しそうなイメージになりました。	希望の家	
5	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由		ひとのお世話をする仕事	介護者だけではなく、その家族ともコミュニケーションをする仕事	いろんなカタチ	
6	福祉×〇〇の面白い取り組みとは？		身体介助や生活介助が中心で、アクティビティ等も施設の中で多くは完結するものだと思っていた。	施設の中でのつながりととまらず、地域社会とのつながりを利用者の視点に立って大切にしている、素敵だと思った。また、コミュニティキャストという職種を初めて聞き、キャリアの幅が広いと感じた。	地域の人とのつながり、コミュニティキャスト	特にないです。
7	介護の働き方ってどんな感じ？		介護する人少なくなっている 介護体力や精神的にもすごく大変そう	困りごとを解決してあげたり、人と人の関係を作ったり、という言葉を聞き、すごい介護のイメージは、大変そうなのは変わらないけれど、介護を通じて人と人の関係を大事に、できる仕事で素敵な仕事だと改めて思った	気持ちいい介護、ヘルパーお客さんとの2人の世界、世界やルールの尊重、	
8	福祉の道に進んだきっかけとは？		事務的で大変そう 若い人があまり居なくて、活躍の場がなさそう。自由度が効かなそう	ラフな感じで、若い人でも仕事ができそう。明るい雰囲気、若い人も一定数いる	企業側が、資格の研修費を出してくれる。他学部だったからこそこのアイデアが生かせる。	介護に関して、まだ知られてないことの方が多いと思うので、介護に関してのイベントや簡易的な介護のやり方などを教える講座や教室もあって良いと思う
9	介護に関する		大変そう	楽しいが、やはり大変そう	地域をつくる	
10	福祉の道に進んだきっかけとは？		施設のお話だったので、ストレスが多く、あまり楽しいイメージはなかった。	職員さんが明るくお話をされて、経験を積んで活動しているというお話を聞いて、福祉施設でのお仕事も楽しいのではないかなと思いました。	視野を広げる	自分が地方住みで、中々福祉施設のボランティア等がないのでそのような機会を作って頂ければ嬉しいなと思っております。
11	介護の働き方ってどんな感じ？		お年寄りがたくさん	お年寄りだけでなく、小学生ぐらいの人たちから高齢の方まで幅広い年代の方が介護の施設にいるということ。	介護対象者の幅が広がったことで、それぞれにあった職種についてさらに興味をもった	
12	介護の働き方ってどんな感じ？		難しい、大変	大変だけどやりがいがある	心をひらいてもらえた	
13	他業界からの転職者に聞いてみた！		給料が低い。大変。	人と接して、感謝されることがある仕事。人の役に立つことができる。	キャリア、研修、スタッフ同士でのコミュニケーション	
14	介護の働き方ってどんな感じ？		大変そう 重労働 楽しくなさそう 給料低い	大変な中にもやりがいがある	和気あいあいとやっている	
15	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由-今本さん/木村さん 医療法人社団創生会		福祉や介護に携わっている人は、元からその業界に興味があり、学校などで専攻してきた人達が多いイメージでした。	介護・福祉だけでなく、様々な業界からたまたま福祉に携わることがあり、それがきっかけで介護職などに就く方がいるということを知り、様々な方面から、介護や福祉業界が支えられているイメージになった。	働いていたところが福祉施設なようなもので、それがきっかけで介護などを学び、資格をとったという場面。	
16	社会の取り組みとは？		専門知識がある人が行う高度なもの	大学で言う社会学部などの専門領域を、専攻していなくてもいい	共に生活をする	
17	他業界からの転職者に聞いてみた 介護の仕事の魅力		福利厚生が悪い。過酷。職員による暴力など、暗いイメージがある。	実際に介護職をしている方の表情がとても明るく、やりがいを持って楽しく働かれているのだと感じた。福利厚生についても少しずつ改善されており、	介護施設で高齢者の方々と楽しそうにゲームをしている場面を見て、印象が変わった。	
18	福祉の道に進んだきっかけとは？		仕事が大変そう。	明るく楽しそうな感じで良かったです。また、働いている人が楽しそう良かった。	職員人たちが笑顔で挨拶していたというところ。利用者さんの笑顔がやりがいというところ。	
19	福祉の道に進んだきっかけとは？		人手が足りておらず、少子化している	若者も入ってきている	若者	
20	福祉〇〇の面白い取り組みとは？		仕事が大変ですが、やりがいが多そう。	積極的にボランティアにも活動していて素晴らしいと思った。	地域に愛され、ボランティアにも参加する。	
21	福祉×〇〇の面白い取り組みとは		労働に見合った賃金が少ない	福祉は介護者だけでなく、その家族もサポートする大切な仕事だと知った。	相談援助技術	
22	福祉〇〇の面白い取り組みとは		大変	介護業界に入って良かったことについて話した際、思ったよりスラスラと出てきて、意外とやりがいは大きいかなと思った	十人十色の生活を作るのは難しいやっぱ個人個人に当てられる時間は少ないのかなとおもった。でも、ちゃんと一人一人の事を人として扱ってあげたい、より充実させてあげたいって思いは他の部分からも伝わった	介護職について今まで前向きに考えていなかったけど、見る前よりはもう少し詳しくなりたいという気持ちもできました！ありがとうございます。
23	「希望の光」		力仕事が多い、堅苦しい雰囲気職場	アットホームな雰囲気、コミュニケーションがとくさん取れている、信頼関係が築けている	レクリエーションをする、一緒に食事を取る、	とても分かりやすい動画で高校生でも理解しやすいと思いました。
24	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由 - 今本さん/木村さん 医療法人社団創生会 -		介護の仕事は高齢者の方の生活にまつわるものが多い。基本的に福祉科などの進路からでない介護の職にはつけない。	サポートの中には楽しむことによる精神的なケアも含まれている。別のキャリアから福祉に関する職に就くことも可能で、いきいきとしたイメージが変わった。	お互いに支え合う、感謝し合う	
25	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由		介護はとても大変で、とても辛い仕事	介護を通して楽しいことも沢山ある	楽しんでもらうことが大事、レクリエーションを通して地域の方とも交流すること	介護の職は辛いことばかりでやりがいがないので介護の道に進むのをやめようと思っていたけど、介護を通してたくさんの人と交流することも出来るので前向きに検討していきたいと思いました。
26	福祉の道に進んだきっかけとは？友野さん社会福祉法人希望の家		高齢者や障害者の方の身の回りのお世話をする肉体労働で大変な仕事。	施設にいる方と関わることで、自分の可能性や視野が広がる仕事。	自分としっかり向き合うことで、本当にやりたいことが見つかるということ。	自分の進路の視野が広がるとても良い機会になりました。

別紙（資料集）魅力発信媒体の拡散 サイト/動画視聴後アンケート回答結果（自由回答のみ）

No	特に印象に残った動画のタイトルを教えてください。	上記の動画で、印象に残ったポイントを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧後の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前後で福祉・介護に対するイメージが変化した場合、サイトおよび動画内のどのようなキーワードや体験、場面がイメージの変化に影響しましたか。 (例) 地域をつくる、共に生活するなど	その他ご意見やご感想等がございましたら記載してください。ご意見・ご要望
27	福祉の道に進んだきっかけとは？-友野さん社会福祉法人希望の家		決まった作業を淡々とこなすことにより生活する上で欠かせない部分をサポートをしているイメージ。また、どちらかといえば暗いイメージ。	ただ生きるだけでなく楽しく生活できるよう、イベントやサポートの仕方など個人に合わせた工夫を要するアクティブな仕事なのだというイメージ。また、明るい雰囲気のあるのだというイメージ。	家族みたいな感じの温かい場所、自分の話をする事で受け入れてもらえるようになったという話	介護職に就くには介護や医療系の資格や知識が必要だと思っていたので、そういった学部以外からでも福祉の道に進み自分の強みで活躍できるという話を聞き、将来の選択肢の一つとして考えるようになりました。介護や福祉の明るいイメージがもっと社会に浸透したらいいなと思いました。
28	福祉の道に進んだきっかけとは？		介護は辛くて大変。	やりがいがある。お年寄りと触れ合える。	お年寄りを楽しませる。	高齢者や高齢者に対する向き合い方を知れたし、やりがいがあったとても楽しかったです。
29	福祉×の面白い取り組みとは		大変そう	楽しく一緒にすることで互いに寄り良い関係になれる	お互いやりやすい環境をつくっていく	
30	介護の働き方ってどんな感じ？		大変な仕事そう	お客様と接してる中でいろいろなやりがいがあったり楽しそう	お客様にオムツ交換などを拒否されていたが自分のことを知ってもらうことからはじめたらだんだん覚えてくれて、オムツ交換を拒否されなくなったこと	
31	株式会社 でいくにてい 倉田歩さん		食事や入浴、トイレなど日常生活において困難と感じることをサポートする仕事というイメージを持っていた。	身体的なケアだけでなく、心のケアも大事であるということ。また、ケアを必要としている方だけでなく、その家族からも感謝される、大変だけどその分やりがいのある仕事というイメージへと変化した。	動画の最後あたりで倉田さんが言っていた、「その方の世界を想像してめげずに関わりを続けることが大切。」の部分。	
32	まりも会のコミュニティキャスト		気になってた。肉体労働とかよく無い印象が多めだった。	工夫や地道な努力がやっぱり必要みたい。地元の人とのコミュニティを築く仕事もあると知った。すごいやりがいありそう。	世界と繋がっているんだという感覚	めちゃくちゃためになりました！！分かりやすかったです。
33	ケアローソン？ライフサポートアドバイザー？高齢者の地域を支える取り組みって？		家庭科の授業の方で、習ったくらいでなんか、大変そうで難しいイメージがありました。それと、ハードルが高いようなイメージもありました。	ケアローソン！というのはとてもおもしろくて、良い発想だなと思いました。介護とあって、最初からあまり身近にあるものでないことがほとんどで、市役所とかなどに相談しに行こうとしても、やっぱり行きづらいうし少しためらいもある人もあると思います。そんな中で、誰でも気軽に行っている、ローソンとケアをくっつけるのは初めの一步が出やすいのではないのかなと思いました。芦屋では先日亡くなられましたが、世界最高齢の方もいて、そういった取り組みが繋がっているのかなと思いました。	高齢者の地域生活を支える取り組みって？	どれも、良い動画だと思うのでこれからも発信頑張ってください！応援してます！
34	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由 - 今本さん/木村さん 医療法人社団創生会 -		介護は自分の体の負担も大きくて大変。	認知症の家族のを助ける仕事でとてもいいなと思った。	家族	
35	福祉の仕事に就いた理由とは？（少し違うかもしれないです。）		人手が足りず少し忙しそう。人との関わりが大切な仕事。	明るい雰囲気重んじていて、一人一人が生き生きと過ごしているように感じられました。	実際に働いている人のインタビューから介護福祉の仕事の実状を学べたこと。	ないです。またボランティアのようなことができれば嬉しいです。
36	福祉×〇〇の面白い取り組みとは？		大変で人手不足。これからは仕事が増えていくような感じで、途方もない仕事のような暗いイメージがありました。	福祉は明るく、様々な分野と掛け合わせることで素敵な地域社会をつくっていく可能性があるのかなと感じました。	福祉施設で行われていることが、自分では思いつかないような斬新なものばかりで驚きました。動画内で施設の中で完結してしまうと職員の方が仰っていたように、どこか閉鎖的なイメージも持っていたので、地域と繋がって中学校に寄付するなど本当はオープンなものだなと知りました。	
37	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？ 山口さん・吉田さん 社会福祉法人若竹大寿会		私が思う福祉・介護は、高齢者や身体が不自由な人を支える職業で、1人で何かをすることや生活を送ることが難しい人に食事や入浴などのお手伝いをするイメージがありました。	生活を送ることが困難な人をサポートするだけでなく、利用者の時間を確保して生活の充実をめざしている取り組みも知っていることを知りました。例えば、実際に色々な最先端の機器を展示している国際福祉機器展に行って、利用する方のためにどういう機器を導入したらいいか提案したり、改善策を考えたりなどすることも仕事の一環であると感じました。	ICTを活用する、生活の充実を目指す、職員や利用する人の両者が過ごしやすい環境を整える	これからのICTがどんどん進化して、動画内でいっていたように、モニターを利用して利用者の体温がわかったり、コミュニケーションツールができたりすると思います。実際に病院に入る際に検温を機械で行っています。また、現在は高齢者の孤独死が社会問題となっているのでロボットなどを導入してコミュニケーションがこの先できるのではないかと感じました。
38	若手職員:前編		あまり興味はなかった	身近に感じた	若い方達が協力し合っている	
39	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？ - 山口さん・吉田さん 社会福祉法人若竹大寿会 -		仕事内容がとてみきつくて、精神的にも身体的にも辛いもの。	ICTを活用することで職員の負担が軽くなったと知り、辛いイメージが少し薄れた	職員の負担が軽くなる	
40	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？ - 山口さん・吉田さん 社会福祉法人若竹大寿会 -		大変、人の力でやる作業が多い	とてもやりがいのあること。	コミュニケーションのICT	
41	介護の働き方ってどんな感じ？		社会に貢献できる仕事としてポジティブなイメージ	優しさ、おもしろいやりがいが介護の仕事をする動機になることを学んだ	お客様の世界を尊重する	
42	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？		1、2に対して1人の介護者が付いているのかなと思っていた	沢山の人の1人で請け負う大変な仕事	夜でもパソコンのカメラで介護される方を監視するサービスを見た時	介護に興味が湧きました。これからもっと調べていきたいと思います。
43	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？		仕事が忙しくて大変そうなイメージ。	ICT化することで職員の負担を減らされていたイメージ	ICT化、若者など	
44	福祉の道に進んだきっかけとは？ - 友野さん 社会福祉法人希望の家 -		大変そう、あまり身近に感じられない、若い人の従事は少なめ	いろいろな人との関わりによって多くの学びが得られそう、年齢関係なく福祉や介護の仕事に従事されている	「できない」ではなく「どうしたらできる？」	
45	介護の働き方ってどんな感じ？		移乗介助やお風呂など生活に関する周りのお世話をする。	コミュニケーションがとても大事。料理とか掃除とかやることが多い。半日関わることもあるし、30分とか短い場合もある。	自分のことがわからないお客さんに対して、コミュニケーションを通して理解してもらったのを見て、福祉介護は人との物理的な距離も近いし、トイレやお風呂などにも関わるため、人によっては嫌がられてしまうため、信頼関係が大事なのが分かった。住んでいる家に訪問するため、相手の大事にしていることは何なのか知り、それも尊重することが大事で、自分のやり方を押し付けては行けないと分かった。大変なのは分かっていたけど、知識や人との接し方など必要な能力がたくさんあると知り、より大変な仕事でとても大事な仕事だと思った	

別紙（資料集）魅力発信媒体の拡散 サイト/動画視聴後アンケート回答結果（自由回答のみ）

No	特に印象に残った動画のタイトルを教えてください。	上記の動画で、印象に残ったポイントを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧後の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前後で福祉・介護に対するイメージが変化した場合、サイトおよび動画内のどのようなキーワードや体験、場面がイメージの変化に影響しましたか。 (例) 地域をつくる、共に生活するなど	その他ご意見やご感想等がございましたら記載してください。ご意見・ご要望
46	若竹大寿会		・残業が多い、一日中利用者の方の行動を見ていないといかない ・大変なイメージ	・今の社会ではICTが活用されているが、それが福祉、介護にも活用されていて凄いなと思う。 ・ICTを活用することで、利用者の方や同業の方とのコミュニケーションにも繋がることをされた。	ICTの活用	
47	福祉業界のICTと若者に期待されていること		残業が多く、給料と割に合わない仕事。介護職ではニュースで、職員による高齢者虐待を時々目にするので、ストレスが溜まる仕事だと考えていた。	スマートフォンを使って、残業を減らそうとしていたり、それによってストレスも軽減されるので、若者に受け入れやすいものに変化していると感じた。	スマートフォンで介護の記録が出来る、AIによる事故の予想	
48	福祉の就職フェアってどんなの？		大変そう	思ったより身近だと感じた。	現場に足をふみいれる 自己分析	特にありません
49	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？ - 山口さん・吉田さん 社会福祉法人若竹大寿会 -		体力仕事が多く、機械で代用できない業務が多い。	今後、より広範な業務にICTの導入を期待できる。	ICT	特にありません。
50	介護のキャリアパス		あまり綺麗な施設ではなく臭いがするイメージ。高齢者の排泄物や嘔吐物など体力や精神的にもきついに給料が仕事内容に見合っていないイメージ	とても綺麗な施設だったのでビックリしました。認知症の方の接し方が勉強になりました。	特にイメージが変わったのはこんなに綺麗な介護施設があることです。地域にある介護施設は古くあまり綺麗なイメージがなく、介護に興味があっても仕事となると綺麗な施設で働きたいと思っていましたが、今回の動画から綺麗な介護施設だと利用者もスタッフお互いに気持ちよく過ごせるのだとイメージが変化しました。	
51	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？		大変そう。残業が多そう。	ICT化することで働く人の負担が軽くなっている。	ICT化・DX化	
52	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	ICTの導入は看護師の負担軽減だけでなく、業務が効率的に行えるなど多くのメリットがあることが分かった。	つきっきりで介護をして大変そう。	ICTを使うことで離れていても患者さんの状態を確認できる。障害の方が自分からできるよう、様々な工夫がされている。	ICT導入	学生の方の質問一つ一つ丁寧に回答していて、文字などもありすぐ分かりやすかったです。
53	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	ICTを従業員減少の問題解決に役立っていること。若者ならではのSNS時代をうまく利用して期待しているポイントがとても印象的で叶えやすい期待だと思いました。	従業員減少問題によって、1人の労働や、ストレスが増加していると考えていました。	ICTを使うことによって、部屋に行かなくてもお客様を確認できたら、記録を取れたり、とても業務の効率化に特化していると思いました。そのストレス軽減により、従業員とお客さんの距離が近くなったりとメリットが多く、福祉業界も労働環境が良くなっているんだと感じました。	ICTを使った見守りカメラ、写真を撮ることでご家族に喜んでもらう。	
54	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	ICTがたくさん活用されているところ。	やる事が多くてとても大変そう。	うまく道具を取り入れて円滑に仕事を進められている。	ICTの活用	特になし。
55	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	介護者の負担軽減のために、ICTや介護機器を取り入れているところが印象的でした。	少しアナログな印象がありました。	最新技術を活用し、介護者も利用者様も共に過ごしやすい環境を作っている。	ICT 若者が活躍	
56	介護の働き方ってどんな感じ？ - 倉田さん 株式会社でいくに	介護の仕事に関する知識がなかったので、1日の仕事の流れを学べたところが印象的です。	仕事を続けていくのが大変。	スタッフさんたちは楽しんで仕事をしている。	倉田さんの、大変だったことのお話。	
57	社会福祉法人 希望の家 友野瞳さん	友野さんが、芸術系の他学部から福祉系の仕事に進んだことに驚きました。でも、その芸術系の経験もちゃんとお仕事に生かされているところが素晴らしいなと思いました。	福祉系学部の人が進むイメージがありました。大学や専門学校で福祉を学んだ人ばかりが就職するのかと思っていました。	福祉系学部に限らず、幅広く誰でも進んでもいいのだなと思いました。そして、これまでの経験がきつと生かされるのだろうなと思いました。また、まりも会の筈川さんの動画で、初めてコミュニティキャスト、という職種を知りました。地域との共生がとても大切なのだなと実感しました。	コミュニティキャスト 他学部から	実際に働いていらっしゃる方のお話を聞くことができ、とてもよかったです。また、インタビューが高校生のみなさんでもあったので、身近に感じられることができました。ありがとうございました。
58	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由	他業界からの転職者がかなり多いこと、10代の人もとは違うことを学んでた人が多い	大変そう やりがいが少なそう	患者さんのためを思って動くことにやりがいがありそう	人の役に立つ	
59	ICTを使った介護	介護業界でICTを使える事が印象に残った。	賃金が低いイメージ 機械の導入が進んでいない。	人の役に立ついい仕事だと思った。少しづつだが機械の導入も進んでいることが分かった。	人の役に立つ	特になし
60	介護の働き方ってどんな感じ？ - 倉田さん 株式会社でいくに	株式会社でいくにの経営理念としてお客様が気持ちよく過ごせる介護ということを掲げているところです。	この動画を視聴する前は介護の仕事に対して肉体的にも精神的にもきつい大変なものというイメージを持っていました。	この動画を視聴した後は介護の仕事に対して大変だけれどやりがいのある仕事というイメージを持つようになりました。	利用者ではなくお客様と呼ぶ、気持ちよく過ごせる介護	特になし
61	芸術系の学部から絵画の道へ？	自分自身進路に悩んでいたため、進む学部関係なくいろんな職につけることが参考になった！	働いている人が大変、収入に対する労力が大きい	楽しく働けいを持って介護士の方は働いている	働いている方の表情など	
62	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？ - 山口さん 吉田さん 社会福祉法人若竹大寿会 -	ICTの使用で若者が活躍しているという点。	若者はあまり福祉、介護関係の仕事をしているイメージは少なかった。	年長者だけでなく、若者も活躍できる仕事であるというイメージが変わった。	ICTの活用は主にパソコンだと思っていたが、若者が使われているスマホでの記録がメインだという点。	
63	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由 - 今本さん/木村さん 医療法人社団創生会	若手の方が、自分たちでこの業界を作っていくという熱意を持っていたところが印象に残った。また、転職も多く、介護を専門に学んでいない人も業界に入るといった点が意外だった。	低い給料と人手不足に悩まされ、ストレスのたまる業界	新しい業界のため国や民間が力を上げて補償や制度を整えようとしている業界	若手の方がいきいきとインタビューに答えていた場面が影響した。	介護に対する印象が大きく変わりました。
64	福祉業界のICTと若者に期待されていること	防犯カメラで、入居者の状態が確認できることは、職員にとっても入居者にとっても良いことだと思った。	大変そう	ICTを活用して、職員の負担を少しでも減らすことが可能になっていることを知って、もっとICTを取り入れるべきだと思った。	タブレット端末の使用	
65	訪問介護	自分の存在を知ってもらうこと、（人と人としての関係性を築くことの重要性）	少子高齢化が進む社会で私たちが被るもの。親の介護だったり仕事を辞めざるを得なかったり、二足の草鞋になったり自分の人生がうまく回らなくなるような印象で、介護に対して大変だな将来こわいなと思っていた。	今まで「やってあげる」っていう一方的な介護しか想像してなかったけど、人対人なんだということに気付いた。人と人の関わりがある上での介護だから、そう鬱になるものじゃないとおもった	おじいちゃんが自分のことを覚えてくれた。オムツを変えるのを許容してくれた	福祉に携わる方のお話を多方面から詳しく知ることができて良い刺激になりました。良い機会をありがとうございました。他の動画も拝見し自分の将来についてより深く考えて行こうと思います。
66	介護の働き方ってどんな感じ？ - 倉田さん 株式会社でいくに	訪問介護のやりがいを感じたエピソード(Kさんのお話)	大変そう、過酷	楽しそう、やりがいがある	Kさんのお話	
67	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由 - 今本さん・木村さん 医療法人社団創生会	医者や看護師だけでなく、介護士の方も命を預かっているのだということを感じることができました。また、介護士は命を支えるだけでなく生活も支えていることも知ることができました。普通のお仕事をしていて、お互いに感謝しあっていたり、自己成長につながったと実感できるのはなかなかないと思うので、介護士はいいお仕事だなと思いました。	老人の方や体が不自由な方の生活を支える仕事	命を守るだけでなく、精神面も大切にしたりともに感謝し合うことで成り立つお仕事	お互いに支え合う、感謝し合う、自己成長	
68	介護の働き方ってどんな感じ？ - 倉田さん株式会社でいくに	70代のKさんについてのエピソード 相手の立場になって考えることの大切さを改めて感じた	高齢化に伴って人手が不足しているイメージ 難しそう、大変そう、ストレスが多そう	やりがいが大きそうというイメージ 人との繋がりが理解が大事になってくる	その人の世界を想像する	

別紙（資料集）魅力発信媒体の拡散 サイト/動画視聴後アンケート回答結果（自由回答のみ）

No	特に印象に残った動画のタイトルを教えてください。	上記の動画で、印象に残ったポイントを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧後の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前後で福祉・介護に対するイメージが変化した場合、サイトおよび動画内のどのようなキーワードや体験、場面がイメージの変化に影響しましたか。 (例) 地域をつくる、共に生活するなど	その他ご意見やご感想等がございましたら記載してください。ご意見・ご要望
69	介護の働き方ってどんな感じ？	利用者さんをお客様と呼んでいるところから相手のことを尊重して大切にしたいという気持ちが強く伝わってきて印象に残った。また、Kさんの話の内容から介護には諦めない姿勢が大事だということが伝わってきて印象に残った。	高齢化が進んでいることや職員不足もあって、大変そうなイメージがあった。	大変ではあるが、非常にやりがいを感じることができる仕事なのかなとイメージが変わった。どの職員の方も明るい表情で話していたので、明るそうなお仕事なのかなと新しいイメージが湧いた。	介護の働き方ってどんな感じ？という動画のKさんの話	福祉について様々知ることができて勉強になった。福祉についてのイメージを動画を見たことで明るいものへと変えることができ自分の将来に対する選択肢を広げるきっかけにもなった。
70	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	介護施設でICTが様々な面で活用され、業務の効率化や職員の負担軽減に繋がっているという点。	利用者の方は利用者の方同士での関わりしかなさそうだと感じていた。	「利用者様ファースト」という言葉が使われていて、実際に利用者の方のことを考えたICTの活用をされていて、利用者様との関わりがしっかりとあるのだと感じた。	利用者様ファースト、改善の改善、生活の充実	
71	福祉の就職フェアってどんなの？FUKUSHI meets!に潜入取材	職員が苦手を克服していくところ	下の世話だけのイメージがあった	楽しそうな職場こうい仕事もいいなと思った	はい	まだ参加したいと思った
72	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	今までICTを導入する前には負担となっていた夜間の見回りなどの事が、ICTが導入されることで介護施設にいらっしゃる方にも職員の方にもどちらにもメリットがあるのが確かななと思って印象に残った。	安月給で、大変なお仕事というイメージがあった。	どちらにもプラスになるような技術などが取り込まれていて、凄くいい環境だなと感じた。	職員の負担、ご利用者様の負担を減らしている	特になし
73	介護の働き方ってどんな感じ？	高齢者の方々と関わる上で些細なことでもいいから話しかけてみる事	自分とはあまり関係のないものだと感じていました。	すごく近いものであり、親近感が湧きました。	自分自身、高齢者の方々に自分から接していきたいと感じました。	
74	介護の働きかたってどんなかんじ？	現代にあわせてスマホを使った仕事の仕方をして効率よくIC系を導入していることが印象に残った。	ひとつのお世話をする。	ひとつのお世話をする上で新たな技術を導入すると働くひとの負担もかかると、効率よく仕事ができる。	IC、手書きではなくスマホを使ったやり方	特になし
75	介護の働き方ってどんな感じ？ - 倉田さん 株式会社でいくにいてい -	介護の記録がスマートフォンで入力できること。私はパソコンのタイピングがあまり得意でないので、スマートフォンの入力だと簡単にできてとても良いなと思いました。	多忙で疲れているイメージ。若者の働き手がいなくて、人手不足。	若者も働きやすい環境になっている。ICTの運用を活発にしている、働き手側の意見もよく投影されている。	いろんなカタチの福祉とであえる	
76	福祉の道に進んだきっかけとは？	インタビューされていた福祉施設で働いている友野さんは大学で福祉の分野を専攻していたわけではないのに福祉の職につくという選択をしたことに驚いた。	大変そうであり自由もなさそうなイメージだった。	もっとアクティブに仕事ができる仕事場でも同僚の方と楽しくコミュニケーションを取ったりすごく明るい場だということがわかった。	「いろんなカタチのフクシ」	
77	介護職員への転職の理由	資格がなくても介護の世界に入れるということを知って驚いた。介護は自分の強みを活かせる仕事である。	興味が湧かない、暗めなイメージ	楽しそう、明るいイメージ	介護の世界への入りやすさ、興味が湧きやすい。	特にありません。
78	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	現代が本当に情報化してきたるとまづ思いました。便利になる一方で、困難になることも多いので、その部分に注意しながら、より様々な場面で情報を使い、日常でも便利に、たくさんの方が幸せになるように情報と関わっていききたいと思いました。そして、介護にも大きく関わりがあることを知りました。	親として祖父母が介護施設を経営プラス勤めていて、介護の大変さや利用者さんとの関わりや苦難を日々身近で見てきたので、介護は難しく、大変なものだと思っていました。	介護が大変なのは当たり前ですが、ICTを活用することによって、軽減されること、より良くなることなど沢山あることを知り、親にもこのことを伝え、どんどんICTが活用され、高齢化をより良いものとして捉え、たくさんの方が幸せになれるようになればいいなと思いました。	ICT 国際福祉機器展 DX推進 スマートフォン AI	字幕が分かりやすかったです。
79	福祉×○○の面白い取り組みとは？	近隣の中学校でペットボトルキャップを集めてワクテンに変える取り組みのあった話	福祉介護は大きな組織で動いていて、地域という小さい単位には目が向いていないと思っていた。	地域単位の小さな取り組みも多く存在するのだなと思った。	地域×福祉	特になし
80	福祉の道に進んだきっかけとは？ - 友野さん 社会福祉法人希望の家 -	資格がなくても入職できる「やりたい」からどうやればできるかを考える 他学部からでも仕事に就ける	資格が必要で難しそう	資格がなくても入職でき、話を聞かなかで明るいイメージがついた 福祉についてずっと学んでこなくても、目指すことができる	「フクシと聞くとどんなイメージがありますか？」という質問を聞いて、福祉について少し考えてから動画を見ることができたので、動画内容がより理解しやすいものになりました。	
81	福祉○○の面白い取り組みとは？ - 菱川さん 社会福祉法人まりも会 -	コミュニティキャストという職業についての説明	若い人があまりいなく、40、50代の方が行っているイメージ	素敵なお仕事だなぁと感じた	若者が福祉業界のICTを進めていくというところ	素敵でした♪
82	介護の働き方ってどんな感じ？	お客様目線の世界をめぐらずに想像して、どうやって接したらいいのか試行錯誤しているという所が印象に残りました。	人によってはすぐに辞めてしまうほどかなり難しい職業というイメージです	確かに難しく、「お前は誰だ」「お前にやらしてもらう必要はない」といった発言をされると悲しくなったりめげたりしてしまうこともあるのかもしれませんが、自分のことを覚えてもらったり、優しく接して貰えるという人の温かみを感じられると言ったやりがいもある仕事というイメージです	例えば認知的な機能がかけてしまった人にも自分のことを覚えてもらうといったエピソードがとてもイメージの変化に繋がりました。	
83	福祉にICTを活用する	福祉にもICTが活用できることが分かったところ	きつい仕事なのに賃金が少ないイメージ。	賃金に関しては言っていないが、時代の変化にあわせて対応して来ていると感じた	時代に対応する。ICTの活用など	特になし
84	福祉の道に進んだきっかけとは？	昔から福祉の道に進もうとしていたのではなく、就活活動をきっかけに進むことになった点	若者が少なく、4.50代の方が多い	若手も多く、人前で話すことが得意になることもできる	経験を積む	福祉の道で学べるのは福祉の方法やお年寄りの方とのコミュニケーション能力だと思っていたが、人前で話すことなど様々なことが学べると知れてよかった。
85	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由 - 今本さん/木村さん 医療法人社団創生会 -	介護業界には、福祉関係の専攻以外の学生や他業界からの転職者も多いということ	高齢者をサポートするだけの仕事 暗いイメージ	大変だが介護に特有のやりがいもある 個人を尊重してその人に合うサポートを行うことが大切 意外と明るくやっていると転職から入る人も多い	インタビューされている方が終始朗らかにインタビューに答えていることからイメージが変化した。	
86	社会福祉法人まりも会	コミュニティキャストでは情報を発信していくことが重要だとおっしゃっていました。私は地元の魅力や地域で行っている行事について把握していないことが多くあるため、施設から情報を発信してもらえらることで興味が持てる感じました。地方の若者が減少している近年ではこのような情報により、自分の地元に興味を持ち、地域活性化に協力する人が増えるのではないかと思います。	ボランティアや、高齢者施設で働く仕事というイメージ。	福祉、介護はその施設内だけでなく、外への情報の伝達の重要性、幅広い考え方が生かされるものだなと感じました。	コミュニティキャスト、学芸員	
87	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	ICTの導入で、実際に介護職員の負担が軽減されたこと	重労働、残業多い	若い人も働いている、現代の技術を導入してらいる	ICTの導入	
88	社会福祉法人希望の家	職員の負担にならず手書きではなく、デジタル端末を使うことで効率化をしているのがとても良いと思った。	人助けや介護、高齢者などのイメージがあった	高齢者だけではなく、様々な人やみんなに関わりのあるものだった	地域の人と関わるパイプ役	
89	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？ - 山口さん・吉田さん 社会福祉法人若竹大寿会 -	学生と社会人の方々が対話形式で話を進めていて、自分もその輪の中に入ったような気持ちで、最後まで飽きずに視聴することができた。	正直、身体的にも精神的にもブラックなイメージがありました。	ICTのおかげで、介護の仕事の負担が着実に減ってきていることを知った。そのことによって、これまでの自分が思っていた以上に福祉系の職は働きやすい環境が整ってきていると感じた。	ICTの発達により、効率的に介護ができるようになった	

別紙（資料集）魅力発信媒体の拡散 サイト/動画視聴後アンケート回答結果（自由回答のみ）

No	特に印象に残った動画のタイトルを教えてください。	上記の動画で、印象に残ったポイントを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧後の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前後で福祉・介護に対するイメージが変化した場合、サイトおよび動画内のどのようなキーワードや体験、場面がイメージの変化に影響しましたか。 (例) 地域をつくる、共に生活するなど	その他ご意見やご感想等がございましたら記載してください。ご意見・ご要望
90	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	福祉の場面ではICT化は避けられているイメージだったので、きちんと進めているところもあると知って驚いた	ICT化は食わず嫌いをされているイメージ。利用者は人との関わりを求め、介護者側は変化を嫌うため。	やはり導入段階で苦労はあるものの、慣れればできそうというのはいいことだと思った	介護記録、夜間巡視の場面	
91	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？ - 山口さん・吉田さん 社会福祉法人若竹大寿会 -	若者が第一線で活躍しているところ	中年の女性が中心に働いている	若者も活躍していて、若者だからこそ出来ることあるのだと思った	ICT、スマートフォン	
92	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	動画を撮るなどのアイデアが若い人特有だいうところが印象に残った。福祉業界は若い人とは無縁で、学生は福祉について考える機会が少ないと思っていたが学生が福祉で役に立ると知りびっくりした。	人手が足りていない、大変そう	私たち学生も役に立てる、もっと学生が福祉について知るべき	(動画をつくるなどのアイデアが若い人ならではの)	
93	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？ - 山口さん・吉田さん 社会福祉法人若竹大寿会 -	介護現場でどのような業務内容があるのかを知らなかった中で、割と書面で書いたりする報告からデジタル化してきた流れを理解することができた。従業員の働きやすさの向上はもちろんのごとく、顧客のためになっていることを重視している点は印象に残った。	漠然と、大変そう。というイメージをもっていた。	大変な仕事なことは変わらないけれど、それ以上にお客様との繋がり、家族との繋がりを通して、感謝されるやりがいの大きな仕事なんだとイメージが変わった。	職員一丸となって、人を幸せにする、人が大切にされる世の中をつくる	このような機会がなければ、介護という私の知らない分野に触れることがなかった為ありがたい機会だと感じました。
94	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	実際の福祉の現場でICT化が進んでいること。スマホに慣れている若者が悪く捉えられるのではなく、しっかり認められているところ。	給料が業務内容に見合っていない。とにかく大変。	給料が業務内容に見合っていないという点は閲覧前からあまり変わらないが、ICT化が進んでいることで負担が軽減されつつあると分かり、大変だと思う度合いが少し下がった。	介護記録システムの導入。	
95	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	ICTで介護記録をデジタル入力したり、カメラで利用者を確認したりできること。	大変な職業	先端な職業	若者	特になし
96	福祉の道に進んだきっかけとは？	多くの人利用者が日中活動に参加していることを写真や動画と共に共有されていたこと	忙しそう、力仕事もある程度ありそう	暖かい職場の雰囲気だと知れた	どの利用者さんでも楽しめる、職員も一緒に楽しめる	
97	介護の働き方ってどんな感じ？	実際に働いている方の生の声を聞くことができたところがよかったです！業務内容を細かく知ることができました！	辛い仕事、肉体労働のイメージがありました。	やりがいを持ちながら働くことができる仕事であると感じた！	おむつ替えなどのイメージがありましたが、買い物代行やお料理もするということが衝撃を受けました。	生の声を聞いてよかったです！若い方のインタビューは自分と年も近いので、私も介護の道を考えてみようと思えました！
98	介護の働き方ってどんな感じ？	やりがいを感じた事例が大変わかりやすく大切な考え方を得られました。	介護者数が不足していて賃金が安いなど。	閲覧前の認識はそのまま、具体的なやりがいについて知ることができたため、実際の現場をイメージしやすくなった。	人間関係の構築	
99	スタッフが就活生の質問に答えてみた	施設見学の服装	力仕事	根性が必要	古い地域に貢献	
100	福祉×〇〇の面白い取り組みとは？	コミュニティキャストという仕事の存在や、地域とのかかわりを大切にす姿勢などが印象に残りました。	一人一人の職員の負担が大きく、ハードなイメージ。	積極的に地域との関係をつくり、みんなにとって身近な場所となるよう運営されていると知り、これまでイメージしていたより明るく人と人のかかわりを大事にしているのだと感じた。	地域の人と繋ぐパイプ役	
101	福祉業界のICT化と若者に期待すること	福祉施設の内装の綺麗さ。またICTの活用によりコミュニケーションが促進されるという一見矛盾した状況が起きていること。	スタイリッシュさより人情味というイメージ	スマートさが強調されていて、汚れ仕事のイメージがさらに弱まった	最初の施設紹介の映像	
102	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？ - 山口さん・吉田さん 社会福祉法人若竹大寿会 -	介護とICTは関連性がないテーマかと考えていたが、動画のタイトル自体に悪かれた。また、デジタルがどのように導入されているのかをよく理解することができた点が印象に残った。	ひたすら、紙の文化。煩雑。陰湿。	効率化が進められており、明るい職場である。	介護士の負担が軽減されたということから、介護士のことを考えた、職員のことを考えた職場なのだということが理解できた。	介護業界を良くしていこうという取り組みには非常に興味があり、良いことであると思う。また、こう言った取り組みは若者の流入更には介護全体のに賃上げにも繋がるのではないかと思うので、非常に有意義な活動であると感じた。
103	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	介護の負担がICTによって軽減されたというのが印象に残った	介護は高齢化、人手不足によって社会問題になっていると思っていた。	介護の問題はデジタル化の遅れも原因になっている。	いろんなカタチの福祉に出会う	
104	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	福祉業界のICTの導入により、少人数介護でも利用者様向かい合う時間を確保することが可能になり、ICT機器(特にスマホ)を使い慣れている若者は効率的な作業に繋がるということ。	激務、過酷、アナログ、老老介護、力仕事	若者が活躍する場があるということは意外で、ICTが有効に利用することでサービス向上に繋がっており、私が大学で学んだ教育と似ている部分も感じた。	同世代の学生にインタビューをする構成となっていたため、近い目線からの疑問に解決がイメージの変化に効果的だったと思う。	就職に関する情報は有難いと思います。
105	ICT	ICTの活用が介護分野でも進んでいること。	とにかく大変そう。	働き方改革のような、より良く働けるように努力しているのだなと感じた。	ICT	特になし
106	福祉社会のICTと若者に期待されていること	ICTが介護を支えていること	人間がやるもの	これからもっと便利になりそう	若者も取り組むということ	
107	福祉の道に進んだきっかけとは？友野さん社会福祉法人希望の家	就職活動において大切にしていたこと	肉体労働、人手不足	資格がなくても、取り組むことができる 意外と若い従業員が多い	家族のように暖かい場所にしよう	
108	訪問介護について	学生視点でわかりやすく解説してくれるところ	労力とコストが見合わない	楽しい感じ	訪問した先でお互い気遣い合っている	
109	福祉の道に進んだきっかけとは？ - 友野さん 社会福祉法人希望の家 -	学校の体験学習で希望の家に行ったことがあったため。	大変なイメージ	介護はもちろん大変だけど、自分の知っている介護は昔のことではもっとと色んなことをしているのを知りました。	笑顔を見るだけでもやりがい	
110	特になし	特になし	馴染みがない	少しわかった	身近なこと	
111	福祉業界のictと若者に期待されることは？	福祉業界でも見守りカメラなどの導入が進んでいて、介護職の方の負担を減らす取り組みがなされていることに感じました。	とにかく体力が必要な大変な仕事	人と人との関わりが大切な仕事	福祉は「おもしろい」	
112	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？という動画が1番魅力的に感じました。	ICTと福祉はあまり結びつきがないようなイメージがあったのですが、福祉業界でもICTを導入することで働く人の業務を減らすことに繋がっているということを知ることができて良かったです。	大変であったり、残業が常態化していることや、力仕事が多くあるイメージがありました。	元々、福祉業界に悪いイメージの方が多く抱いていたのですが、今回の動画を視聴して福祉業界で働く人に対して業務を軽減するためにICTの導入という新しい取り組みをする姿勢が知ることができて良かったです。	福祉業界が抱える問題は私たち一人一人が考えるべきだと感じました。誰もが通ることになる老後の生き方についてこの動画を通して自分自身も考えないといけないと感じることが多くありました。	今回のモニターを通して私自身も福祉業界について他人事とは思わずに自分のことだと思って向き合えないといけないと思うきっかけになりました。ありがとうございました。
113	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	ICTを活用することで介護士の皆さんの負担を減らせるだけでなく、利用者の皆さんも快適に過ごすことができること。	重労働で低賃金、人手不足	低賃金・重労働のイメージは変化しなかったが、人手不足をなんとか最新技術を用いて補おうとしている努力が垣間みることができたため、人手不足で忙しそうというイメージは少し改善した。	見守りカメラ、介護記録の電子化、LCT	人手不足の解消、職員の負担軽減のためにICTを活用するなど、様々な工夫をしていることがわかった。また、なるべく入所者の方の“やりたい！”を尊重し、入所者の方にも楽しく日常生活を送ってもらいたいという、介護士の皆さんの熱意と努力が伝わって来た。
114	若竹大寿会	デジタルを利用している点	ブラック	デジタル化が進んでいる	効率化を進めている	
115	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由 - 今本さん/木村さん 医療法人社団創生会 -	他業界からの転職という点、若者が福祉業界に携わる利点、ICTの活用	大変そう、日本が今後ますます考えなくてはならない問題だということ、誰にでも当てはまる問題だということ	意外と若者も福祉・介護に携わっている	福祉・介護業界に親しみを持った	

別紙（資料集）魅力発信媒体の拡散 サイト/動画視聴後アンケート回答結果（自由回答のみ）

No	特に印象に残った動画のタイトルを教えてください。	上記の動画で、印象に残ったポイントを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧後の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前後で福祉・介護に対するイメージが変化した場合、サイトおよび動画内のどのようなキーワードや体験、場面がイメージの変化に影響しましたか。 (例) 地域をつくる、共に生活するなど	その他ご意見やご感想等がございましたら記載してください。ご意見・ご要望
116	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	スマホで記録できるなど色々なシステムを取り入れて介護しているところ	重労働、大変そう、面会でしか様子を見れなそうで不安	大変そうなのは変わりないけど、写真付きで様子が送られてきたりするのは安心して任せられるなと思いました。	スマホを活用	
117	福祉業界のICTと若者に期待されていること	介護の職員さんの殆どが残業をしていたが、ICTを利用したことで大変な物では無くなったということ。	辛いもの、デジタル導入があまりされていない	若い人が主軸となってICTが導入されて、年代関係なく協力しているように思うことができ 素敵なお仕事だと感じた	成長する、人を助ける	
118	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	介護業界がかなり残業なども多く、大変ということを初めて知りました。また、それを解決するために、デジタル化を進めるなど、様々な取り組みをされていると分かりました。	きついというイメージはあったのですが、具体的にどんなハードワークなのかは知りませんでした。	色々大変なことはまだあると思うけど、だんだん改善されているのだと感じました！	全部スマートフォンで介護の記録をできる	
119	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？ - 山口さん・吉田さん 社会福祉法人若 大寿会 -	福祉業界は肉体労働のようなイメージが強い中、ICTがここまで浸透していることにギャップを感じたから。	肉体労働が多く、ブラックなイメージ。ただやりがいはかなりありそう。	最先端の技術を活用しながら業務効率化を行なっている	職員が利用者にとってのメリットが何かを語っている場面	
120	福祉の道に進んだきっかけとは？ - 友野さん 社会福祉法人希望の家 -	他の分野の学部であっても、この分野に就職するという道があると知ったこと。自分の将来についても考えたいと思った。	高齢者のお世話でとにかく大変。	福祉、介護の場は笑顔あふれる場である。	笑顔、あたたかい場所、資格なくてもウェルカム	
121	福祉×〇〇の面白い取り組みとは？	地域に寄り添っているところ	業務内容が大変で辛そう	働く方は想いを持って取り組んでおられ、マイナスのイメージではない。	地域との信頼関係、コミュニティ	良い機会になりました。
122	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？ - 山口さん・吉田さん 社会福祉法人若竹大寿会 -	近年、DX化が進むことで様々な業界にICT機器が導入され、効率化が進んでいるが、介護業界の人手不足にも課題解決の手段として取り入れられている点が印象に残った。	人手不足で、若手が活躍していない現場。	若手の方でも参入される方がおり、働き方も多様であること。	現場主体で発信することができる	
123	福祉の道に進んだきっかけとは？	同年代の人の目線で話っていたので、親近感を持ってました。	低賃金、肉体的にきつい	若手が活躍できる、しかも資格もない状態で働けることを知らなかったので印象に残りました。	同年代の人がどのような過程でこの職場を選んだのかをありのままに語っている場面	
124	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	ICTに慣れている若者世代だからこそ、福祉業界で求められているということ	ICTと密接に関わっている分野ではないと思っていた。	福祉も、今の世界や働き方により順応させていくためにICT化やDX化を進めていかなければならない。	若者に期待されている	
125	福祉業界のICT	AIの導入で職員の負担が軽減されていると知って、もっと活用していくべきだと思った	忙しそう、大変	AIを利用したらもっと職員の負担を軽減できる仕事になると思った	AIで利用者の状況を把握する	
126	福祉業界のICT	若者だからこそ、かみの介護記録にとらわれずさまざまなツールを使いこなせるスキルがあること。	3k	あまり変わらない。	データ化 数値化で一般化できる	
127	福祉×〇〇の面白い取り組みとは？ - 笈川さん 社会福祉法人 まりも会 -	福祉を現代に合わせて、変化させていくことを意識されていることがよく分かる動画でした。コミュニケーションツールとしての利用など、より良い施設環境づくりのために技術を用いていくことの必要性が印象に残るポイントでした。	福祉は今後ニーズに合わせてより一層変化させていくべきものであること、それが不可欠であることを認識していました。	これまで考えていた以上に実際の現場では改革や工夫が行われていることを学びました。その一方でより一層そうした変化が求められていることを学びました。	患者の家族とのコミュニケーションツール	
128	芸術系の学部から介護の道へ？！	好きなことを活かせるのがいいと思いました。	大変そう	やりがい	お年寄りに寄り添う	
129	福祉×〇〇の面白い取り組みとは？	情報共有の大切さが分かった。	大変そう	様々な年代の方とコミュニケーションとることができ、視野が広がると感じた。	地域をつくる	
130	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由	お話していた2人とも、元々はスポーツトレーナーであったり、栄養を学んでいたりと違う分野から介護の業界に入った点。意外性を感じて親しみやすいのではないかと思う。そして、特別な活動（レクリエーション）などを行っている点。動画の最初の方に少し映像を交えていた部分で楽しそうな雰囲気伝わった。	肉体労働であったり、人と密接に関わらなければいけないので辛そうなイメージ。	人と密接に関わることは変わらないけれど、それぞれがどうしたら良くなるかを考えながら日々新しい方法を模索していて、思ったよりも明るく若者が参入しやすいイメージ。	心理的な自己成長にも繋がる、家族の心理フォローもする、レクリエーションをとにかく楽しんでもらう、感謝できる人になれた	
131	訪問介護ってどんな仕事？！	とても大変な仕事だと思いました。	とても大変な仕事であるというイメージです。	とても大変な仕事であるというイメージは変わらなかったですが、人を支えるという重要な役割を担っているというイメージを持ちました。	高齢化、共に支え合う	とても勉強になりました。
132	福祉の道に進んだきっかけとは？	インタビューされていた方が、芸術学を大学で専攻されていたということ	職員不足	若手の積極採用	資格がない状態でもウェルカム	
133	福祉の道に進んだきっかけとは？	分かりやすく説明している点	やりがい搾取	やりがい以外にもある	特になし	
134	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由 - 今本さん/木村さん 医療法人社団創生会 -	介護業界は福祉系の学部以外にも、様々な学部からきているということ	給料が低く、仕事量と見合っていないイメージ。	政府の方で改善が進んでいるため、仕事量に見合った給料が貰えるようになってきているということと、人間関係が良さそうな所は働きやすいのかなと思った。	福祉業界に就いたら一生福祉業界だと思っていたが、転職する人や子育てが落ち着いてから福祉業界に来ると言う人が多くいるという場面	
135	福祉の道に進んだきっかけとは？ - 友野さん 社会福祉法人希望の家 -	自分が就活生なので就活の話が印象に残りました。	人手不足で大変そう	大変ではあるけどとてもやりがいのある仕事だと感じました。	利用者も職員も家族みたいな温かい場所に	
136	福祉×〇〇の面白い取り組みとは？ - 笈川さん 社会福祉法人 まりも会 -	コミュニティキャストという職業をはじめました。この仕事は、地域と繋がりをつくる大切な役割を持っていることが分かりました。施設内だけではなく、ヨガ教室やパン屋など様々な活動を通して、コミュニティを作っている素晴らしい仕事だと思いました。	重労働、大変なイメージでした。	ICTの活用や、新たな役割の設置など、労働者も利用者も過ごしやすい環境になっていることが分かり、今までの印象よりも良い印象を持ちました。	労働者を守る ICT 地域にとって当たり前 地域コミュニティ	どの動画もテーマが分かりやすく、同世代のインタビューが取材をしているので、親近感が湧きやすく、とても勉強になりました。
137	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由	最近では給与が割としっかりしていること。他業界からの転職者が割と多いこと。	仕事に対して給与が見合っていない	給与だけでなく、高齢者の方との交流がやりがいになる。人の役に立てる仕事。	離職率が少ない(その会社は) 今本さんの介護職のやりがいやデメリットを聞いた上で	特になし
138	福祉〇〇の面白い取り組みとは？ - 笈川さん 社会福祉法人 まりも会 -	AIが福祉に密接に関わっていることを知りました。	情報が出にくいイメージ	アットフォームにフラットなイメージ。	人と人だけでなく、人とAIも可能性があること。	
139	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	福祉業界にもICTが導入され、職員の肩の負担が削減されていること。	残業、労働の負担が大きい	負担は、ICTの導入などにより軽減することができる。	スマホを利用した介護記録	
140	福祉×〇〇の面白い取り組みとは？ - 笈川さん 社会福祉法人 まりも会 -	地域のつながりの機会を増やそうと取り組んでいる点	福祉介護は私とあまり関係のないことだと思っていた	福祉とは、地域社会、コミュニティのことも指すのだということ	地域社会	
141	介護の仕事のキャリアパスは！？	初対面の3人がある施設の訪問を通してインタビューを行い親睦を深められていて良かったと思います。	キャリアを積んだ人でないといけない仕事で難しそう	施設が現代風で対応してくれた人の物腰が柔らかくて自分も出来るかもと感じた	介護職をサポートする	特になし
142	福祉×〇〇の面白い取り組みとは？ - 笈川さん 社会福祉法人 まりも会 -	施設を巻き込んで何かアクションをしようとしている能動的な姿勢	弟が障がい者なので、福祉=障がい者 というイメージ	自分でも気づいていなかったが、福祉とは広い対象者や内容がある	ペットボトル回収の話など、単純な介護施設の内容ではない話	

別紙（資料集）魅力発信媒体の拡散 サイト/動画視聴後アンケート回答結果（自由回答のみ）

No	特に印象に残った動画のタイトルを教えてください。	上記の動画で、印象に残ったポイントを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧後の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前後で福祉・介護に対するイメージが変化した場合、サイトおよび動画内のどのようなキーワードや体験、場面がイメージの変化に影響しましたか。 (例) 地域をつくる、共に生活するなど	その他ご意見やご感想等がございましたら記載してください。ご意見・ご要望
143	福祉×〇〇の面白い取り組みとは	福祉は現在の社会的デジタル化に合わせて新しい取り組みをされているのだと知った。	以前祖母の介護施設に訪れた際、介護スタッフの数が入居者と比べて足りていないように感じた。介護スタッフ不足により、負担が大きくなってきているのではないかと感じていた。	人手不足や入居者の安心につながる取り組みをされているのに驚いた。より介護に対して、安心を感じた。	入居者の家族にも安心してもらえる取り組み	
144	福祉×〇〇の面白い取り組みとは？	手書きの報告書のイメージがデータ管理によってより効率的になっている点が興味深かった。	辛そう、体力仕事、人手不足	和気あいあいとしている。若い人材も育成されてきている	ICTの活用	
145	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由	人の役に立てることが魅力というのが印象に残っている。改めて実際に業界で働いている方からの言葉に想いを感じた。	福祉、介護は人に奉仕する、人を支えるイメージがあり、やりがいはあるものの精神的なストレスも大きいのではないかと感じていた。	人の余生に寄り添う中で自分自身が他人との関わりで様々なことを学んだり、成長できたりできるというイメージが変わった。	お互いに支え合う感謝し合う	
146	福祉の道に進んだきっかけとは？ - 友野さん 社会福祉法人希望の家 -	私は福祉について知らなかったでこのような機会を知ることができてよかったです。テロップや画面の構図的に内容が頭に入ってきやすく見やすい動画でした。	薄暗くて少し怖いイメージ 厳しいイメージ	希望があって明るいイメージ 先輩が教えてくださる。	1人だけ仕事を増やしてその人だけやるのではなく均等に自分で責任をもってそれぞれが動いている。	とても分かりやすい動画でした。デザインや構成がすごく上手で引き込まれました。
147	介護のあり方	お客様に自分を覚えてもらうために努力したこと	認知症の患者の介護が大変なイメージ	名前を覚えてもらい受け入れて貰えたことがやりがいになる	自分を覚えてもらう	
148	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	動画編集技術があり、文字起こしも文字が大きくとっても見やすい動画だった。	10、20代の職員はほほえないイメージ。残業が多い。	動画の中で10、20代の職員が写真を上手く撮るという話が出て、同世代で福祉業界で働いている人も結構いるのだと感じた。また、介護記録を今まで手で書いていた、カメラをICT化に伴い設置したという話からやはり民間の企業などと比べて業務効率やデジタル化の面でギャップがあると感じた。	10、20代の職員がうまく写真を撮る	
149	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由 - 今本さん/木村さん 医療法人社団創生会 -	介護をする上で必要な事として高齢者のお世話だけでなく家族の支えが必要なのことがわかりました。	重労働であり楽しそうなイメージではなかった。大変そうな感じがした。	皆さんがお年寄りの方のために自ら行動を起こすことや楽しそうにゲームをする姿を見て介護は大変なことが多いけどそれ以上にお年寄りの元気な姿を見て明るくなれるものだと思います。	お年寄りと一緒にゲームをするところ。介護をする人たちの考え方。	
150	福祉業界のICTと若者に期待されていることは	福祉業界は手作業なども多いため、ICTとはあまり関連のなさそうな業界だと思いましたが、このように役に立っているのだと勉強になりました	手作業が多い、若手の職員が少なそう	ICTなどを活用して仕事の効率化を図っている、デジタルに強い若者も活躍されている	積極的にICTを取り入れる、新卒	ショート動画もよくまとまっていて面白かったです！
151	福祉業界のICTと若者に期待されていること	編集がとても見やすく、かわいい。対談方式で、疑問を分かりやすく解説してくれていた。	人手不足で現場は疲弊している。ICTを取り入れにくい分野	若者を中心に試行錯誤してICTを活用しながら労働環境や入居者に有益になるよう柔軟に対応している。	ICTやDX	正直、景品目的で参加しましたが、動画を閲覧してみるとすごく分かりやすく、見やすい内容で福祉業界に少し親近感と興味が湧きました。福祉業界に就職する予定はありませんが、機会があれば何か携われるようなイベントやボランティアに参加してみたいと思いました。ありがとうございました。
152	介護の働き方ってどんな感じ？ - 倉田さん 株式会社でいぐにてい -	「でいぐにてい」という文字が目をついたのでクリックした。	日常生活の困難な人が、お金を払って利用するサービス	介助者と利用者の接する時間が長く、人間関係やコミュニケーションが大切だというイメージ	7分30秒頃からの、70代のKさんとのエピソードが、実際の仕事現場を想像しやすく、印象に残った。具体的なストーリーを語っていたので、福祉に対して知識の浅い僕でも、どのような仕事ぶりなのか分かって面白かった。	サイト運営の目的や、活動内容はとても良いと思うので、これからも頑張りたい。また、このモニターをして活動を向上させようとしていることから、福祉を広めるということへの情熱が伝わってきた。
153	福祉×〇〇の面白い取り組みとは？	説明がわかりやすかった	福祉は大切と思った	福祉は大変きついというイメージが減った。	地域と住民がつながる	特にないです
154	福祉の道に進んだきっかけ	福祉の仕事で人前でも話せるようになったこと	大変そう	やりがいがある	ともに地域を守る	
155	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？ - 山口さん・吉田さん 社会福祉法人若竹大寿会 -	ICTを活用することで働く人にとってもサービスを受ける高齢者の方にとってもより良い環境を作り出しているということ。	残業が多く、肉体労働。	福祉、介護業界は人を相手にする業界なので、業務の量も多いと思いますが、ICTを活用することでより円滑に業務を進めることができ、利用者の安心にもつながるのだと感じました。	ICT	
156	訪問介護ってどんな仕事？！	介護職について詳しくわかりやすく知れた	よくわからないイメージ	身近な存在	共生活すること	
157	介護の仕事ってどんな感じ？	介護では（でいぐにてい）では、利用者さんではなく「お客様」と呼んでいること。世界一を目指すことの大切さ	つらい仕事 大変そう 心が疲れそう	新たな出会いがある 楽しみがある 和気あいあいとしている	「世界一を目指す」	
158	なし	なし	なし	なき	なし	
159	福祉〇〇の面白い取り組みとは？	信子さんの経験から、今まで知らなかった福祉の側面を学べたこと	高齢者の生活のお世話をするというような漠然としたイメージ	色々な人に対して行われ、その人の人生を全面にサポートする	希望の家	
160	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？ - 山口さん・吉田さん 社会福祉法人若竹大寿会 -	介護記録の負担が残業等の形で響いていたこと	旧来的、肉体労働、ハードワーク	少しずつ変革が起きている	利用者ファースト、コミュニケーションのICT	
161	どこにタイトルが書いているの分かりませんが、男性の方と女性の方の職員1人ずつが写っている動画です	介護にもインターネットが使われていて、やはり、若者が活躍するのだと改めて思いました。	ひとつずつ手動で行われていると思ってました	インターネットが使われていてかつ、施設を利用している方のご家族に写真を送っていると知り、一気に身近な施設だと思いました。	インターネット利用により、職員の負担が軽減	ぜひ、予定があればとも施設の取材、見学、活動の参加など行ってみたいと思っております。
162	介護の働き方ってどんな感じ？	ヘルパーさんとお客さんの2人の世界でいちばん気持ちいい介護というのを掲げているのが素晴らしいと思った。	社会貢献、老人介護	色々な環境で一人一人向き合う姿がとても素晴らしいイメージ	お客様の世界やお客様のルールを尊重する 利用者さんをお客様と呼ぶ	とても興味を持ちました！！！！
163	福祉の道に進んだきっかけとは？	資格を何も持たず、福祉系の学部以外から福祉の道に進んだという話が、現在福祉以外の学部で在籍しているが福祉関連の仕事に興味を持っている私にとって参考になった	資格がないとできない	資格がなくても仕事ができることがある。仕事をしながら資格を取るという選択肢もある	福祉以外の学部から福祉系に就職	
164	福祉×〇〇の面白い取り組みとは？ - 笈川さん 社会福祉法人まりも会 -	私自身、高齢者の施設は関係のないもの だと思っていました。しかし、地域との繋がりをもとに活動している点では、学校などから変わらない存在であるのだと感じました。試行錯誤をしていると聞いて、前向きで明るいイメージを持ちました。	人手不足で、給料が見合わず、体力的に苦しい仕事。	自己成長につながる仕事だということ。人の役に立てる、また、誰かに必要とされることを実感できる仕事。	他業界から転職	
165	福祉の道に進んだきっかけとは？ - 友野さん 社会福祉法人希望の家 -	介護・福祉に関する資格がなく、全く別の資格を持っていても、その資格を活かしながら介護の仕事が出来るというところが、介護・福祉ならではの魅力なのかなと思った。	介護・福祉に関する資格を持っている人の方が有利だった、そういった資格がないとなれないと思っていた。	違う資格を持っていても、福祉の仕事はできるし、その資格を持っているからこそ気づけることやもの見方があって、素敵だと思う	目の見えない方が美術品を楽しむために、作品を立体的に表現する 職員も利用者もみんな笑顔	

別紙（資料集）魅力発信媒体の拡散 サイト/動画視聴後アンケート回答結果（自由回答のみ）

No	特に印象に残った動画のタイトルを教えてください。	上記の動画で、印象に残ったポイントを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧後の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前後で福祉・介護に対するイメージが変化した場合、サイトおよび動画内のどのようなキーワードや体験、場面がイメージの変化に影響しましたか。 (例) 地域をつくる、共に生活するなど	その他ご意見やご感想等がございましたら記載してください。ご意見・ご要望
166	他業界からの転職者に聞いてみた！	計画書を作ったり、お悩み相談窓口だったり、複数の仕事があった。介護することは自己研鑽にもなっていること。	老人や障がいを持つ方のサポートをする。	様々な面で利用者をサポートする。	今後の余生を一緒に考える 自己研鑽	
167	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	福祉の仕組み等を詳しく知らなかったのもその辺についても詳しく知ることが出来た点。	大変な仕事	環境がすごく良くて誰かの為にそういった活動をしてみたいと思った。	国際福祉機器展	
168	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	福祉の場面でもICTを活用していること	朝から夜まで大変そう	仕事の量や負担を軽減することができ、労働者、高齢者にとっても良い環境が出来てきている。	若者が活躍する、ICTがコミュニケーションツールである	
169	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	スマートフォンの世代の若者だけが持ち合わせているものがあるところ	老老介護、しんどいのに給料が低い	ICTを使うことにより負担を減らして少しでも職員の負担を減らそうと努力している	若手の職員のスマートフォンの活用、スマートフォンなどのICTを使っの同居者さんとのコミュニケーション	
170	介護の働き方ってどんな感じ？	おもむ交換や薬を飲ませることが拒否されてしまっと思うように行かなかったところ	おじいさんおばあさんのお世話、話し相手で簡単そう	高齢の方からの必要とされるために相手を理解すると同時に理解されることが大事なんだと感じました。	自分の話しをたくさんする。	
171	福祉の道に進んだきっかけとは？-友野さん 社会福祉法人希望の家-	就職するまで福祉関係とはほとんど関係ない分野を学んでも、福祉の仕事で活躍しているところ	大変な仕事というイメージ	これまでの経歴関係なく、それぞれが活躍出来る仕事なんだと思った	身体障害者のドッジボールのレクリエーション	福祉関係のボランティアを他にもやってみたいと思った
172	本島純政主演ショートムービー「おかえり」	社会への自立というのがとても印象に残りました。この動画で、登場した1人の障害をもつ高校生が自立していくのを見て、改めて子供の間支えることができてそのまたつづきがあるんだということを感じました。もちろん支援しても全てはしきれないし、踏み込められる範囲もあり、単発的なものではなく長期的なことを考えた支援をしなければいけない難しさを感じました。	人手不足というのもよく耳にするのもあるし、やることがまず身体的にも精神的にも負担が大きいものでとにかく大変なイメージがありました。自分でも興味はあってもなかなか聞けない、アクションがおこせないものだという認識でした。受ける側に対しての責任の重さ、そもそもどうすれば助けになることができてどう関わっていけばいいかわからないものだと感じていました。	大変なものだというイメージはより強まったのですがICTを利用したり、もっと効率的にやる方法を探っていくことが大切なのかなと思いました。また、今の自分にできることは本当に少ないだろうと感じました。わたしももっと何かできることはないか探っていけたらと思いました。あとは長期的に考えていかなければいけないことというイメージが強まりました。	自立という言葉や、仲間として子ども同士がふつうに仲良く過ごしている場面	福祉に関わるのは気軽にはできず、そもそも知っていることが少ないというのもあり踏み出せなかったのがうして少しでも知る機会があるのはとてもありがたいです！
173	福祉×○○の面白い取り組みとは？-友野さん 社会福祉法人まりも会	私は、喜望園で行っている面白い特色に興味を持ちました。喜望園ではペットボトルをワクチンに変える取り組みを近隣の中学校と共同で行っています。主にキャップを集めるボックスを作り、利用者さんとそのキャップを洗浄して中学校に寄付しているそうです。そのため私は利用者さんに世界と繋がる実感や生きがいを与えることができ、社会貢献にもなる素晴らしい活動だと思いました。	体力が必要で、夜勤や休日出勤がある施設もあることから辛く、大変な業界というイメージがありました。	レクリエーションや社会貢献活動を通して利用者さんや職員全体で楽しんで活動を行う明るく、賑やかなイメージに変わりました。	「福祉の道に進んだきっかけとは？-友野さん 社会福祉法人希望の家」の動画からアイデア、楽しむという言葉が響きました。	福祉業界で働いている職員の方々のインタビューを通して仕事内容ややりがいを知ることができ、とても良い経験になりました。動画を通して高校生の間により福祉業界のボランティアを体験してみたいなと感じました。
174	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	介護現場でも、DX化が進んでおり、業務の効率化が図られていたり、スマホで介護記録を入力するなどの、若者がやりやすい取り組みがされていて、その取組を知れてよかった。	肉体労働が多いイメージ。	介護・福祉業界でもDX化が進んでいること。福祉施設に入室している人は、外に出る機会が少ないこと。	DX化	
175	まりもさんの社会福祉法人に関する動画です。	福祉専攻でなく、ほかの学科でも福祉関係の仕事につくことができほかの学科で学んだことがこの仕事に生かせる点です。	福祉専攻の方だけがなれるものだとおもった。	閲覧後は様々な学科や分野のかたが携わることができ、私も福祉介護にたいして貢献できるのだと知った。	様々な学科や分野のかたが介護福祉の仕事に就くことができる。	とても説得力のある動画でわかりやすかったです。
176	まりも会	まりも会の人たちがヨガやパン屋の企画を通して地域との繋がりを大切にしているのはどうしたら良いのかを真剣に考えている事が伝わった。	福祉・介護は高齢者の手助けをするから大変な仕事というマイナスなイメージ	高齢者の身の回りの介護だけでなく、地域との関わりについても考えている地域創生と結びつきが強いというプラスのイメージ	世界と繋がる感覚 お互いやりやすい環境 希望園なら相談できる	福祉・介護について詳しく学べてよかったです。
177	他業界からの転職者に聞いてみた！介護の仕事を選んだ理由	他業界からの転職者というキーワードに目がきました。	小さい頃に老人ホームの方と交流する機会があって、その印象がずっと福祉のイメージになっていました。皆んなで交流して、老人ホームも一種の保育園みたいな感じだと思いました。	あまり変わらず、様々なレクリエーションがあり保育園のようなイメージです。	夏祭りを行う様子など	
178	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？-山口さん・吉田さん 社会福祉法人若竹大寿会-	福祉業界でICTやDX推進が進んでいる	仕事大変そう。	ICTを利用することで、仕事が楽に、そして患者のためにもなる。	コミュニケーションのICT	
179	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	スマートフォンで記録ができるポイント AIを取り入れているポイント	重労働で大変 働く人が少ない	思っていたより利用者とその家族との距離が近いというイメージ 働きやすいようになっているイメージ	コミュニケーションのICT ICTに柔軟に合わせて取り入れる	興味深かった動画という解答の部分を選択式にしてほしいと思った
180	他業界からの転職者に聞いてみた	他業界からの目線がしれた	大変そう	楽しそう	地域を作る	
181	ない	ない	ない	ない	ない	ない
182	他業界について聞いてみた	それぞれの業界を詳しく知れたこと	大変なイメージ	大変だけでなくそれで得れることもある	がんばる	このボランティアはあり続けた方がいいと思う
183	社会福祉の道に進んだきっかけは？	大学で社会福祉とは違う分野を勉強していても介護の仕事ができる。	高齢者が多くて大変そう。ブラックなイメージ。	職員さんと利用者の高齢者の距離の近さ、温かさ、明るい	共に生活する。	
184	他業界からの転職者に聞いてみた！	家族のサポート、精神的な部分のサポートも重要な部分	大変そう	やりがい大きそう	自己成長を感じる 感謝できる人になれた	
185	おかえり	施設で過ごす中で、どれだけ不安なことがあっても支えてくれる方がいて、大丈夫だよといった安心させる言葉があるからこそ戻ってきたいと思える場所だと思った。	母が介護福祉士のため、小さい時から施設に足を運んだことが何度もあり、母からはおもしろいんだよと聞いてはいたが大変なことが多いイメージだった。	動画を観て辛いのではなく、施設の方と過ごしていく中で幸せを感じられることが多い仕事だと感じた。母が言っていたこの仕事が好き、面白い、という言葉の意味を理解した。	成長する場所	
186	おかえり	施設の中の他の人と仲良くなる場所。	大変そう	誰でも助けられる	おかえり	
187	The VOICE of KAIGO in LIVE vol.1 <福島x三重x岡山>	ICTは介護される人もその家族も働く人にもメリットがあるものだというところ。	介護職は体力も精神も削られる大変な仕事というイメージです。働く人も少なく、介護がしたいという人がなるよりも、お金を稼ぐために仕事をしたい人が多いイメージでした。	介護職は素晴らしい、自身の成長が感じられるもの。最新の技術を用いたり介護を多角的な視点で良くしようとする人がいる将来性のある仕事だと思った。	介護の魅力を感じてくれるツールがICT、ステップアップさせてくれる仕事	
188	あるICT担当の介護福祉士-密着ドキュメンタリー	介護職において問題となっている人員不足をテクノロジーを活用して、以前よりもっと楽に仕事ができるよう工夫されている点 テクノロジーを利用した介護にしたことで、生じる問題点(外国人職員がインカムで上手く指示が伝わらない、新しい制度になれない)の職員側のサポートを手厚く行っている点	人員不足で職員さんへの負担が大きそう 業務過多で、なかなか職員と利用者が遊びや世間話などのたわいもない事をするための 時間が無さそう	人員不足改善のために職員側も色々工夫を凝らし、利用者の方ともっと和気あいあいとした感じになれるよう努力していて、より良い介護をするためにすごく熱を注いでいるのが素晴らしいなと思いました。大変そうではあるけれど、やりがいのある仕事だと感じました。	テクノロジーを使い、職員側も利用者側も負担を減らす 利用者と積極的に会話	
189	福祉の道に進んだきっかけ (友野 瞳さん)	スタッフさんたちが明るく、仲良くしているところ	大変そう	思っていたよりライトで楽しそう	笑顔が絶えない	
190	福祉の道に進んだきっかけとは？-友野さん 社会福祉法人希望の家-	仕事内容とは直接関係のない学部卒の方でも、自分の得意分野を活かしてお仕事されていることに驚きました。	福祉と関係のある資格を持っていて、ある程度の知識を分かっていることが前提なのかなと考えていました。	全てを分かっている必要はなく、知らない方であってもそれぞれの出来ることを活かせるというのが素敵なんだと感じました。	他学部から福祉関係に就いたという体験	

別紙（資料集）魅力発信媒体の拡散 サイト/動画視聴後アンケート回答結果（自由回答のみ）

No	特に印象に残った動画のタイトルを教えてください。	上記の動画で、印象に残ったポイントを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧後の福祉、介護に対するイメージを教えてください。	サイトおよび動画閲覧前後で福祉・介護に対するイメージが変化した場合、サイトおよび動画内のどのようなキーワードや体験、場面がイメージの変化に影響しましたか。 (例) 地域をつくる、共に生活するなど	その他ご意見やご感想等がございましたら記載してください。ご意見・ご要望
191	【ドキュメンタリーA DAY in FUKUSHI～あるICT担当の介護福祉士の日々】	介護リフトの導入により、約3人必要だった車椅子からのベッド移動が、1人で力があるかに関わらず、行っていた。ICTの導入により、人手不足の解消が可能になっていると思った。	体力消耗が多い職種だと思っていた。	利用者に向けた食事の介助や連携作業、対話が多くなってきていると思った。	レクリエーションロボットなど、様々なテクノロジーの導入。インカム利用	
192	現役の先輩に聞いてみた！介護現場の働き方ってどんな感じ？ - 社会福祉法人フレスコ会	介護に関わりのないところからも介護の道に進んでいる人がいる事。	職業として選択する人が少ない 重労働	重労働ではあるがやりがいもある	三交代制	
193	おかえり	主人公の男の人が涙を流した瞬間	子供や高齢者の支援活動を主にしている	子供や高齢者だけでなく、困っている人全員の助けをしている	ボランティアする	
194	福祉の道に進んだきっかけとは？-友野さん 社会福祉法人希望の家-	大学などで福祉について学んでおらず、資格を持っていないでも、福祉の道に進むことができる。また、大学で学んでいたことを活かすこともできる。	過酷な労働をしていて、若手の職員が少ないイメージ。	若手職員も多く、利用者さんと楽しみながら仕事をしているというイメージ。	利用者さんも職員も家族のような温かい場所にしようということを中心に、笑顔の絶えないところ。	
195	福祉×〇〇の面白い取り組みとは？-笈川さん社会福祉法人まりも会-	コミュニティキャストという職種を新設し新しいことに挑戦し続ける姿勢や地域、利用者さん、職員間などのつながりを大切にしているところにぬくもりを感じ魅力を感じた。	少子高齢化が進む中でより一層必要となる仕事だが身体的精神的な負担が大きい。	必要な仕事であることは変わらないがやりがいや自己成長の機会にあふれた仕事。	地域とつなぐバイプラインド、地域交流、輪の広がり、コミュニティキャスト 幅広い人と会える、	
196	柔道整復師が介護業界で活躍？福祉の道に進んだきっかけと、今感じていること	質疑応答の際に、介護に対してのイメージを覆して柔道と介護という共通点のない事柄でも、可能性があり人と人が支え合っているんだと考えることが出来た。	大変そうで、少子高齢化が進む中での人手不足が問題とされているイメージ。	介護でも整体師や介護士が、一生懸命に多様さを大切にして生活していてとても素敵なイメージ。	人と人が笑顔で支え合っている。	介護についての固定概念が変わりました。私のような人は沢山いて、もっと他の人にも介護について知ってもらいたいと思いました。
197	希望の家	全く違う学部から福祉の世界に入ったということに驚いたとたまたま、私も人と関わって生きていきたいと思ったから。	大変、専門の知識が必要、	やりがいがある、誇りを持って働いている人が多い	やりがい、利用者さんの笑顔、	またやって欲しいです。
198	福祉×〇の面白い取り組みとは？	ペットボトルのキャップをワクチンにかえる	高齢者 障害者をささえる	福祉 介護は利用者さんも楽しめる工夫がされてる	地域を作る	なし
199	柔道整復師が介護業界で活躍？福祉の道に進んだきっかけと、今感じていること - NPO法人さわやか大善寺 -	柔道整復師と介護職だと共通点が少ない為、柔道整復師の経験を生かせることが少ないと勝手に想像していたのですが、地域の方向けの運動教室で活かせたと仰って、自分が生きてきた中で経験した事もこれからの事に活かせるかもしれないなと思いました。	大変で、少し汚いイメージがありました	利用者さんの笑顔で元気を貰っていると仰って、大変な事があるかもしれないが楽しそうやりがいがありそうだと思います。	人を笑顔にする	なし
200	柔道整復師が介護業界で活躍？福祉の道に進んだきっかけと今感じていること	介護の仕事の魅力は「人とつながりの中でたくさん学び、自分も成長できること」	大変そう、人手不足	利用者さんの笑顔のみをみただけでも頑張る素敵な職業	人とつながりの中でたくさん学び、自分も成長できること	
201	現役の先輩に聞いてみた！介護現場の働き方ってどんな感じ？ - 社会福祉法人フレスコ会	介護をやっていて良かったこととところで、顔を覚えられてなかったけど、関わっていくうちに感謝を伝えてくれるようになった話	夜勤がきつそう、大変、あまり寝れなそう 利用者さんとあまり仲良くできなそう	みなさん楽しそうに働いている プライベートの時間も確保出来ている りょうし	存在を覚えてくれた いつもありがとう	なし
202	福祉〇〇社会福祉法人まりも会	コミュニティキャストというオリジナル職業が面白かった。オリジナル職業ゆえ、すべて手探りで、不安やワクワクが常に混在する職業ということに、だから成長し続けられるんだらうなと思った。	ヘルパー、老人ホーム、高齢者	地域の人と社会への繋がりや担うバイブ役。刺激のない生活に刺激を与える面白い活動を持ってくる。	繋がり再開は孤立してしまった人間に大きな救いを与えることに、納得した。高齢者の面倒を見る職業ではなく、高齢者と地域、社会への繋がりを作る職業だということを知った。	
203	福祉の道に進んだきっかけは？	できないこともできるように考える	福祉について学んだ人が福祉、介護に携わる	福祉系以外の学部でも福祉、介護の仕事に就くことができる	福祉系の学部を卒業していない	
204	現役の先輩に聞いてみた！介護現場の働き方ってどんな感じ？	家賃補助制度や介護未経験者のための実務者研修などの福利厚生や教育の面でも介護業界は充実しているというポイント	給料が少ない割に長時間働かなければいけない。排泄処理が大変そう。	最新機器などのおかげで職員の介護の負担が少ない。ご老人の方との関わりややりがいがある。柔軟性がある仕事。	+αでの行事追加(創生会)、島田さんの新人嫌いの入居者さんのエピソード	福祉や栄養系、スポーツ系他にどのような学部の人がどんな形で介護職に関わっているのを知りたいです。
205	福祉業界のICTと若者に期待されていることは？	働き手が減っている今の日本の中で、使える技術や機械を積極的に取り入れ、働き手も、被介護者も共に暮らしやすく働きやすい環境作りを行っているところ。	生活に必要な最低限のこと（食事、お風呂、トイレなど）を手伝うだけ。	被介護者を楽しませるレクリエーションや、家族とのコミュニケーションを積極的に行っている	若者がスマートフォンをうまく使い、家族に普段の生活での写真や動画を送信している。ICTを実際に見に行くと、良いものが無いかを実際に体験して確かめる。	ボランティアを始める機会をくださりありがとうございました。
206	倉田さん 株式会社でいくにてい	お客様とヘルパー間で世界いち気持ちいい介護を目指して、そのお客様にあった介護をPDCAサイクルして印象に残った	40~60代の方が介護しているイメージ	でいくにていでは、平均年齢が26歳と私たちとあまり歳が離れていない方が多いというイメージ	親しみを持って仕事出来る 世界いち気持ちいい介護	
207	The VOICE of KaiGO in LIVE vol.1 <福島x三重x岡山>	介護の仕事は自分を成長させてくれふお仕事ということ	あまり仕事している人がいないイメージ	若い人が多くて面白い仕事	やって、観察して、記録して、を繰り返して温かい提案をする	
208	柔道整復師が介護業界で活躍？福祉の道に進んだきっかけと、今感じていること	認知症の方との関わり方でその人のことをよく知ることでその人の考えが見えてくると答えていたところでした。	きつくて大変そう。	人とのコミュニケーションが大切な仕事でやりがいがある。	その人を知る	